

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

2014 年

(2013 年 12 月 30 日～2014 年 12 月 28 日)

2014 年のインフルエンザの定点あたりの報告数は、ここ 10 年では新型の AH1pdm09 の流行のあった 2009 年につぎ 2 番目に多くなりました。2013～14 年シーズンでは 2013 年 51 週 (12.16～12.22) に定点あたりの報告数が 1.11 件となり流行の開始が見られ、年が明けた 2014 年 3 週 (1.13～1.19) には定点あたり 11.20 件と 10.00 件を超え、1 月 23 日には流行注意報が出されました。4 週 (1.20～1.26) には定点あたり 29.69 件と急拡大して、翌 5 週 (1.27～2.2) には定点あたり 41.18 件と流行のピークに達しました。その後も流行が続き、13 週 (3.24～3.30) になりやっと 9.42 件と 10.00 件を下回り、19 週に 0.33 件と 1.00 件以下となって流行が終息しました。2013～14 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況では 422 件中 AH1pdm09 が 167 件(40%)、AH3(A 香港型)が 61 件(14%)、B 型が 194 件 (46%) でした。流行の前半は AH1pdm09 の割合が多く、後半は B 型の割合が多く見られました。

2014～15 年シーズンでは例年より流行は早く始まり、2014 年 47 週 (11.17～11.23) には定点あたり 1.92 件と 1.00 件を超え、50 週 (12.8～12.14) には 10.15 件と 10.00 件を超え、年末の 52 週 (12.22～12.28) にはすでに 32.96 件と 30.00 件を超えました。2014～15 年シーズンのインフルエンザ検出状況では 266 件中 229 件 (86%) が A 香港型であり、B 型は 35 件 (13%) と少なく、AH1pdm09 は 2 件のみでした。

2014 年の定点あたりの報告数が多かった理由は 2013～14 年シーズンの流行が大きかったことと、次の 2014～15 年の流行が例年と比較して早い時期に始まり、年末にはすでにピークに達しており、2014 年の通年としての報告数を押し上げたと見ることができます。

その他の疾患では 2014 年は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナがここ 10 年で最も報告数が多くなっています。

一方、基幹定点における月例報告疾患であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告数はいずれもここ 10 年で最も少なくなっており、抗菌薬の適正な使用によるものであれば好ましい結果といえます。

本事業報告に当たり、情報の提供を頂いた定点医療機関の先生方に厚くお礼を申し上げます。また、ご指導いただいた東京都医師会理事の角田徹先生、予防検討委員会副委員長の岡部信彦、武隈孝治の両先生並びに委員の各先生方、そして裏で委員会を支えていただいた東京都医師会と東京都保健福祉局の事務局の皆様に感謝いたします。

平成 27 年 7 月

東京都医師会感染症予防検討委員会
委員長 長岡常雄

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症と梅毒様疾患を性感染症に加えている。

2014年には、7月に中東呼吸器症候群が指定感染症に定められたほか、9月の改正では五類感染症としてカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、播種性クリプトコックス症及び水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）が追加指定された。また、同改正により薬剤耐性アシネトバクター感染症は、五類定点把握対象疾患から五類全数把握対象疾患に変更された。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 69 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点と内科定点は、インフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2014 年 12 月 31 日現在)

定 点 種 別 (疾患数)	患 者 定 点 数	病 原 体 定 点 数
小 児 科 定 点 (14)	264	26
内 科 定 点 (1)	155	15
眼 科 定 点 (2)	39	4
基 幹 定 点 (9)	25	20
性 感 染 症 定 点 (6)	55	4
疑 似 症 単 独 定 点 (2)	24	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において報告基準を満たす患者が発生した場合に、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に送付する（疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する）。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報係（基幹地方感染症情報センター）は、保健所からの情報を確認後、国へ送信する。

（４）情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>）で公開され、広く都民に情報還元が図られている。

また、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近２か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。さらに都医ニュースに特定の感染症を取り上げ「感染症豆知識」として掲載している。

２ 本年（2014 年）の概況

（１）一～四類、五類（全数把握対象）、指定感染症

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）の届出はなく、結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：2014 年は３人届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

細菌性赤痢：41 人届出があった。菌型の内訳は *sonnei* 35 件、*flexneri* 6 件で、推定感染地は国内 5 人、国外 35 人、渡航先不明 1 人であった。

腸管出血性大腸菌感染症：362 人届出があり、患者 269 人（うち溶血性尿毒症症候群 11 人）、無症状病原体保有者 93 人であった。血清型・毒素型では、O157 VT1・VT2 が検出された例が 183 件で最も多かった。

腸チフス：27 人届出があり、過去 10 年では最多の届出数となった。推定感染地は国内 14 人、国外 10 人、国内又は国外 3 人で、国内感染と推定される届出が半数以上を占めた。

パラチフス：8 人届出があり、2013 年の届け出数から半数以下に減少した。推定感染地は国外 7 人、国内又は国外 1 人であった。

エ 四類感染症

E 型肝炎：27 人届出があり、性別は男性 24 人、女性 3 人であった。推定感染地は国内 26 人、ベトナム 1 人であった。

A 型肝炎：38 人届出があり、推定感染地は国内 22 人、国外 15 人、国内又は国外 1 人であった。

オウム病：3 人届出があり、推定感染地は国内であった。

チクングニア熱：5 人届出があり、推定感染地はすべて国外であった。

つつが虫病：18 人届出があり、推定感染地は国内 16 人、国外 2 人であった。

デング熱：163 人（うちデング出血熱 4 人）届出があり、過去 10 年では最も多い届出数となった。

推定感染地は国内 108 人、国外 55 人であり、国内感染は約 70 年ぶりであった。

ブルセラ症：2010 年以降届出がなかったが、2014 年には 4 人の届出があった。

マラリア：27 人届出があり、前年（2013 年）の 2 倍以上となった。病型は熱帯熱マラリア 20 人、三日熱マラリア 4 人、卵形マラリア 2 人、不明 1 人であり、推定感染地はすべて国外であった。

ライム病：2 人届出があり、推定感染地は国内 1 人、国外 1 人であった。

レジオネラ症：107 人届出があり、病型は肺炎型 103 人、ポンティアック熱型 3 人、無症状病原体保有者 1 人で、死亡例が 2 人見られた。水系感染によると推定された届出は 39 人であった。

レプトスピラ症：6 人届出があり、推定感染地は国内 4 人、国外 2 人であった。

四類感染症のうち、ウエストナイル熱、エキノコックス症、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱の届出はなかった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢：229 人届出があった。腸管アメーバ症 198 人、腸管外アメーバ症 15 人、腸管及び腸管外アメーバ症 16 人であった。推定感染経路は、性的接触 67 人、飲食物による経口感染 49 人、2 経路以上 3 人、家族内感染疑い 1 人、不明 109 人であった。

ウイルス性肝炎：48 人届出があった。内訳は、B 型肝炎 39 人、C 型肝炎 8 人、サイトメガロウイルス肝炎 1 人であり、推定感染地は国内 45 人、国外 2 人、不明 1 人であった。B 型肝炎の推定感染経路では、性的接触が 30 人で 76.9%を占めた。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：届出対象となった 2014 年 9 月以降 56 人の届出があった。

急性脳炎：52 人届出があり、全数把握の対象疾患となった 2003 年以降、最も多い届出数であった。病原体はインフルエンザウイルス 13 件、ヒトヘルペスウイルス 4 件、単純ヘルペスウイルス 2 件、RS ウイルス 2 件、水痘帯状疱疹ウイルス 2 件、ヘルペス脳炎 1 件、アデノウイルス 1 件、コクサッキー A 群ウイルス 1 件、不明 26 件であった。

クリプトスポリジウム症：82 人届出があり、集団発生以外の届け出は 12 人であった。推定感染経路では性的接触による感染が 10 人、経口感染 2 人であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）：17 人届出があり、孤発性プリオン病・古典型 CJD が 16 人、遺伝性プリオン病が 1 人であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症：41 人届出があり、過去 10 年で最も多い届出数となった。血清型は A 群 30 件、B 群 5 件、G 群 5 件、不明 1 件で、死亡例は 7 人報告された。

後天性免疫不全症候群：512 人届出があり、AIDS 患者 97 人、その他（指標疾患以外の有症者）60 人、HIV 感染者（無症候性キャリア）355 人であった。推定感染地は国内 436 人、国外 24 人、国内又は国外 4 人、不明 48 人で、推定感染経路では性的接触 464 人のほか、静注薬物使用 3 人、入れ墨 1 人などが見られた。

ジアルジア症：15 人届出があり、推定感染地は国内 9 人、国外 6 人、推定感染経路は飲食物による経口感染 5 人などのほか、性的接触による感染が 5 人であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症：22 人届出があった。血清型は B 群 1 人、判定不能及び不明 21 人

であり、ワクチン接種歴は、4回接種が1人、3回接種が2人、2回接種が1人、接種なし8人、不明10人であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症：9人届出があり、血清群はW-135群2人、C群2人、B群1人、W-135群及びY群1人、不明3人であった。ワクチン接種歴は、なし6人、不明3人であった。

侵襲性肺炎菌感染症：225人届出があった。血清型は24F型8人、15A型6人、10A型4人、19A型3人、1型2人、3型2人、7F型2人、11A型2人、15C型2人などがあり、不明185人であった。ワクチン接種歴は、4回接種13人、3回接種16人、2回接種6人、1回接種18人、なし105人、不明67人であった。

水痘：届出対象となった2014年9月以降11人の届出があった。

先天性風しん症候群：3人届出があった。母親の妊娠中の風しん罹患歴はすべてありだった。母親のワクチン接種歴は、あり1人、不明2人であった。

梅毒：507人届出があり、調査開始以降で最多となった。早期顕症梅毒Ⅰ期88人、早期顕症梅毒Ⅱ期207人、晩期顕症梅毒20人、無症候191人、先天梅毒1人であった。

播種性クリプトコックス症：届出対象となった2014年9月以降4人の届出があった。

破傷風：10人届出があり、推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：6人届出があった。菌種は*Enterococcus faecium* 3件、*E. faecalis* 1件、*E. gallinarum* 1件、不明1件であり、耐性遺伝子型は*vanB* 4件、*vanC* 1件、不明1件であった。

風しん：99人届出（検査診断例66人、臨床診断例33人）があった。推定感染地は96人（97.0%）が国内であった。

麻しん：94人届出（検査診断例69人、臨床診断例9人、修飾麻しん16人）があり、推定感染地は国内77人、国外15人、国内又は国外2人であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：五類感染症（全数把握）の届出対象となった2014年9月19日以降、3人の届出があった。

五類感染症のうち、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

カ 指定感染症

中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。

（２）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2013年と比較して定点当たり10%以上報告数が減少した疾患は感染性胃腸炎、手足口病、川崎病の3疾患であった。定点当たりの報告数が前年並みであった疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘、突発性発しん、不明発しん症の5疾患、定点当たり前年比10%以上増加した疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎の6疾患であった。

〔前年比減少疾患〕

感染性胃腸炎：報告数は84,091人、定点当たり322.84人であった。定点当たりの当年/前年比は0.82であった。

手足口病：報告数は6,089人、定点当たり23.44人であった。定点当たりの当年/前年比は0.21であった。

川崎病：報告数は 180 人、定点当たり 0.69 人であり、定点当たりの当年/前年比は 0.81 であった。

[前年比横這いであった疾患]

RS ウイルス感染症：報告数は 6,183 人、定点当たり 23.70 人であった。定点当たりの当年/前年比は 1.02 であった。

咽頭結膜熱：報告数は 5,607 人、定点当たり 21.54 人であった。定点当たりの当年/前年比は 0.91 であった。

水痘：報告数は 10,314 人、定点当たり 39.69 人であった。定点当たりの当年/前年比は 0.90 であった。

突発性発しん：報告数は 8,120 人、定点当たり 31.18 人であった。定点当たりの当年/前年比は 0.98 であった。

不明発しん症：報告数は 1,158 人、定点当たり 4.45 人であった。定点当たりの当年/前年比は 1.06 であった。

[前年比増加疾患]

インフルエンザ：報告数は 152,421 人、定点当たり 367.55 人であった。定点当たりの当年/前年比は 2.02 であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：報告数は 27,581 人、定点当たり 105.60 人であった。定点当たりの当年/前年比は 3.15 であった。

伝染性紅斑：報告数は 5,069 人、定点当たり 19.44 人であった。定点当たりの当年/前年比は 3.15 であった。

百日咳：報告数は 158 人、定点当たり 0.61 人であった。定点当たりの当年/前年比は 1.74 であった。

ヘルパンギーナ：報告数は 15,874 人、定点当たり 61.25 人であった。定点当たりの当年/前年比は 1.87 であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：報告数は 13 人、定点当たり 0.34 人であった。過去 10 年で最も少ない定点当たり報告数であった。

流行性角結膜炎：報告数は 913 人、定点当たり 23.79 人であった。2007 年と 2012 年に増加したが、2014 年はそれ以外の年と同じ水準に戻った。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：報告数は 22 人、定点当たり 0.88 人であった。2013 年に増加したが、2014 年は減少した。

無菌性髄膜炎：報告数は 102 人、定点当たり 4.09 人であった。2014 年は過去 10 年で 3 番目に多い定点当たり報告数であった。

マイコプラズマ肺炎：報告数は 234 人、定点当たり 9.37 人であった。2014 年は定点当たりの当年/前年比で 0.45 と半減した。

クラミジア肺炎：報告数は 21 人、定点当たり 0.84 人であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：報告数は 134 人、定点当たり 5.36 人であった。

インフルエンザ入院：報告数は 735 人、定点当たり 29.40 人であった。定点当たりの当年/前年比は

1.41 で、大幅に増加した。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数は 908 人、定点当たり 36.44 人であった。年間報告数及び定点当たりの報告数はこの 10 年で最も少なかった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数は 186 人、定点当たり 7.47 人であった。年間報告数及び定点当たりの報告数はこの 10 年で最も少なかった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：21 人が報告された。定点当たり 0.84 人であり、この 10 年の報告数に変化は見られない。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：調査が開始された 2011 年以降報告例はなく、2014 年も基幹定点からの報告はなかった。2014 年 9 月 19 日以降は五類感染症（全数把握）となった。

オ 性感染症

性器クラミジア感染症：報告数は 2,427 人であり、そのうち男性は 1,360 人、定点当たり 25.14 人（前年比 0.97）、女性は 1,067 人、定点当たり 19.76 人（前年比 1.19）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数は 1,298 人であった。男性 824 人、定点当たり 15.24 人（前年比 1.03）、女性 474 人、定点当たり 8.76 人（前年比 1.13）で、2006 年以降男性に多い状況が続いている。

尖圭コンジローマ：報告数は 986 人であった。男性 665 人、定点当たり 12.29 人（前年比 0.99）、女性 321 人、定点当たり 5.92 人（前年比 1.10）で、男性が多い。

淋菌感染症：報告数は 1,259 人であった。男性 876 人、定点当たり 16.19 人（前年比 0.94）、女性 383 人、定点当たり 7.11 人（前年比 2.70）で、男性は女性の 2 倍以上の報告数が続いている。

膣トリコモナス症：報告数は 127 人であり、男性 4 人、定点当たり 0.07 人（前年比 0.66）、女性 123 人、定点当たり 2.28 人（前年比 1.15）であった。

梅毒様疾患：報告数は 135 人であり、男性 102 人、定点当たり 1.89 人（前年比 0.82）、女性 33 人、定点当たり 0.61 人（前年比 3.00）であった。過去 10 年の定点当たり患者報告数では、男性は増加傾向、女性は減少傾向にある。

（３）疑似症（法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）は 147 人、発熱及び発しん又は水疱は 20 人の報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(一～四類、五類全数、新型、指定)

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
一 類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二 類	急性灰白髄炎	-	-	-	1	-	-	-
	結核	3,228	3,219	3,045	3,022	2,874	2,671	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-
三 類	コレラ	6	3	2	3	-	-	3
	細菌性赤痢	64	48	86	86	75	36	41
	腸管出血性大腸菌感染症	409	317	339	257	258	382	362
	腸チフス	13	11	12	6	13	23	27
	パラチフス	7	12	5	9	11	20	8
四 類	E型肝炎	7	6	9	9	21	32	27
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	31	24	45	27	35	19	38
	エキノコックス症	-	1	1	2	1	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	1	-	3	-	2	3
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	1	-	-
	キャサスル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	1	1	-	-	-	3	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	-	1	1	2	1	4	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}	/	/	/	/	/	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 ^{*2}	/	/	/	-	3	4	5
	つつが虫病	18	14	14	13	19	12	18
	デング熱	32	32	70	27	56	66	163
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	1	1	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	1	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	1	-	-	-	-	4
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	-	-	-	-
	マラリア	23	26	27	27	24	12	27
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	1	1	3	-	7	2
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
四 類	類鼻疽	－	－	1	－	－	1	－
	レジオネラ症	80	53	55	72	60	80	107
	レプトスピラ症	4	－	2	5	6	6	6
	ロッキー山紅斑熱	－	－	－	－	－	－	－
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	189	140	180	178	198	187	229
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	30	35	48	40	60	72	48
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *9	/	/	/	/	/	/	56
	急性脳炎	11	45	14	19	33	46	52
	クリプトスポリジウム症	4	4	3	2	2	7	82
	クロイツフェルト・ヤコブ病	15	19	15	13	18	19	17
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19	10	19	30	23	37	41
	後天性免疫不全症候群	545	471	509	409	461	469	512
	ジアルジア症	20	24	13	13	16	22	15
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *6	/	/	/	/	/	12	22
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *6	/	/	/	/	/	11	9
	侵襲性肺炎球菌感染症 *6	/	/	/	/	/	124	225
	水痘(入院例)*9	/	/	/	/	/	/	11
	髄膜炎菌性髄膜炎 *7	2	1	－	2	－	－	/
	先天性風しん症候群	－	－	－	－	－	13	3
	梅毒	205	196	173	248	297	419	507
	播種性クリプトコックス症 *9	/	/	/	/	/	/	4
	破傷風	5	7	5	8	5	4	10
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	－	－	－	－	－	－	－
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	15	15	17	6	10	8	6
新型 指定	風しん *3	46	19	15	32	672	3,445	99
	麻しん *3	1,174	110	76	178	84	69	94
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 *10	/	/	/	/	/	/	3
	新型インフルエンザ *4	/	1,160	/	/	/	/	/
	中東呼吸器症候群 *11	/	/	/	/	/	/	－
	鳥インフルエンザ(H7N9) *8	/	/	/	/	/	－	－

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 AH1pdm09は、2009年4月28日に新型インフルエンザ等感染症に指定。全数届け出は2009年7月23日まで。

*5 2013年3月4日より追加指定。

*6 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*7 2003年11月5日より四類(全数把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった後、2013年4月1日より届出対象から除外。

*8 2013年4月26日より追加指定。

*9 2014年9月19日より追加指定。

*10 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*11 2014年7月26日より追加指定、病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数 (全数動物)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
エボラ出血熱のサル	－	－	－	－	－	－	－
マールブルグ病のサル	－	－	－	－	－	－	－
ペストのプレーリードッグ	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	－	－	－	－	－	－	－
結核のサル	－	－	－	－	－	－	－
中東呼吸器症候群のラクダ *1	/	/	/	/	/	/	－
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	－	1 *2	－	－	－	－	－
細菌性赤痢のサル	－	－	－	－	－	－	－
ウエストナイル熱の鳥類	－	－	－	－	－	－	－
エキノコックス症の犬	－	－	－	－	－	－	－

*1 2014年7月26日より追加指定

*2 2009年の報告は動物実験による感染

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
小児科定点数	142	142	150 ^{*1}	150	150	150	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	178	178	290 ^{*1}	290	290	290	419	419	419	419
インフルエンザ	43,336	23,953	53,927	23,059	142,140	12,614	99,940	135,064	75,328	152,421
	243.46	134.57	191.41	80.47	495.53	43.97	240.03	323.29	181.11	367.55
RSウイルス感染症 ^{*2}	848	818	1,403	1,722	845	2,153	3,628	6,349	6,058	6,183
	5.97	5.76	9.57	11.71	5.73	14.52	13.94	24.51	23.48	23.70
咽頭結膜熱	2,468	3,929	2,793	2,927	1,339	1,979	4,936	5,510	6,184	5,607
	17.38	27.67	18.96	19.86	9.07	13.37	18.95	21.20	23.89	21.54
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	7,564	11,213	11,913	13,925	10,058	11,231	25,487	25,224	24,801	27,581
	53.27	78.96	81.32	93.97	68.03	75.80	97.66	96.60	95.29	105.60
感染性胃腸炎	42,578	51,945	46,783	58,681	37,599	63,372	95,910	118,967	102,987	84,091
	299.85	365.81	318.41	395.92	254.50	427.41	367.56	455.28	395.81	322.84
水 痘	7,565	8,345	8,874	8,682	7,079	9,472	15,679	12,995	11,452	10,314
	53.27	58.77	60.77	58.68	47.94	63.93	60.11	49.75	44.22	39.69
手足口病	3,296	2,885	4,382	4,487	3,426	6,257	24,786	5,411	29,320	6,089
	23.21	20.32	29.73	30.60	23.36	42.52	95.84	20.90	114.72	23.44
伝染性紅斑	2,035	3,109	2,879	1,168	1,558	2,929	6,317	1,626	1,608	5,069
	14.33	21.89	19.73	7.90	10.54	19.79	24.23	6.23	6.19	19.44
突発性発しん	4,048	4,119	4,691	4,944	4,463	4,397	8,447	8,547	8,299	8,120
	28.51	29.01	31.95	33.49	30.24	29.74	32.44	32.85	32.00	31.18
百日咳	28	23	151	278	225	506	450	286	91	158
	0.20	0.16	1.02	1.88	1.53	3.42	1.73	1.10	0.35	0.61
風しん ^{*3}	40	21	35							
	0.28	0.15	0.24							
ヘルパンギーナ	6,909	5,900	6,804	6,470	2,574	8,400	14,431	13,548	8,480	15,874
	48.65	41.55	46.10	44.08	17.63	57.06	55.78	52.28	33.06	61.25
麻しん ^{*3}	49	25	303							
	0.35	0.18	2.05							
流行性耳下腺炎	7,321	4,481	1,940	3,662	5,175	5,154	4,488	3,089	2,549	3,003
	51.56	31.56	13.24	24.83	35.05	34.87	17.23	11.88	9.83	11.57
不明発しん症 ^{*4}	461	966	665	734	657	622	1,506	1,400	1,094	1,158
	3.25	6.80	4.52	4.98	4.48	4.21	5.78	5.40	4.24	4.45
川崎病 ^{*4}	56	101	110	109	71	89	217	177	221	180
	0.39	0.71	0.75	0.73	0.48	0.60	0.83	0.68	0.85	0.69

*1 2007年は、12月末時点の定点数

*2 2003年45週より実施

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった。

*4 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
定点数	14	14	39*	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	7 0.50	8 0.57	82 2.15	64 1.66	53 1.37	74 1.91	31 0.84	19 0.50	17 0.45	13 0.34
流行性角結膜炎	567 40.50	535 38.21	968 32.04	865 22.41	703 18.28	951 24.60	842 22.73	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79

* 2007年は、12月末時点の定点数

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
定点数	25	25	25	24	24	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	17 0.68	15 0.60	28 1.14	24 1.01	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68	48 1.93	22 0.88
無菌性髄膜炎	28 1.12	40 1.60	50 2.03	34 1.42	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86	126 5.06	102 4.09
マイコプラズマ肺炎	164 6.56	218 8.72	247 10.11	298 12.53	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	9 0.36	13 0.52	20 0.81	25 1.05	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56	40 1.60	21 0.84
感染性胃腸炎* ¹ (ロタウイルスによる)									22 0.88	134 5.36
インフルエンザ入院* ²							12 0.48	610 24.40	518 20.89	735 29.40
成人麻しん* ³	1 0.04	3 0.12	262 10.70							

*¹ 2013年42週より実施

*² 2011年36週より実施

*³ 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった。

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
定点数	25	25	25	24	24	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,539 61.56	1,536 61.44	1,758 70.53	1,606 66.92	1,290 54.44	1,312 55.36	1,136 46.67	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	534 21.36	579 23.16	624 25.08	554 23.08	552 23.30	635 26.77	596 24.55	440 17.72	467 18.94	186 7.47
薬剤耐性緑膿菌感染症	35 1.40	41 1.64	48 1.93	26 1.08	22 0.93	26 1.10	37 1.52	24 0.97	32 1.29	21 0.84
薬剤耐性アシネト* バクター感染症							0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
定点数	41	41	55 *1	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,132 52.00	2,133 52.02	2,485 48.08	2,605 47.51	2,295 42.51	2,376 44.07	2,426 44.37	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90
性器ヘルペスウイルス感染症	923 22.51	963 23.49	989 19.40	946 17.25	954 17.69	1,194 22.15	1,236 22.60	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00
尖圭コンジローマ	555 13.54	646 15.76	801 15.39	926 16.88	727 13.47	842 15.62	837 15.31	877 16.17	959 17.84	986 18.22
淋菌感染症	1,006 24.54	868 21.17	1,013 19.63	1,096 19.99	950 17.61	1,067 19.81	1,212 22.15	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31
膣トリコモナス症 *2	212 5.17	233 5.68	233 4.69	169 3.08	138 2.55	150 2.78	136 2.49	129 2.38	113 2.10	127 2.36
梅毒様疾患 *2	43 1.05	74 1.80	103 1.99	82 1.50	94 1.74	83 1.54	117 2.14	120 2.21	136 2.53	135 2.50

*1 2007年は、12月末時点の定点数

*2 東京都独自疾患

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(疑似症定点)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
定点数				315	315	315	443	443	443	443
発熱及び呼吸器症状 *				11	147	20	9	10	38	147
発熱及び発しん・水疱 *				8	6	9	4	15	16	20

* 2008年7月より実施

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）、指定感染症

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）の届出はなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）については届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

コレラは2012年以降届出がなかったが、2014年には3人の届出があった。菌型はO1 エルトール小川型が2件、O139型が1件であった。推定感染地はすべて国外で、インド1人、バングラデシュ1人、中国1人であった。

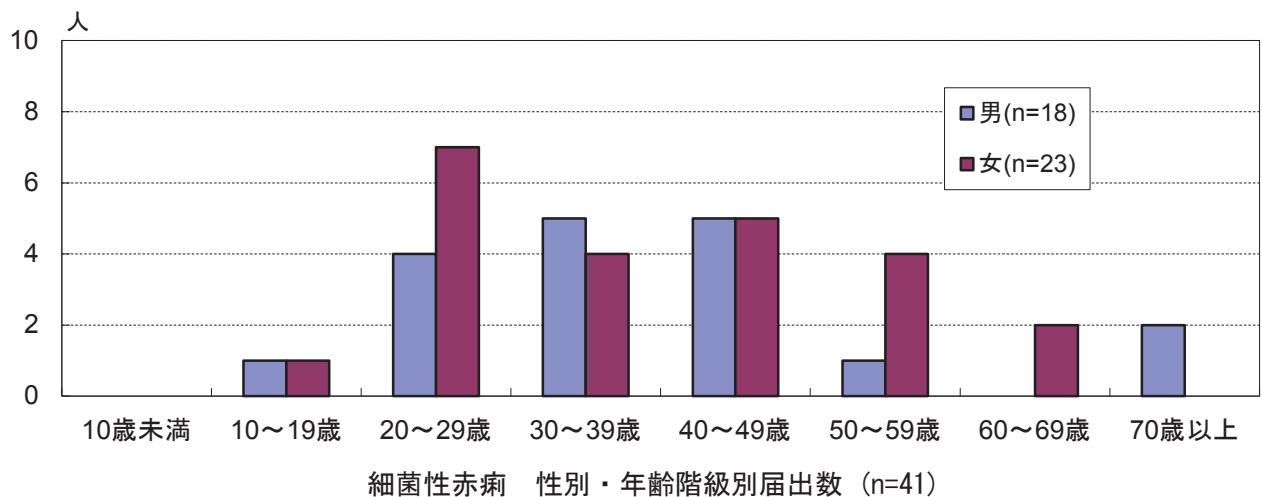
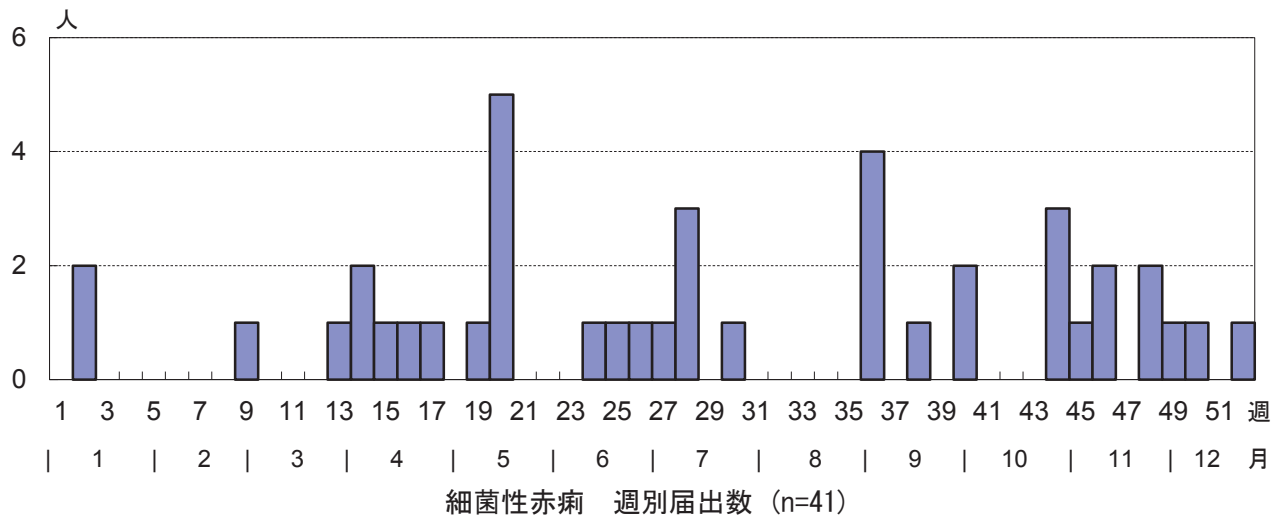
コレラ届出例（n=3）

受理日	性別	年齢	菌 型	推定感染地
6/25	男	49	O1 エルトール小川	インド
6/27	女	29	O1 エルトール小川	バングラデシュ
7/22	男	54	O139	中国

② 細菌性赤痢

2014年の細菌性赤痢は41人の届出があった。菌種は *sonnei* 35件、*flexneri* 6件で、*dysenteriae*、*boydii* の届出はなかった。性別は男性18人、女性23人で、年齢階級別では10～19歳2人、20～29歳11人、30～39歳9人、40～49歳10人、50～59歳5人、60～69歳2人、70歳以上2人であった。

推定感染地は国内5人、国外35人、国内又は国外（渡航先不明）1人であった。国内感染と推定された5人の年齢階級別の内訳は10～19歳1人、20～29歳1人、30～39歳2人、70歳以上1人であり、同性間性的接触（経口感染）によると推定される感染例が1例報告された。国外感染例の推定感染地域は東南アジア17人、南アジア10人、アフリカ5人、中央アジア1人、中央アメリカ1人、南アメリカ1人であり、推定感染国別に見ると、2人以上の届出があった国はインド8人、フィリピン5人、インドネシア4人、ベトナム3人、カンボジア3人、バングラデシュ2人、マダガスカル2人であった。



細菌性赤痢 国内感染例 (n=5)

受理日	性別	年齢	菌種	症状	備考
2/28	男	76	<i>sonnei</i>	有	
5/16	女	38	<i>sonnei</i>	無	同居の父
7/25	男	26	<i>flexneri</i>	有	
10/27	男	31	<i>sonnei</i>	有	性的接触 (同性間)
11/12	男	17	<i>flexneri</i>	有	発症3日前寿司屋で喫食

細菌性赤痢 国外感染例 (n=35)

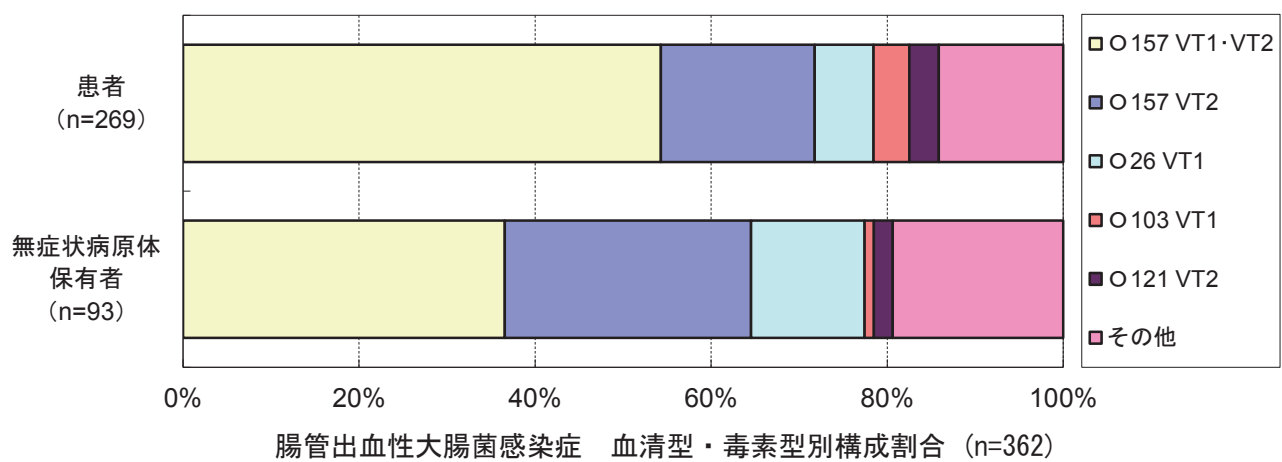
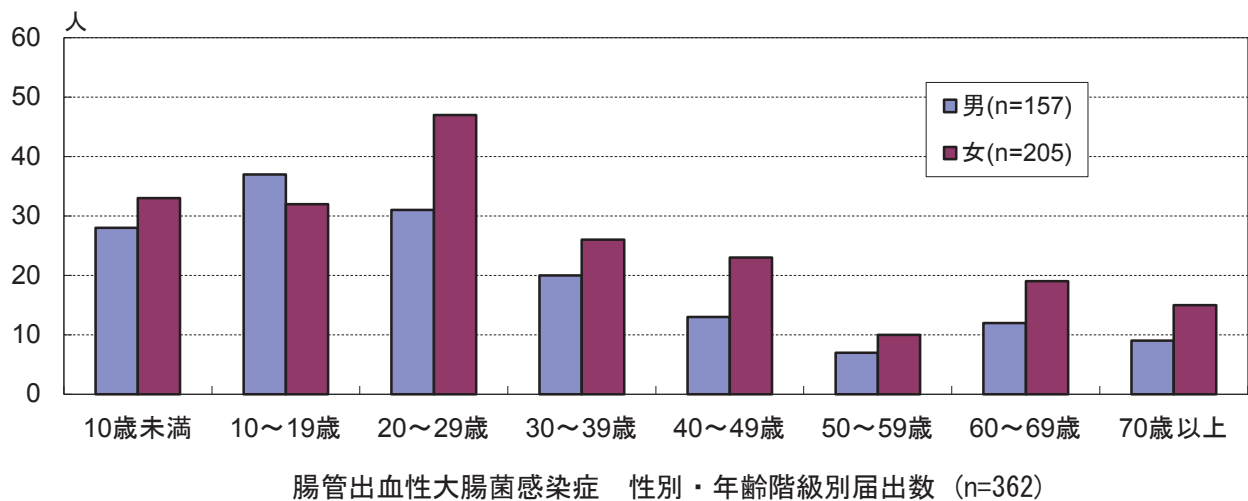
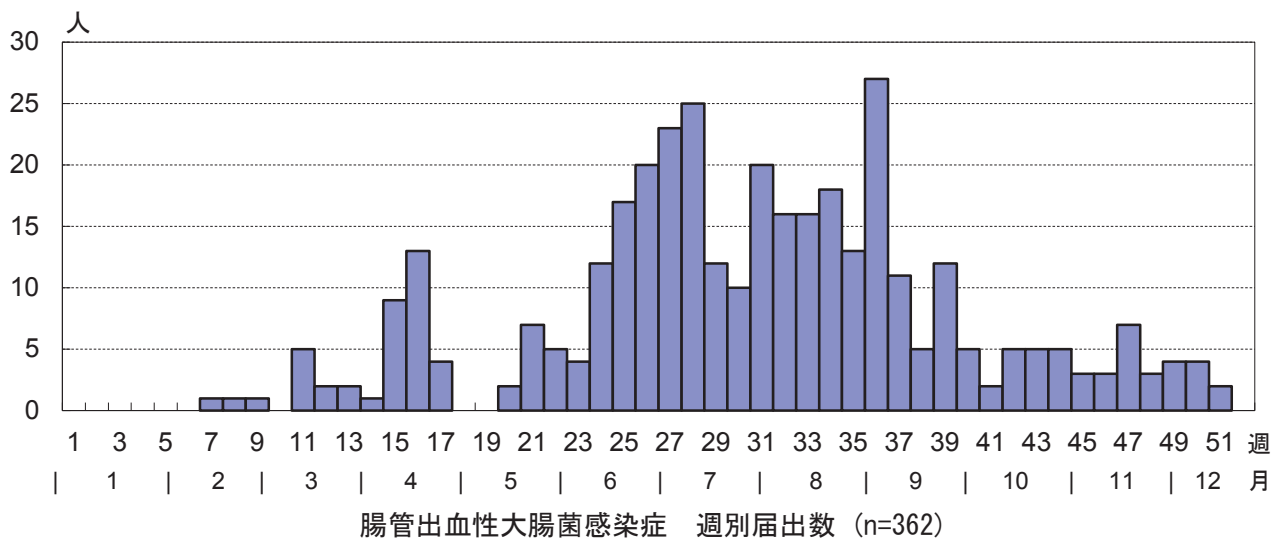
推定感染地域	人 数	推定感染国	人 数
東南アジア	17	フィリピン	5
		インドネシア	4
		ベトナム	3
		カンボジア	3
		タイ	1
		タイ又はミャンマー	1
南アジア	10	インド	8
		バングラデシュ	2
アフリカ	5	マダガスカル	2
		エチオピア	1
		ザンビア	1
		タンザニア	1
中央アジア	1	トルクメニスタン又はウズベキスタン	1
中央アメリカ	1	ハイチ	1
南アメリカ	1	ペルー又はブラジル	1
合 計	35		35

③ 腸管出血性大腸菌感染症

2014 年は 362 人届出があり、症状別では患者 269 人、無症状病原体保有者 93 人であった。届出はほぼ 1 年を通して見られたが、夏期から秋期にかけて増加した。性別は男性 157 人、女性 205 人で、年齢階級別では 10 歳未満 61 人（うち 5 歳未満 32 人）、10～19 歳 69 人、20～29 歳 78 人、30～39 歳 46 人、40～49 歳 36 人、50～59 歳 17 人、60～69 歳 31 人、70 歳以上 24 人であった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 183 件で最多であり、推定感染地は国内 352 人、国外 10 人（ドイツ 3 人、トルコ 1 人、ブルガリア 1 人、ベトナム 1 人、ペルー 1 人、ラオス 1 人、台湾 1 人、シンガポール 1 人）であった。

症例の集積は、第 14～17 週に O157 VT1・VT2 による食用肉関連が 18 人、第 32～33 週に O157 VT1・VT2 による都外飲食店関連が 3 人、第 35～37 週に O26 VT1 による保育園関連が 9 人、第 36 週にキャンプ関連が 5 人（O103 VT1 が 3 人、O 血清型不明 VT1 が 1 人、O 血清型不明 VT2 が 1 人）が認められた。また第 39 週に届出があり、ドイツでの感染と推定された 3 人は、現地における牧場実習参加者で、O157 VT1・VT2 が 2 人、O157 VT1・VT2 と O153 VT2 の重複感染が 1 人であった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断されたものは 11 人おり、年齢は 10 歳未満 7 人（うち 5 歳未満 4 人）、10～19 歳 2 人、20～29 歳 1 人、70 歳以上 1 人で、血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 9 件、O157 VT2 が 1 件、O157 VT 型不明（血清でのベロ毒素検出）が 1 件あり、推定感染地はすべて国内であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=362)

血清型	毒素型	件数	血清型	毒素型	件数
O5	VT1	1	O145	VT1	1
O8	VT2	1		VT2	2
O25	不明	1	O146	VT1	1
O26	VT1	30	O153	VT2	1*
	VT2	8	O157	VT1	8
	VT1・VT2	1		VT2	75*
	不明	1		VT1・VT2	183*
O91	VT1	3		不明	4
O103	VT1	13*	O159	VT2	1
O109	VT2	1	不明	VT1	2
O111	VT1	2		VT2	2
	VT1・VT2	8		VT1・VT2	3
O121	VT2	11	不明	不明	2
O128	VT1・VT2	1			

* 他の血清型・毒素型との重複感染例を含む

溶血性尿毒症症候群発症例 (n=11)

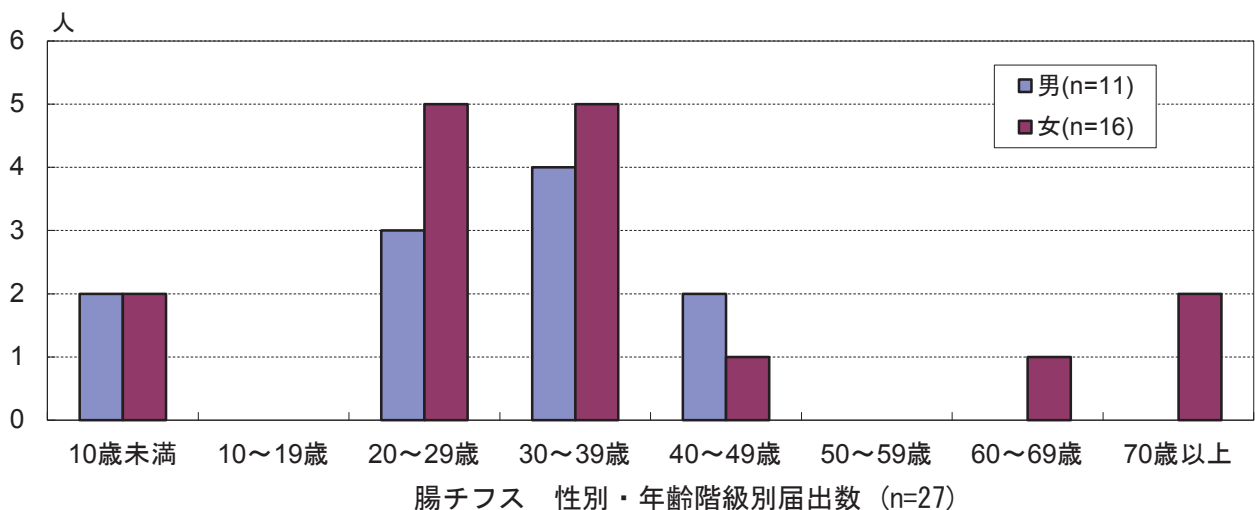
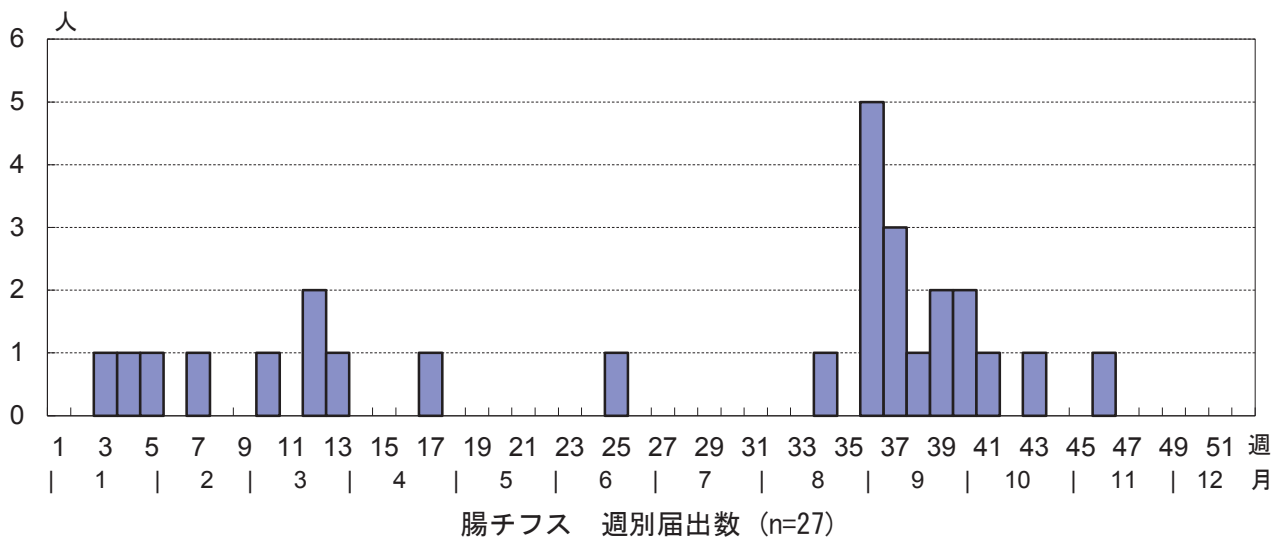
受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	備考
4/9	男	5	O157 VT1・VT2	国内	
4/14	女	2	O157 VT1・VT2	国内	
4/15	女	4	O157 VT1・VT2	国内	
4/24	男	5	O157 VT1・VT2	国内	
6/10	男	13	O157 VT1・VT2	国内	
6/30	女	4	O157 VT2	国内	
7/7	女	70	O157 VT1・VT2	国内	脳症を合併
7/29	女	22	O157 VT1・VT2	国内	
10/31	女	8	O157 VT 型不明	国内	
11/04	女	19	O157 VT1・VT2	国内	
12/9	男	3	O157 VT1・VT2	国内	

④ 腸チフス

2014 年は 27 人の届出があり、昨年の 23 人よりさらに増加し、過去 10 年で最多の届出数となった。症状別では患者 26 人、無症状病原体保有者 1 人、性別では男性 11 人、女性 16 人、年齢階級別では 10 歳未満 4 人、20～29 歳 8 人、30～39 歳 9 人、40～49 歳 3 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 2 人であった。

推定感染地は国内 14 人、国外 10 人、国内又は国外 3 人（インド又はネパール 1 人、バングラデシュ 1 人、渡航先不明 1 人）で、国内感染と推定される届出が半数以上を占めた。国外感染例 10 人を推定感染地域別に見ると、東南アジア 5 人、南アジア 4 人、2 地域以上 1 人であり、推定感染国はフィリピン 2 人、インド 2 人のほか、タイ、ミャンマー、ネパール、タイ又はラオス、インド又はネパール、インド又は台湾各 1 人であった。

症例の集積としては、第 36～46 週にかけて国内飲食店関連が 13 人おり、うち 1 名は当該飲食店の従業員で、推定感染地は国外（ネパール）であった。同事例におけるファージ型は国外感染例を含め UVS1 が 11 人、UVS 4 が 1 人、不明 1 人であった。

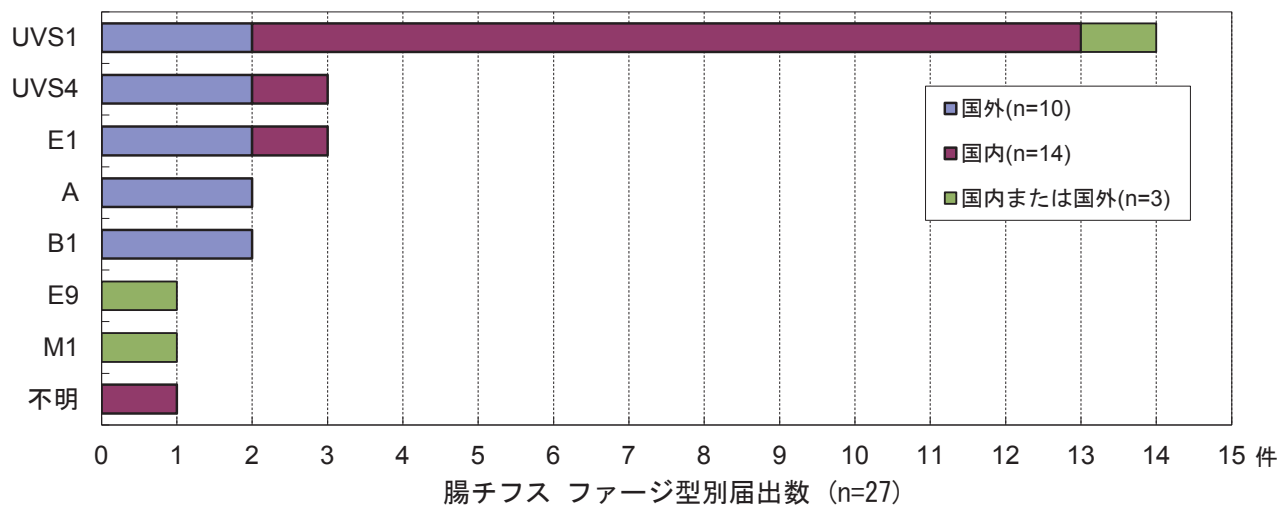


腸チフス 国内感染例 (n=14)

受理日	性別	年齢	ファージ型	症状	備 考
1/21	女	39	UVS1	有	
6/16	女	26	E1	有	
9/1	男	28	UVS1	有	国内飲食店関連
9/3	男	9	UVS1	有	国内飲食店関連
9/4	男	39	UVS1	有	国内飲食店関連
9/5	女	40	UVS1	有	国内飲食店関連
9/8	女	26	UVS1	有	国内飲食店関連
9/8	女	34	不明	有	国内飲食店関連
9/16	女	4	UVS1	有	国内飲食店関連
9/25	男	47	UVS1	有	国内飲食店関連
9/25	女	36	UVS1	有	国内飲食店関連
9/30	男	31	UVS4	有	国内飲食店関連
10/21	男	35	UVS1	有	国内飲食店関連
11/10	女	62	UVS1	有	国内飲食店関連

腸チフス 国外感染例 (n=10)

推定感染地域	人 数	推定感染国	人 数
東南アジア	5	フィリピン	2
		タイ	1
		ミャンマー	1
		タイ又はラオス	1
南アジア	4	インド	2
		ネパール	1
		インド又はネパール	1
2 地域以上	1	インド又は台湾	1
合 計	10	合 計	10



⑤ パラチフス

2014 年は 8 人届出があった。性別は男性 6 人、女性 2 人であり、年齢階級別では 20～29 歳 3 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 1 人、70 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国外 7 人、国内又は国外 1 人で、推定感染国はミャンマー 2 人のほか、カンボジア、バングラデシュ、スリランカ、国内又はネパール、インドネシア又は台湾、ミャンマー又はマレーシア又はインドネシアがそれぞれ 1 人であった。

パラチフス届出例 (n=8)

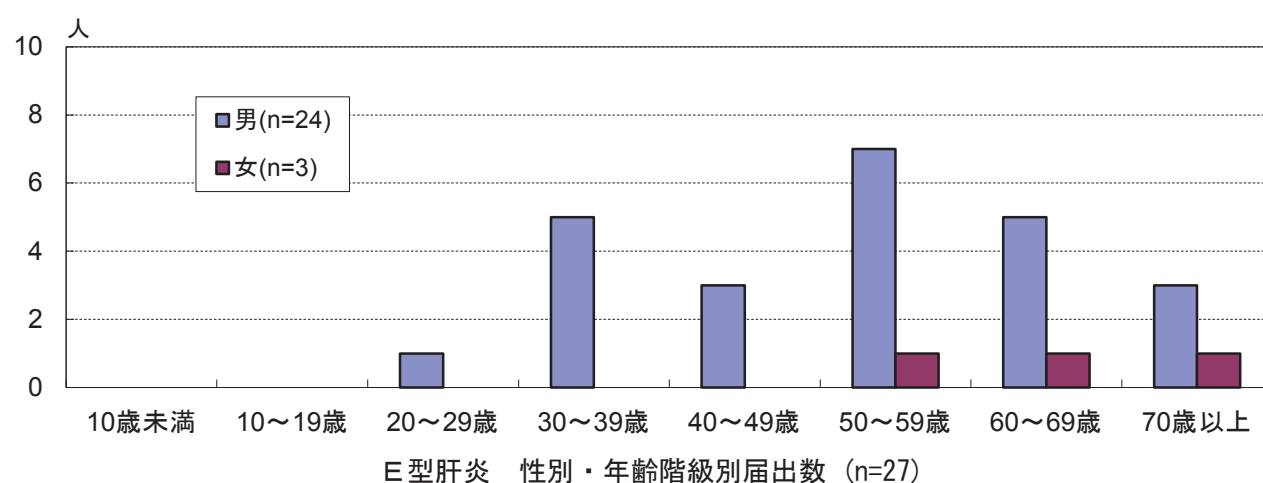
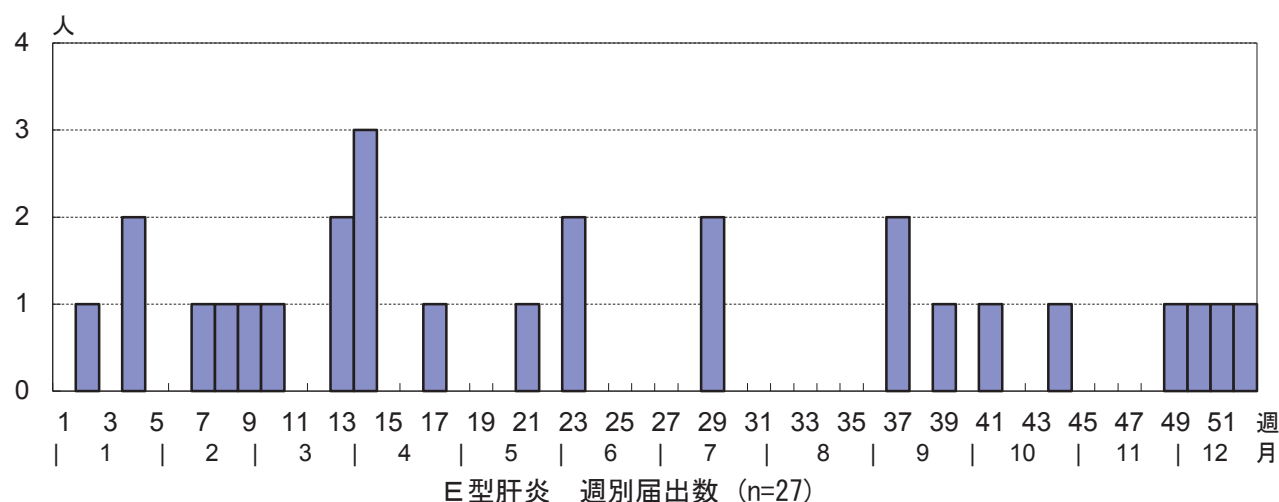
受理日	性別	年齢	フェージ型	推定感染地
1/7	男	72	1	ネパール
4/15	女	40	2	カンボジア
5/21	男	28	不明	インドネシア又は台湾
7/14	男	36	1	ミャンマー又はマレーシア又はインドネシア
7/17	男	30	1	ミャンマー
8/22	男	59	1	スリランカ
9/2	男	20	不明	バングラデシュ
12/3	女	28	1	ミャンマー

エ 四類感染症

① E型肝炎

2014 年は 27 人の届出があった。性別は男性 24 人、女性 3 人で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 5 人、40～49 歳 3 人、50～59 歳 8 人、60～69 歳 6 人、70 歳以上 4 人であった。

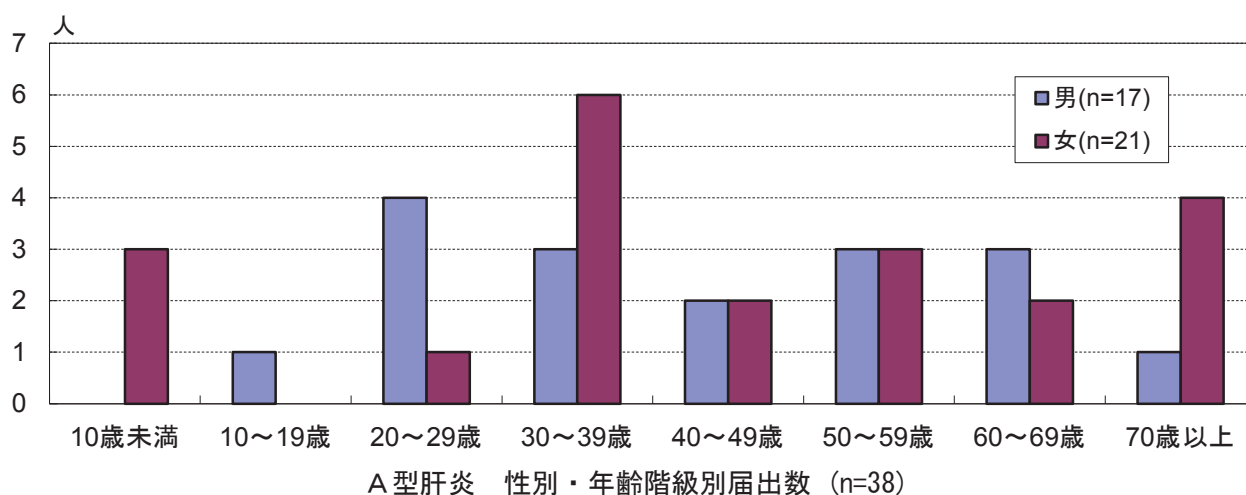
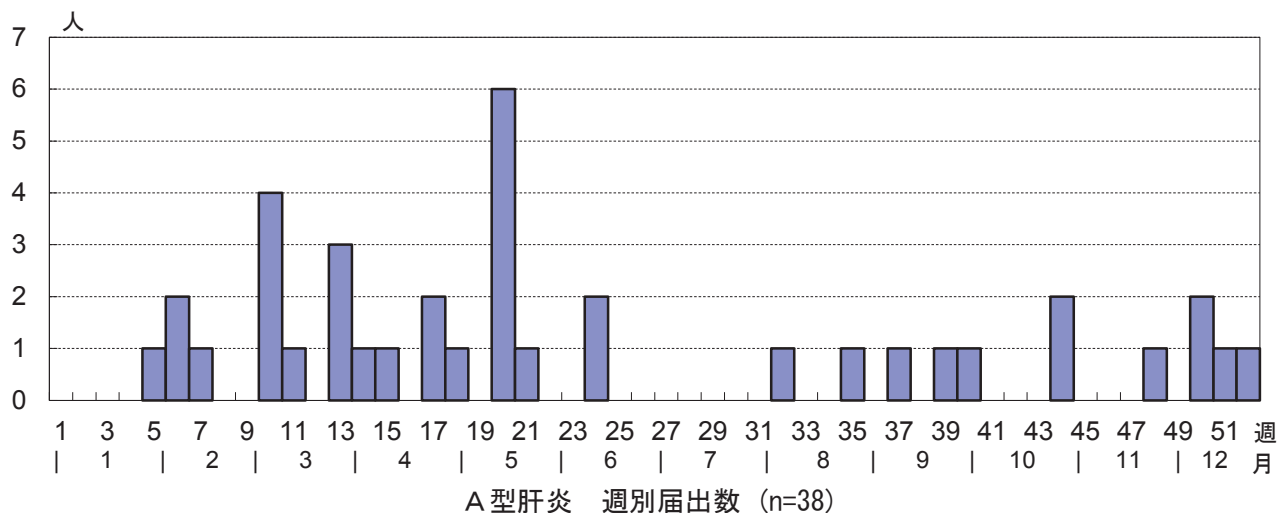
推定感染地は国内 26 人、ベトナム 1 人であった。推定感染経路ではレバーが 7 人（うち 3 人は豚レバー、1 人は鳥生レバー）、鳥生レバー以外の生肉が 2 人（うち 1 人は豚肉猪肉両方喫食、1 人は動物種不明）、カキの喫食が 1 人見られた。



② A型肝炎

2014 年の届出は 38 人であり、性別は男性 17 人、女性 21 人で、年齢階級別では 10 歳未満 3 人、10～19 歳 1 人、20～29 歳 5 人、30～39 歳 9 人、40～49 歳 4 人、50～59 歳 6 人、60～69 歳 5 人、70 歳以上 5 人であった。

推定感染地は国内 22 人、国外 15 人、国内または国外（フィリピン）1 人であった。国外感染と推定された 15 人の感染地域は、南アジア 5 人、東南アジア 4 人、アフリカ 2 人、西アジア 1 人、北アメリカ 1 人、南アメリカ 1 人、2 地域以上 1 人で、推定感染国はフィリピン 3 人、インド 2 人、パキスタン、ネパール、スリランカ、インドネシア、ウガンダ、ボツワナ、メキシコ、ペルー、アラブ首長



国連邦、インド又はカタール又はイタリアがそれぞれ1人であった。

推定感染経路は、飲食物を介した経口感染30人、経口感染又は性的接触1人、不明7人であり、経口感染30人の推定原因食品は魚介類（寿司含む）が12人、生もの3人、寿司1人、肉類1人、水1人、魚介類又は生もの1人、不明11人であった。

③ オウム病

2014年は3人（2週に届出があった67歳男性、10週に届出があった32歳男性、39週に届出があった72歳女性）の届出があり、推定感染地は国内、感染経路は2名が動物・蚊・昆虫等からの感染（鳥）、1名は不明であった。

④ チクングニア熱

2014年は5人届出があった。性別は男性3人、女性2人であり、年齢階級別では20～29歳1人、40～49歳3人、50～59歳1人、推定感染地はすべて国外（インドネシア2人、ガイアナ1人、ジャマイカ1人、コロンビア1人）であった。

チクングニア熱届出例 (n=5)

受理日	性別	年齢	推定感染国	推定感染経路
3/27	男	50	インドネシア (バリ島)	蚊からの感染
4/4	女	42	インドネシア (バリ島)	動物・蚊・昆虫等からの感染
10/21	男	46	ガイアナ	蚊からの感染
11/5	男	25	ジャマイカ	蚊からの感染
12/26	女	44	コロンビア	蚊からの感染

⑤ つつが虫病

2014 年は 18 人届出があり、性別は男性 12 人、女性 6 人であった。年齢階級別では 10～19 歳 1 人、20～29 歳 3 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 3 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 3 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 16 人、国外 2 人（フィリピン、インド）であり、国内の推定感染地は東京都 10 人（島しょ地区 5 人、多摩地区 3 人、23 区内 2 人）、神奈川県 2 人、静岡県 2 人、千葉県 1 人、不明 1 人であった。

つつが虫病届出例 (n=18)

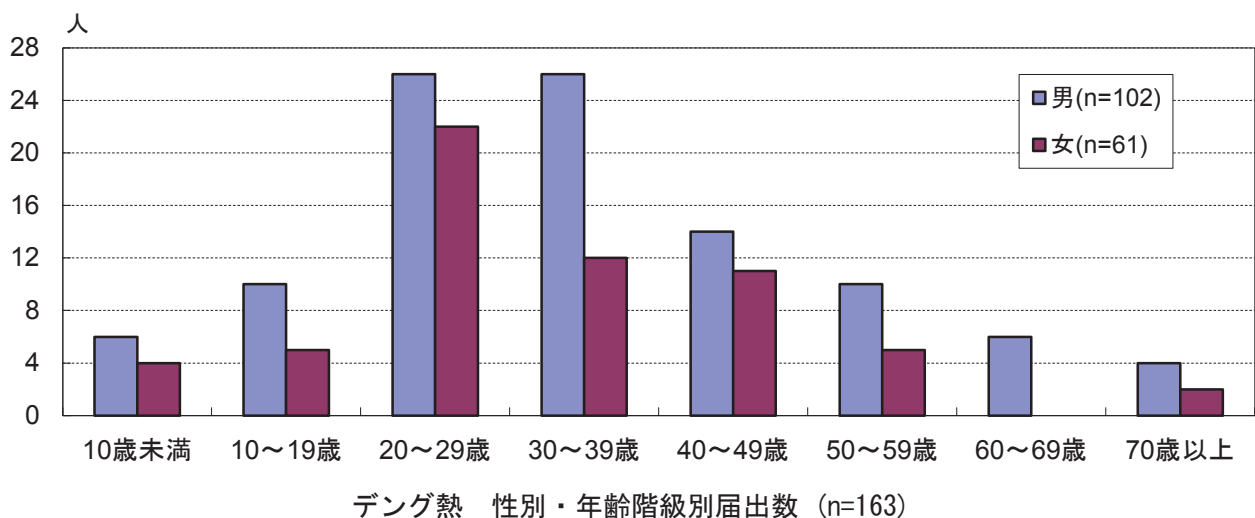
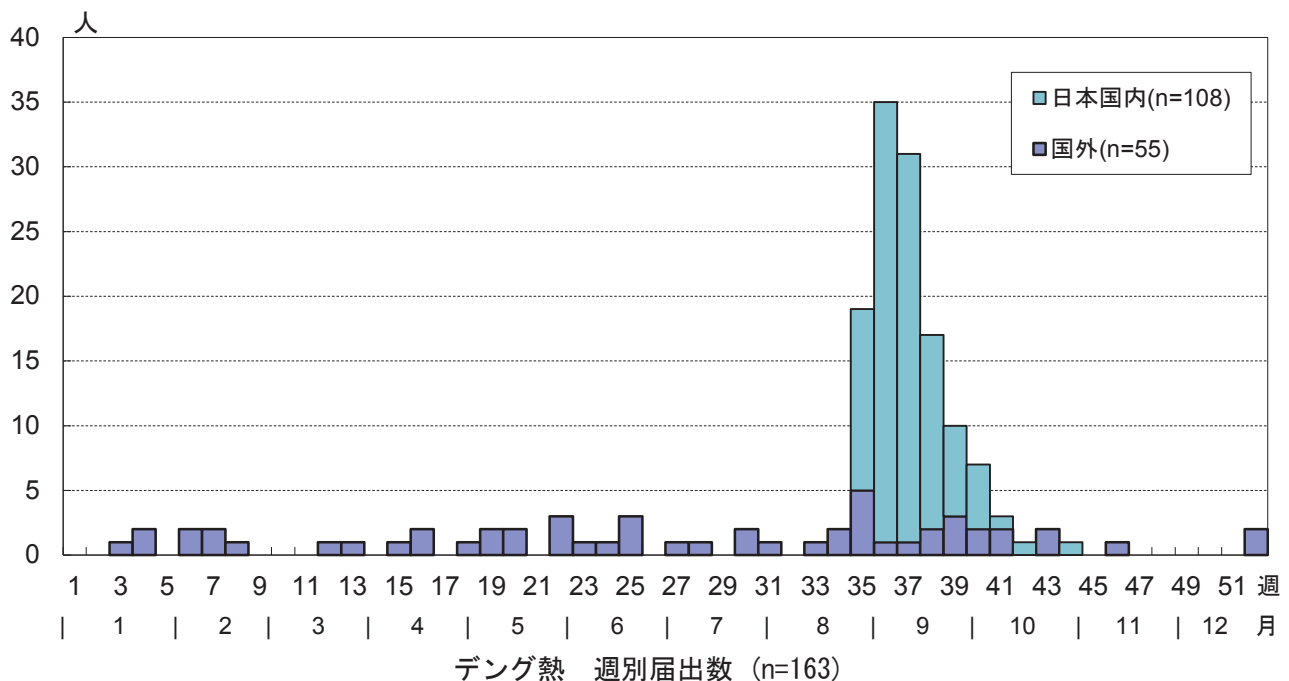
受理日	性別	年齢	推定感染地	野外地への旅行、立入り歴等
1/6	男	58	国内	不明
3/3	男	70	国内	有（ゴルフ場）
4/25	男	69	フィリピン	不明
5/21	女	30	国内	不明
7/9	女	28	国内	不明
9/29	女	40	国内	有（池）
10/20	男	19	国内	不明
10/20	男	28	インド	不明
10/27	男	54	国内	不明
10/28	男	34	国内	不明
10/29	女	84	国内	不明
11/10	男	29	国内	有（演習場での訓練）
11/18	男	47	国内	有（演習場での訓練）
11/25	男	42	国内	有（ゴルフ場）
11/25	女	61	国内	有（雑木林での草刈）
11/27	男	33	国内	有（演習場での訓練）
11/28	男	67	国内	有（山で草刈）
12/8	女	77	国内	有（畑仕事）

⑥ デング熱

2014 年は 163 人（うちデング出血熱 4 人）届出があり、過去 10 年では最も多い届出数となった。

また、国内感染が 1945 年以来 69 年ぶりに 108 人確認された。性別は男性 102 人、女性 61 人、年齢階級別では 10 歳未満 10 人、10～19 歳 15 人、20～29 歳 48 人、30～39 歳 38 人、40～49 歳 25 人、50～59 歳 15 人、60～69 歳 6 人、70 歳以上 6 人であった。血清型は 74 件報告されており、その内訳は 1 型 62 件、2 型 5 件、3 型 4 件、4 型 3 件であり、国内感染の血清型判明例はすべて 1 型であった。

推定感染地は国内が 108 人、国外が 55 人であった。国内感染地域は都内が 107 人、不明が 1 人で、代々木公園周辺が 77 人を占めた。国外感染地域別では東南アジアが 49 人（89%）と多くの割合を占め、他は南アジア 4 人、中央アメリカ 1 人、アフリカ 1 人であった。推定感染国はインドネシア 18 人、タイ 10 人、マレーシア 7 人、フィリピン 5 人、インド 2 人、シンガポール 2 人、ミャンマー 2 人、マレーシア又はシンガポール 2 人、スリランカ、タンザニア、モルディブ、東チモール、仏領ポリネシア、タイ又はインドネシア、キューバ又はメキシコが各 1 人であった。



⑦ ブルセラ症

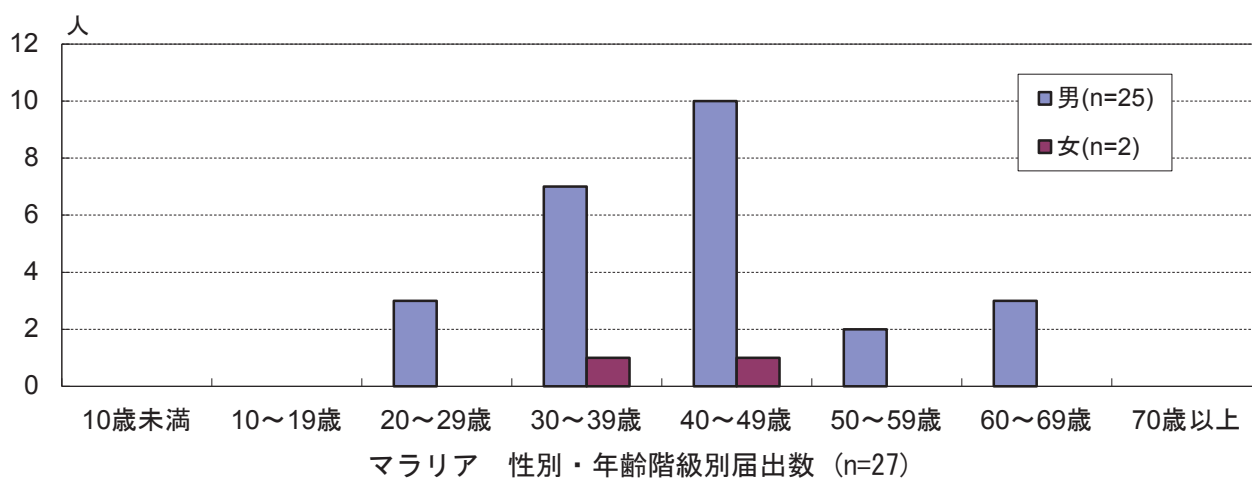
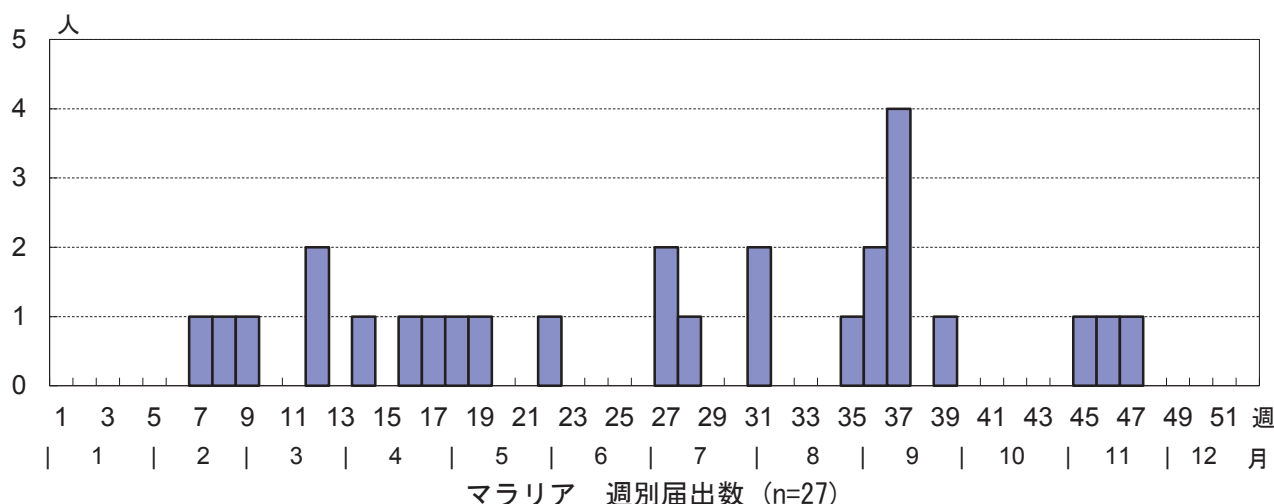
ブルセラ症は 2010 年以降届出がなかったが、2014 年には 4 件の届出があった。性別は男性 2 人、

女性 2 人で、年齢は 20～29 歳 1 人、40～49 歳 2 人、50～59 歳 1 人であった。推定感染地は国内 3 人、国外 1 人であった。国内 3 人のうち 2 人は無症状病原体保有者であり、うち 1 人は検査業務による、1 人は動物飼育業務による感染であった。

⑧ マラリア

2014 年の届出は 27 人であり、2013 年の 2 倍以上となった。病型は熱帯熱マラリア 20 人、三日熱マラリア 4 人、卵形マラリア 2 人、不明 1 人であり、性別は男性 25 人、女性 2 人、年齢階級別では 20～29 歳 3 人、30～39 歳 8 人、40～49 歳 11 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 3 人であった。

推定感染地はすべて国外で、推定感染地域はアフリカ 20 人、南アジア 3 人、東南アジア 1 人、南アメリカ 1 人、オセアニア 1 人、アフリカ又は東南アジア 1 人であった。推定感染国はナイジェリア 5 人、ウガンダ 3 人、ギニア 2 人、カメルーン 2 人、インド 2 人、コンゴ民主共和国、ケニア、ガーナ、ザンビア、リベリア、シエラレオネ、コートジボアール、パキスタン、インドネシア、ベネズエラ、パプアニューギニア、コートジボアール又はブルキナファソ、ギニアとシンガポールが各 1 人であった。



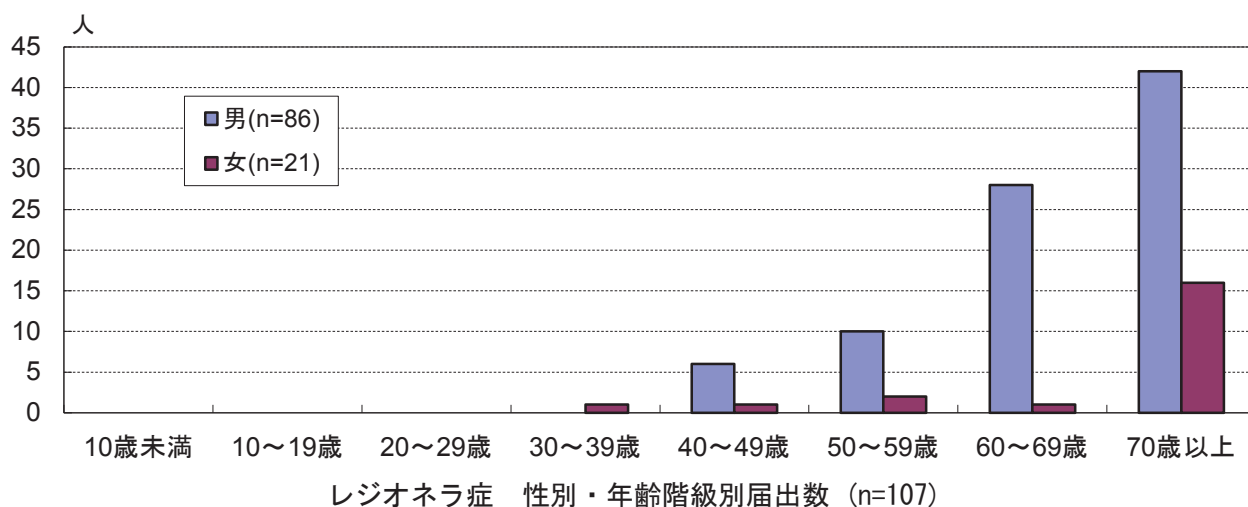
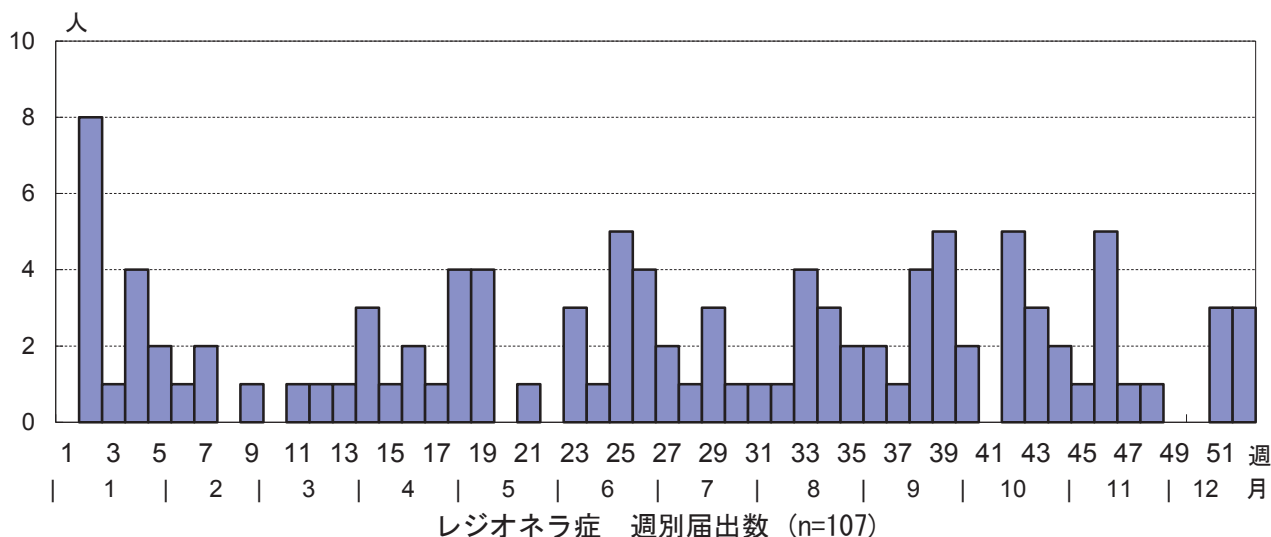
⑨ ライム病

2014年の届出は2人であった。性別はすべて男性で、年齢は20～29歳1人、50～59歳1人であった。推定感染地は国内1人、国外1人であり、国外感染例の推定感染国はインド1人であった。また推定感染経路はマダニ（国内）、昆虫等（インド）であった。

⑩ レジオネラ症

2014年の届出は107人であり、過去10年では最も多い届出数となった。病型は肺炎型103人、ポントティアック熱型3人、無症状病原体保有者1人で、死亡例が2人見られた。性別は男性86人、女性21人、年齢階級別では30～39歳1人、40～49歳7人、50～59歳12人、60～69歳29人、70歳以上58人であった。

推定感染地は国内99人、国外6人（中国3人、米国、ルーマニア、フランス又はモナコが各1人）、国内又はトルコ2人であった。推定感染経路は水系感染39人、塵埃感染7人、不明61人であった。水系感染のうち、温泉施設での感染と推定されたのは10人であった。



⑪ レプトスピラ症

2014年は6人届出があった。性別は男性5人、女性1人で、年齢は10～19歳1人、20～29歳1人、

レプトスピラ症届出例 (n=6)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路
4/9	男	46	国内	ネズミの尿又はネコ
9/9	男	56	国内	淡水（カヤック・トレッキング）
10/7	男	15	国内	川、海でのカヌー
10/27	女	28	パラオ	滝
11/7	男	32	パラオ	滝
12/22	男	74	国内	ネズミ

30～39 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 1 人、70 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 4 人、パラオ 2 人であった。推定感染経路は、国内感染事例では水系感染 2 人、ネズミ又はネコ 2 人、パラオでの感染事例は 2 人は同一のツアーにおける滝での遊泳が推定感染原因であった。

⑭ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱、エキノコックス症、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス族 SFTS ウイルスであるものに限る。）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

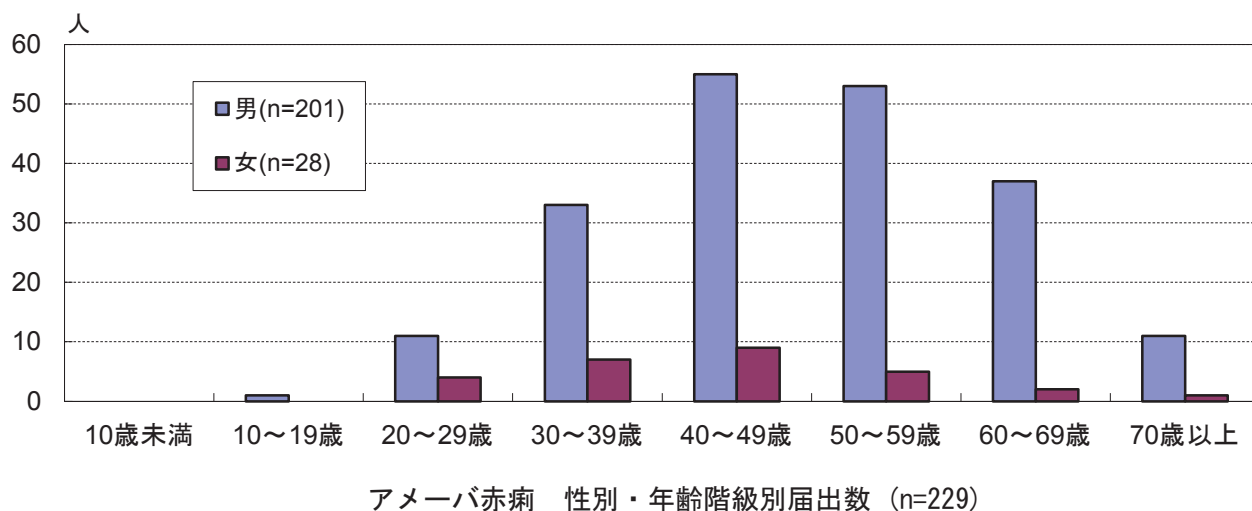
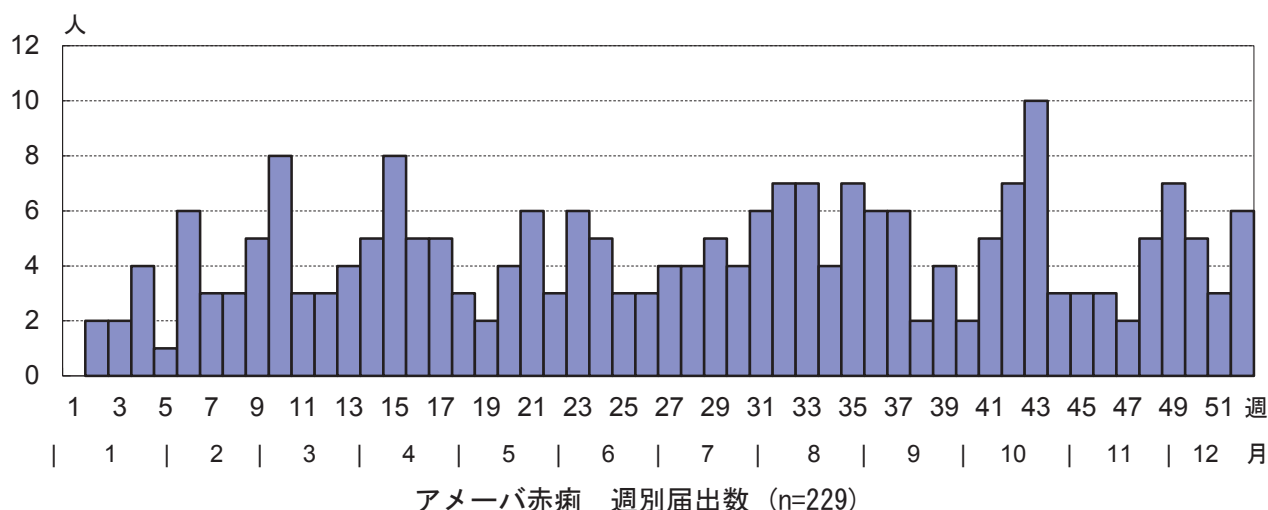
オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2014 年は 229 人届出があり、過去 10 年では最も多い届出数となった。腸管アメーバ症 198 人、腸管外アメーバ症 15 人、腸管及び腸管外アメーバ症 16 人であった。性別は男性 201 人、女性 28 人で、年齢階級別では 10～19 歳 1 人、20～29 歳 15 人、30～39 歳 40 人、40～49 歳 64 人、50～59 歳 58 人、60～69 歳 39 人、70 歳以上 12 人であった。

推定感染地は国内 179 人、国外 42 人、国内又は国外 8 人であり、国外感染例 42 人を推定感染地域別にみると、東南アジア 13 人、東アジア 6 人、南アジア 3 人、北アメリカ 3 人、アフリカ 2 人、西アジア 1 人、2 地域以上 8 人、東南アジア又は渡航先不明 1 人、渡航先不明 5 人であった。渡航先不明及び東南アジア又は渡航先不明の 6 人を除く推定感染国はタイ 4 人、インドネシア 4 人、中国 4 人、インド 3 人、マレーシア 2 人、韓国 2 人、米国 2 人、フィリピン、ベトナム、コンゴ、タンザニア、香港、メキシコ各 1 人のほか、台湾又は中国 1 人、ベトナム又は中国 1 人、韓国又はオーストラリア 1 人、ベトナム又はラオス又はカンボジア 1 人、サウジアラビア又はクウェート又はオマーン 1 人、タイ又はインドネシア又は中国 1 人、タイ又はフィリピン又は台湾 1 人、タイ又はマレーシア又は米国（グアム）1 人、インドネシア又はマレーシア又はカナダ 1 人であった。

推定感染経路は、性的接触 67 人（同性間 32 人、異性間 24 人、両性間 1 人、性別不明 10 人）、飲食物による経口感染 49 人、2 経路以上 3 人、家族内感染疑い 1 人、不明 109 人であった。



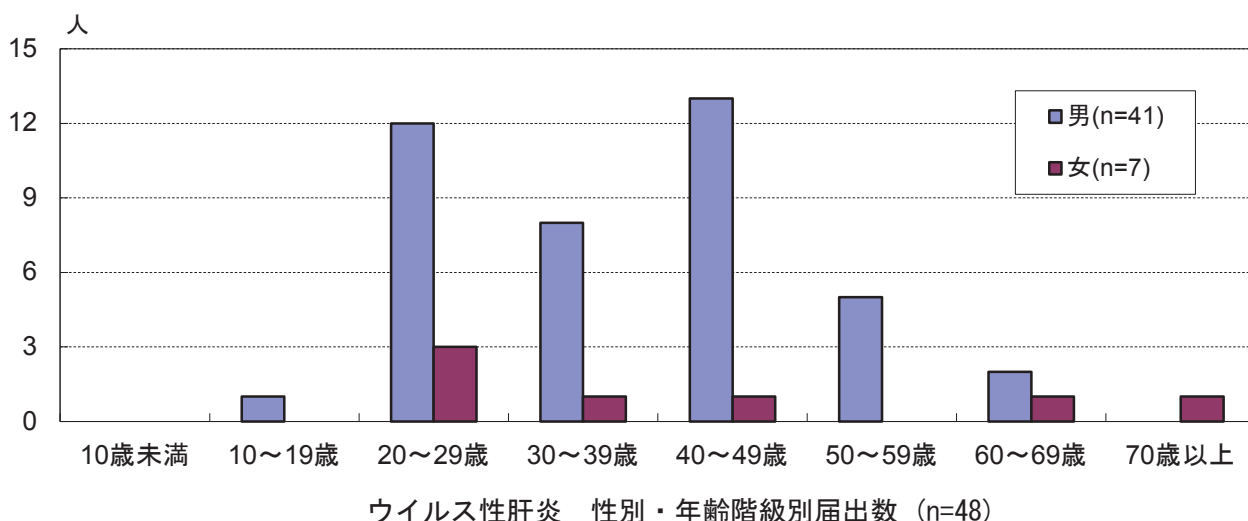
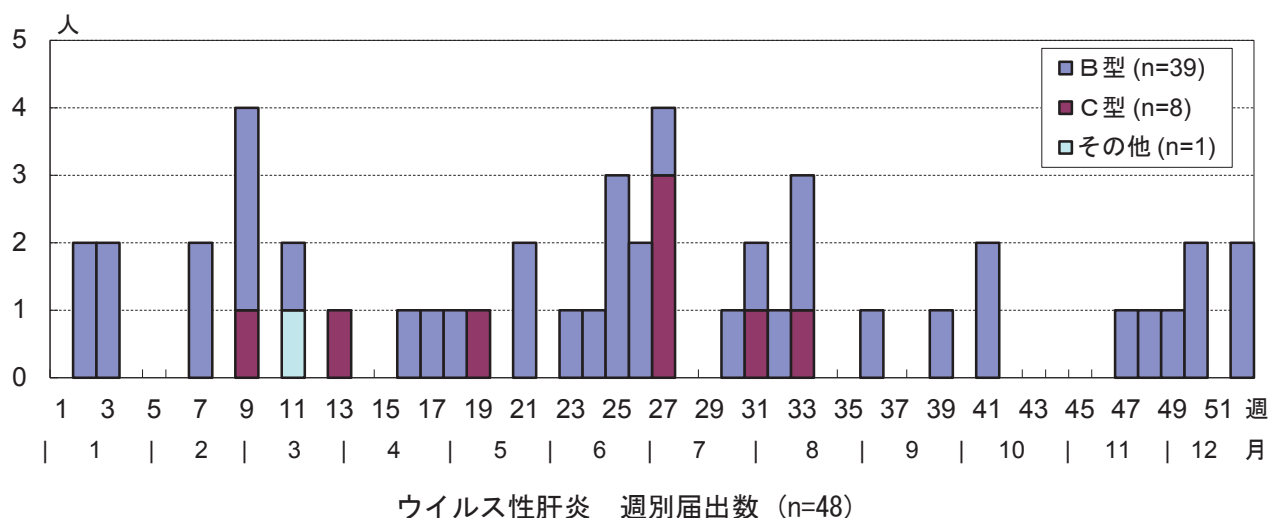
② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）

2014年の届出は48人であった。内訳は、B型肝炎39人、C型肝炎8人、サイトメガロウイルス肝炎1人であった。

B型肝炎39人の届出のうち男性は33人、女性は6人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳15人、30～39歳6人、40～49歳11人、50～59歳4人、60～69歳2人であった。推定感染地は国内36人、国外2人（タイ1人、シンガポール1人）、国内又は中国1人で、推定感染経路は性的接触30人（同性間8人、異性間16人、両性間1人、性別不明5人）、不明9人であった。

C型肝炎8人の性別は男性7人、女性1人で、年齢は30～39歳3人、40～49歳3人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。推定感染地はすべて国内で、性的接触6人（同性間4人、異性間1人、性別不明1人）、不明2人であった。

サイトメガロウイルス肝炎の1人は、52歳の男性で、推定感染地は国内、推定感染経路は接触経口感染の疑いがあるが詳細は不明であった。



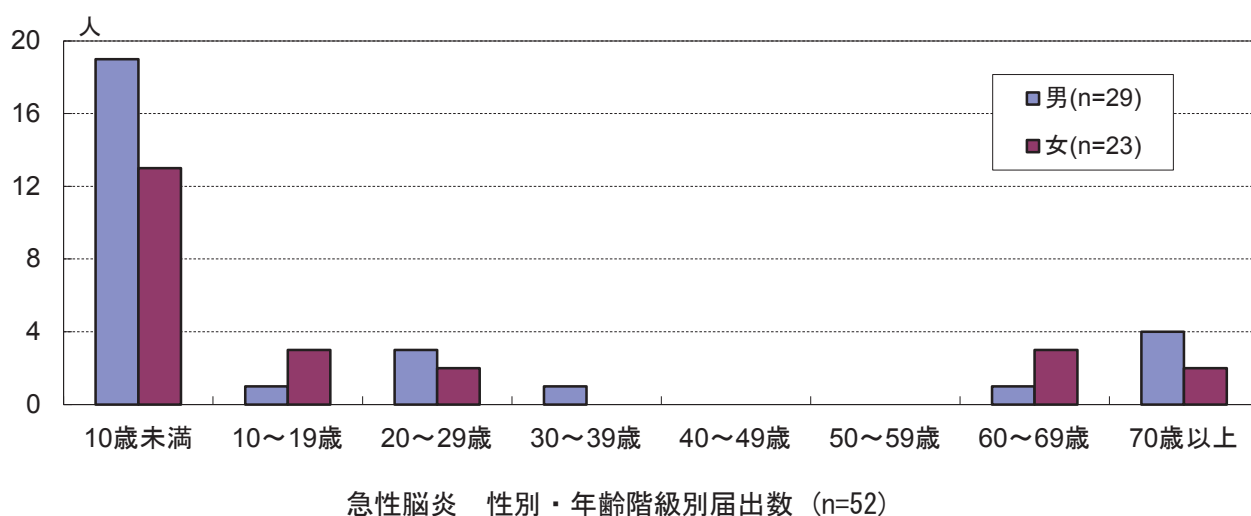
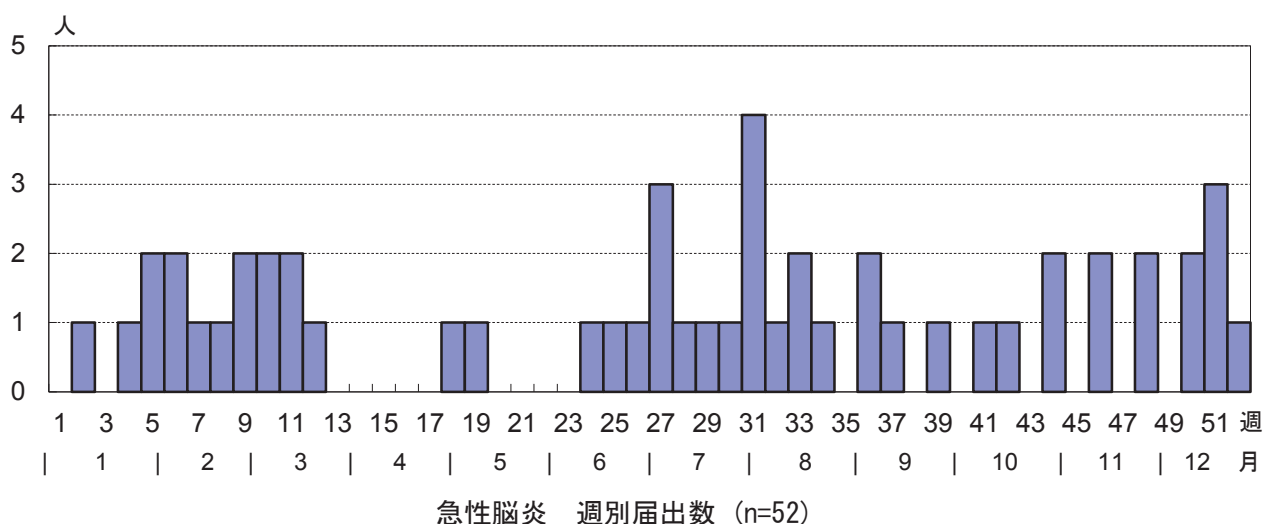
③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

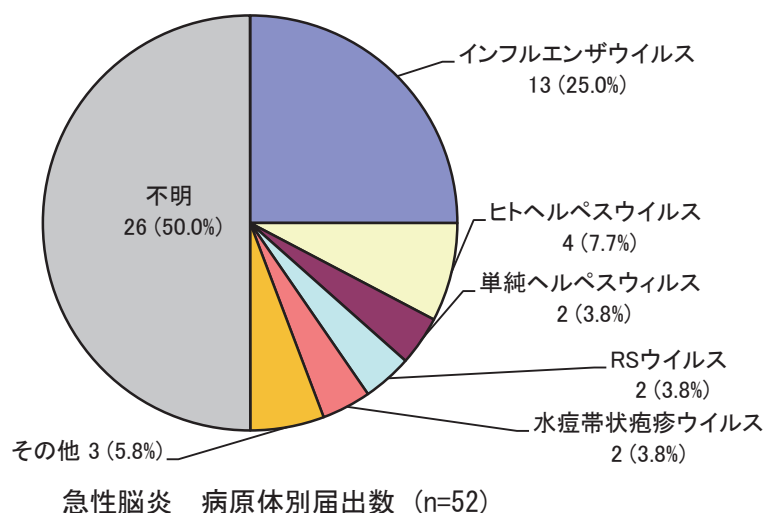
五類感染症（全数把握）の届出対象となった2014年9月19以降56人の届出があった。性別は男性38人、女性18人で、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳2人、30～39歳2人、40～49歳3人、50～59歳6人、60～69歳9人、70歳以上32人であった。推定感染地はすべて国内であった。分離された菌種は *Enterobacter cloaca* が29件、*Enterobacter aerogenes* が16件、*Klebsiella pneumoniae* が5件、*Escherichia coli* が3件、*Citrobacter freundii* 2件、*Serratia marcescens* が1件であった。

④ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2014年は52人の届出があり、全数把握の対象疾患となった2003年以降、最も多い届出数であった。病原体はインフルエンザウイルス13件、ヒトヘルペスウイルス4件、単純ヘルペスウイルス2件、RSウイルス2件、水痘帯状疱疹ウイルス2件、ヘルペス脳炎1件、アデノウイルスⅡ型1件、コクサッキーA10が1人、不明26件であった。

性別は男性29人、女性23人で、年齢階級別では10歳未満32人（うち5歳未満17人）、10～19歳4人、20～29歳5人、30～39歳1人、60～69歳4人、70歳以上6人、推定感染地はすべて国内であった。





⑤ クリプトスポリジウム症

2014年は6月から7月にかけて集団発生があった影響で、2003年以降で最も多い82人の届出があった。

集団発生の届出は国内における牧場体験の生徒、教師及びその接触者で、70人であった。その内訳は、男性36人、女性34人で、年齢は10歳未満1人、10～19歳60人、20～29歳3人、30～39歳1人、40～49歳4人、50～59歳1人であった。

集団感染以外の届出は12人であった。その内訳はいずれも男性で、年齢は20～29歳2人、30～39歳6人、40～49歳3人、60～69歳1人であった。推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触10人、経口感染2人であった。

⑥ クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)

2014年は17人の届出があった。孤発性プリオン病・古典型CJDが16人（ほぼ確実13人、疑い3人）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1人（確実、コドン異常検出及び免疫染色で異常プリオン蛋白を検出）であった。性別は男性が7人、女性が10人で、年齢は50～59歳2人、60～69歳3人、70歳以上12人であった。

孤発性プリオン病・古典型CJDの症状は、進行性認知症が16人全員に認められたほか、無動性無言状態12人、ミオクローヌス11人、精神・知能障害11人、記憶障害11人、錐体路症状9人、錐体外路症状8人、小脳症状7人、筋強剛7人、視覚異常7人、痙性対麻痺2人、異常感覚1人が見られた。

遺伝性プリオン病の1人の症状は、進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、錐体外路症状、小脳症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害、筋強剛が認められた。

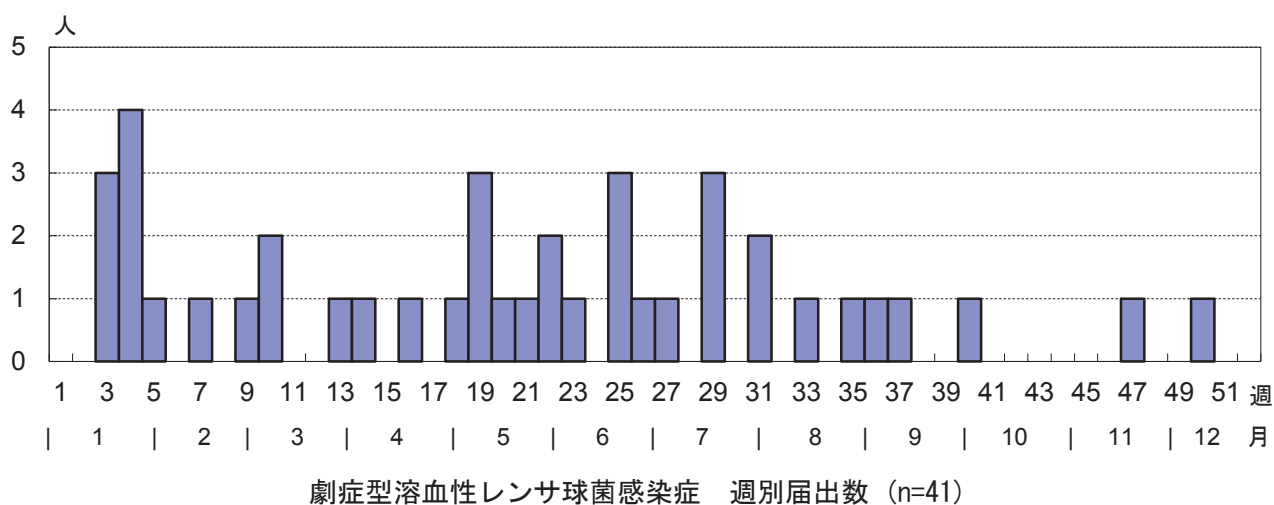
クロイツフェルト・ヤコブ病届出例 (n=17)

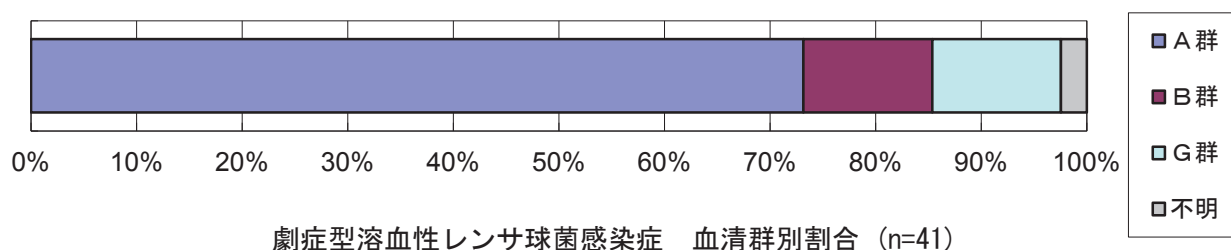
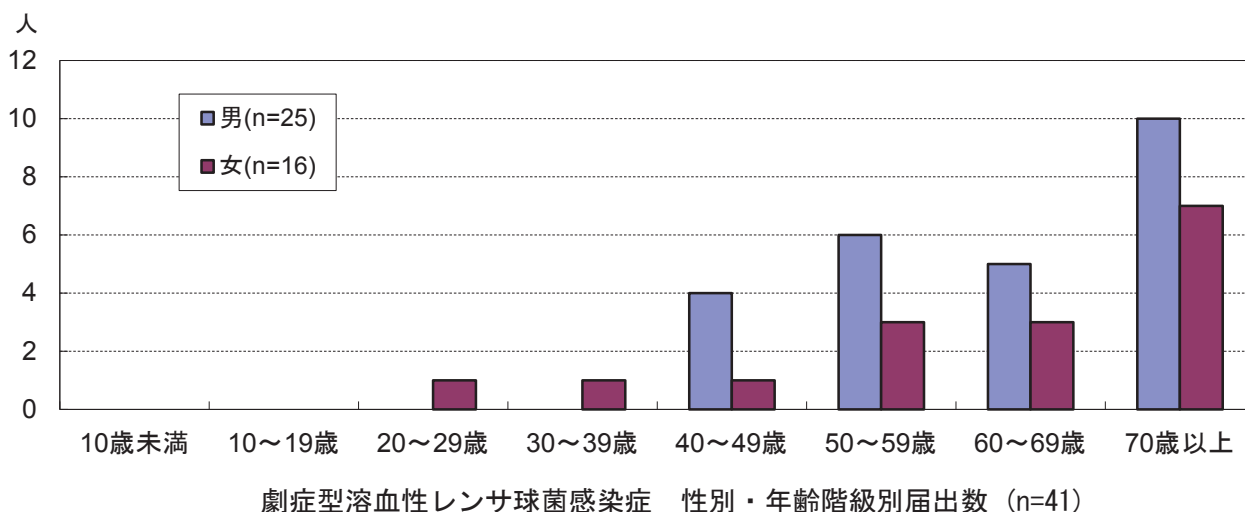
受理日	性別	年齢	病 型	確実度
2/10	男	64	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
3/17	女	69	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
3/31	男	75	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
6/10	男	75	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
7/2	男	83	孤発性－古典型 CJD	疑い
7/17	女	82	孤発性－古典型 CJD	疑い
7/22	女	70	孤発性－古典型 CJD	疑い
8/1	女	54	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
8/26	女	78	遺伝性－家族性 CJD	確実
9/26	男	80	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
10/6	女	76	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
10/9	女	77	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
10/28	女	88	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
11/10	女	85	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
11/18	男	71	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
12/3	女	61	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実
12/10	男	54	孤発性－古典型 CJD	ほぼ確実

⑦ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2014 年は 41 人届出があり、過去 10 年で最も多い届出数となった。血清型は A 群 30 件、B 群 5 件、G 群 5 件、不明 1 件で、性別は男性 25 人、女性 16 人、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 1 人、40～49 歳 5 人、50～59 歳 9 人、60～69 歳 8 人、70 歳以上 17 人であった。

また、死亡例は 7 人（30～39 歳 1 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 5 人）報告された。推定感染地は国内 40 人、国内又は中国 1 人で、推定感染経路は創傷感染 15 人、飛沫・飛沫核感染 4 人、接触感染 1 人、不明 21 人であった。





⑧ 後天性免疫不全症候群

2014 年は 512 人の届出があり、AIDS 患者 97 人、HIV 感染者 415 人（うち指標疾患以外の有症者 60 人、無症候性キャリア 355 人）であった。

AIDS 患者 97 人の内訳は男性 96 人、女性 1 人で、年齢階級別では 10 歳未満 1 人、20～29 歳 9 人、30～39 歳 35 人、40～49 歳 31 人、50～59 歳 12 人、60～69 歳 7 人、70 歳以上 2 人であった。

HIV 感染者のうち指標疾患以外の有症者の 60 人は全員男性で、年齢は 10～19 歳 1 人、20～29 歳 22 人、30～39 歳 13 人、40～49 歳 19 人、50～59 歳 4 人、60～69 歳 1 人であった。

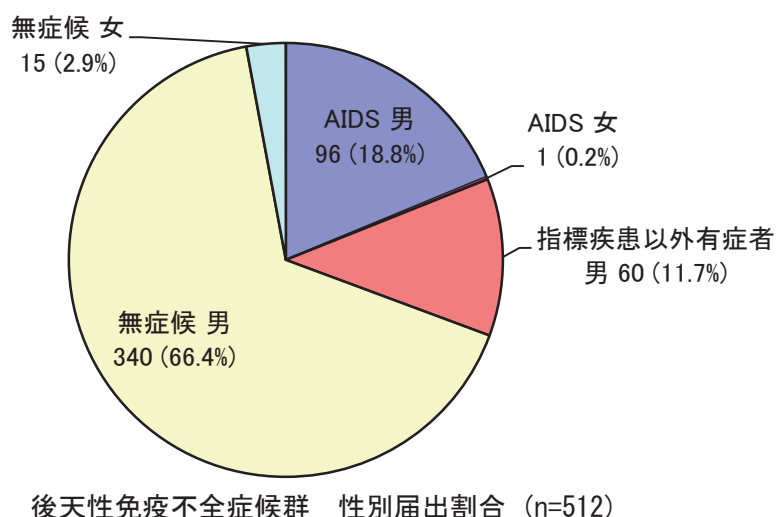
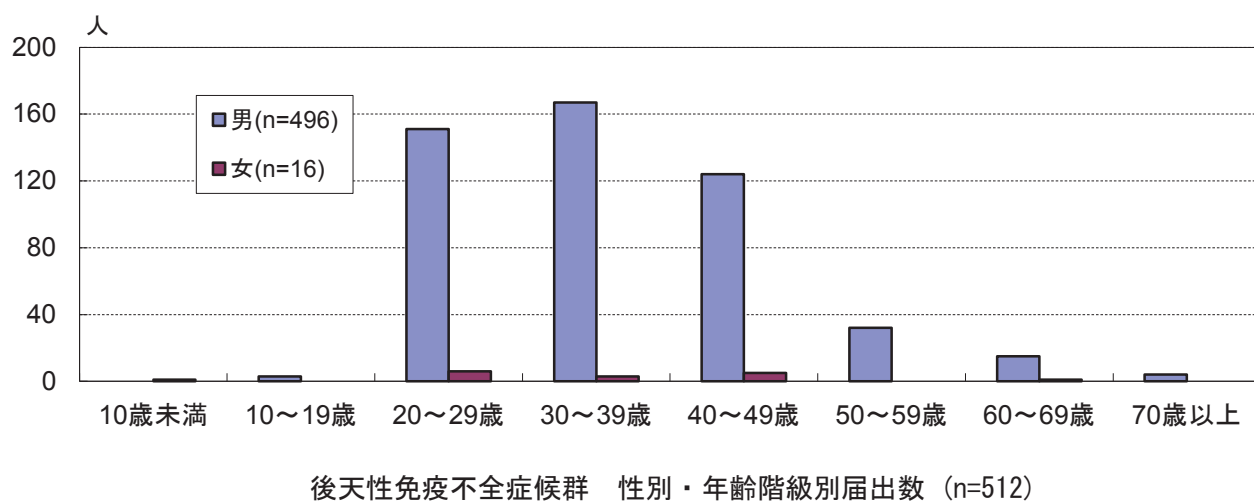
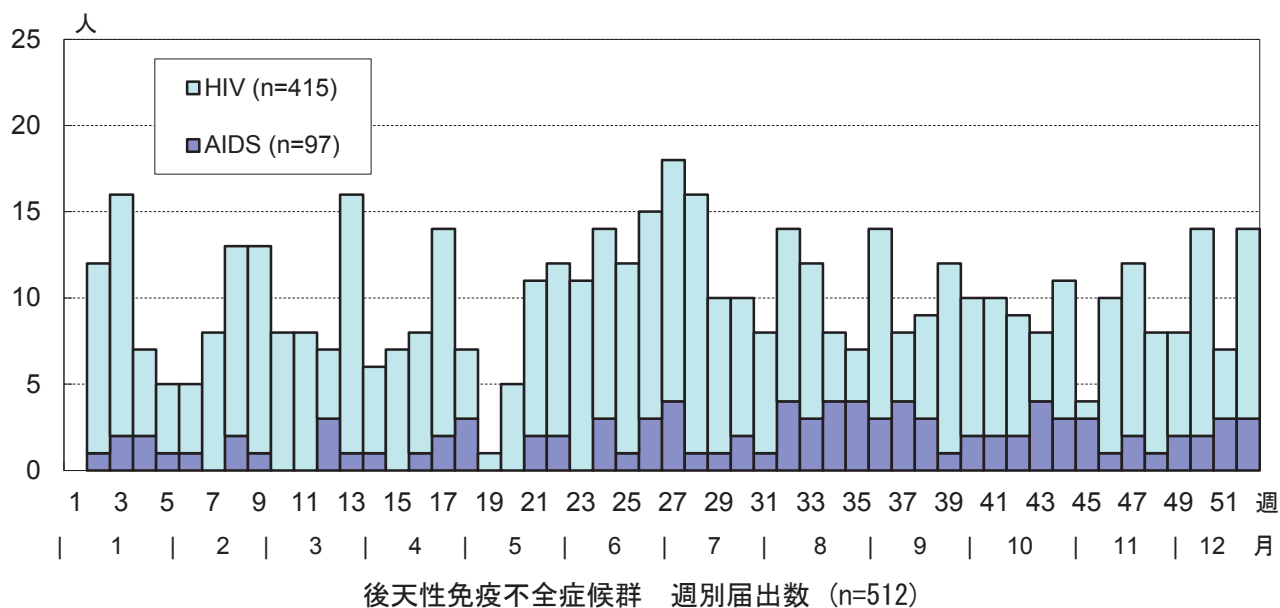
HIV 感染者のうち無症候性キャリアの 355 人は男性 340 人、女性 15 人で、年齢は 10～19 歳 2 人、20～29 歳 126 人、30～39 歳 122 人、40～49 歳 79 人、50～59 歳 16 人、60～69 歳 8 人、70 歳以上 2 人であった。

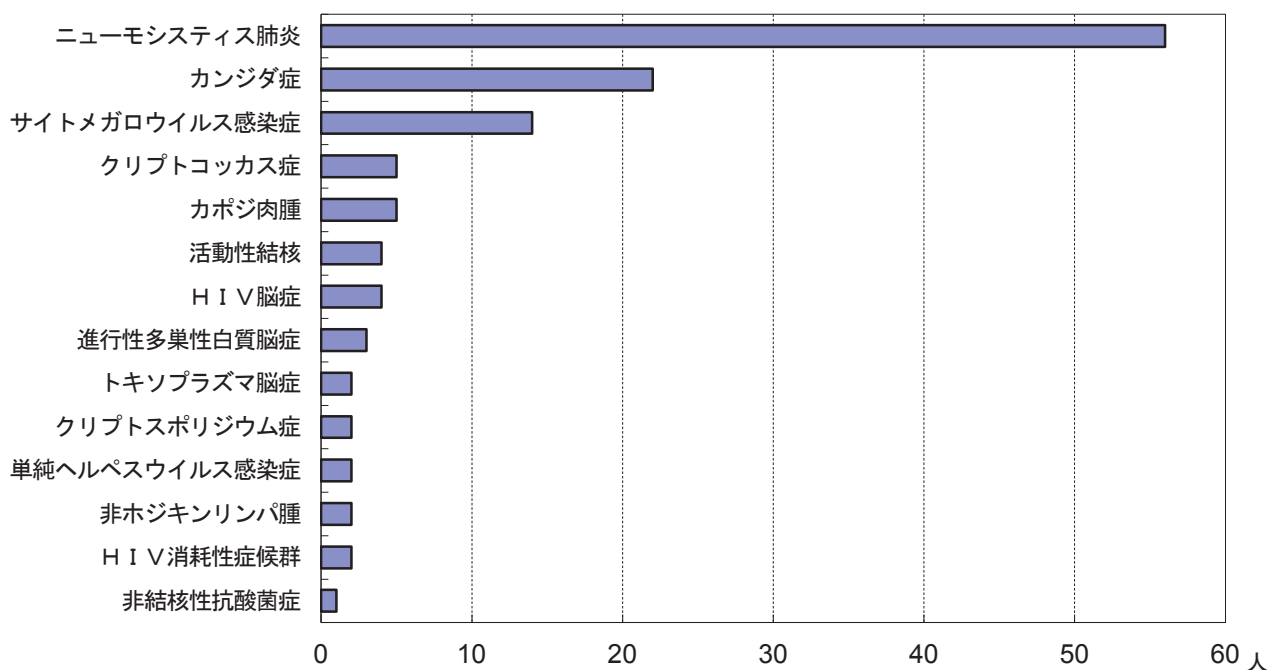
推定感染地は国内 436 人、国外 24 人、国内又は国外 4 人、不明 48 人であった。国外感染例 24 人の推定感染地域は、東南アジア 11 人、東アジア 5 人と多く、アメリカ 2 人、アフリカ 2 人、EU 1 人、不明 3 人であった。推定感染国別に見ると、タイ 3 人、インドネシア 2 人、シンガポール 2 人、ミャンマー 2 人、韓国 2 人、台湾 2 人、米国 2 人、フィリピン 1 人、中国 1 人、イギリス 1 人、カメルーン 1 人、南アフリカ 1 人、タイ又はフィリピン 1 人、渡航先不明 3 人であった。

推定感染経路は性的接触 464 人（同性間 350 人、異性間 91 人、両性間 18 人、不明 5 人）、輸血 1 人、母子感染 1 人、2 経路以上 5 人（同性間性的接触又は静注薬物使用 2 人、異性間性的接触又は静注薬物使用 1 人、同性間性的接触又は異性間性的接触又は薬物 1 人、同性間性的接触又は異性間性的接触又は入れ墨 1 人）、不明 41 人であった。

AIDS と診断した指標疾患は、57.7%（97 人中 56 人）がニューモシスティス肺炎であり、他にカン

ジダ症 22 人、サイトメガロウイルス感染症 14 人などが多かった。なお、これらの中には複数疾患発症者の報告 22 人（2 疾患 19 人、3 疾患 2 人、5 疾患 1 人）が含まれている。





AIDSと診断した指標疾患 (n=97、重複あり)

⑨ ジアルジア症

2014 年は 15 人届出があった。性別は男性 11 人、女性 4 人で、年齢は 10～19 歳 1 人、20～29 歳 4 人、30～39 歳 6 人、40～49 歳 3 人、70 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 9 人、国外 6 人であった。国外感染例 6 人を推定感染地域別に見ると、南アジア（インド）5 人、東南アジア（ラオス）1 人であった。

推定感染経路は、性的接触（同性間）5 人、経口感染 5 人、経口感染又は水系感染 2 人、ペット由来 1 人、不明 2 人であった。

ジアルジア症届出例 (n=15)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路
2/10	男	30	国内	ペット由来（猫）
2/14	女	75	国内	不明
3/12	女	46	インド	経口感染又は水系感染
3/13	男	25	インド	経口感染又は水系感染
4/1	男	32	国内	同性間性的接触
4/2	男	20	インド	経口感染
4/9	女	18	インド	経口感染
6/24	男	22	国内	同性間性的接触
7/14	男	43	国内	同性間性的接触
8/8	男	27	国内	同性間性的接触
8/26	男	32	国内	同性間性的接触
9/9	男	30	国内	経口感染
9/26	男	31	インド	経口感染
12/15	男	41	国内	不明
12/17	女	39	ラオス	経口感染

⑩ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2014 年は 22 人届出があった。血清型は B 群 1 人、判定不能 1 人、不明 20 人であり、性別は男性 9 人、女性 13 人、年齢は 10 歳未満 5 人（うち 5 歳未満 4 人）、10～19 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 2 人、70 歳以上 12 人で、死亡例は 2 人報告された。

推定感染地は国内 21 人、国外（タイ）1 人で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 8 人、その他 3 人、不明 11 人であった。

Hib ワクチン接種歴は 4 回接種が 1 人、3 回接種が 2 人、2 回接種が 1 人（いずれも 5 歳未満の 4 人）のほか、接種なし 8 人、不明 10 人であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症届出例（n=22）

受理日	性別	年齢	血清型	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
1/6	男	62	不明	国内	不明	なし
1/7	女	0	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	3 回接種
1/7	女	12	不明	国内	副鼻腔炎からの波及	なし
1/31	女	82	不明	国内	不明	なし
4/11	女	80	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
4/14	女	1	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	4 回接種
4/24	男	80	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
5/9	女	70	不明	国内	開頭術後感染	不明
5/14	男	71	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
5/21	男	4	判定不能	国内	不明	2 回接種
5/22	女	6	不明	国内	不明	なし
5/27	男	47	不明	国内	不明	不明
5/28	男	1	不明	国内	中耳炎からの波及	3 回接種
6/5	女	71	不明	国内	不明	不明
6/30	女	50	B 群	タイ	不明	なし
7/8	女	99	不明	国内	不明	不明
9/6	女	86	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
9/10	女	83	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
9/18	男	77	不明	国内	不明	不明
10/22	男	84	不明	国内	不明	なし
11/4	男	67	不明	国内	不明	なし
12/19	女	81	不明	国内	飛沫・飛沫核感染	不明

⑪ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2014 年は 9 人届出があった。血清群は W-135 群 2 人、C 群 2 人、B 群 1 人、W-135 群及び Y 群 1 人、不明 3 人であり、性別は男性 3 人、女性 6 人であった。年齢階級別では 10 歳未満 1 人（うち 5 歳未満 1 人）、50～59 歳 2 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 5 人で、死亡例は 2 人報告された。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3 人、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1 人、不明 5 人、ワクチン接種歴は、なし 6 人、不明 3 人であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症届出例（n=9）

受理日	性別	年齢	血清群	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
1/6	男	64	C 群	国内	不明	なし
3/11	女	73	不明	国内	不明	なし
3/18	男	52	C 群	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
6/16	女	87	W-135 群	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
8/1	女	0	B 群	国内	不明	なし
10/2	女	80	不明	国内	不明	不明
10/31	男	56	不明	国内	不明	なし
11/7	女	76	W-135 群	国内	飛沫・飛沫核感染 又は接触感染	不明
11/27	女	72	W-135 群 及び Y 群	国内	飛沫・飛沫核感染	不明

⑫ 侵襲性肺炎球菌感染症

2014 年は 225 人届出があった。血清型は 24F 型 8 人、15A 型 6 人、10A 型 4 人、19A 型 3 人、1 型 2 人、3 型 2 人、7F 型 2 人、11A 型 2 人、15C 型 2 人、6C 型 1 人、7C 型 1 人、12F 型 1 人、15B 型 1 人、24B 型 1 人、23F 型 1 人、33F 型 1 人、35B 型 1 人、24（24A 又は 24B 又は 24F）型 1 人、不明 185 人で、性別は男性 134 人、女性 91 人であった。年齢階級別では 10 歳未満 51 人（うち 5 歳未満 40 人）、20～29 歳 3 人、30～39 歳 7 人、40～49 歳 17 人、50～59 歳 18 人、60～69 歳 48 人、70 歳以上 81 人で、死亡例は 12 人報告された。

推定感染地は国内 224 人、国内又は国外（中国）1 人であり、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 72 人、接触感染 3 人、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 3 人、不明 147 人であった。ワクチン接種歴は 4 回接種 13 人、3 回接種 16 人、2 回接種 6 人、1 回接種 18 人、なし 105 人、不明 67 人であった。

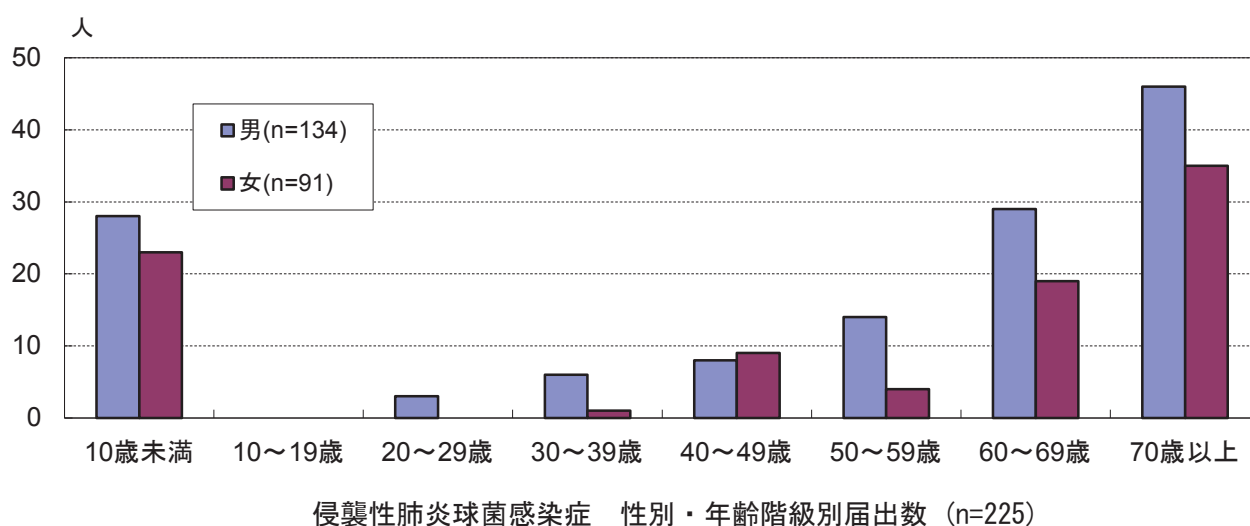
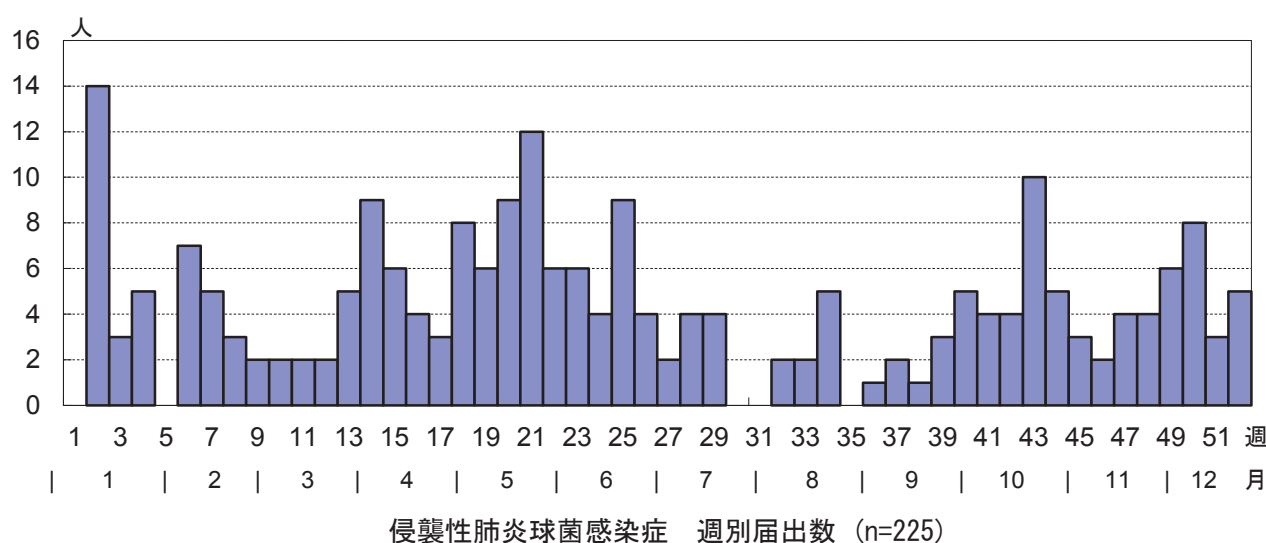
年齢階級別・種類別ワクチン接種歴（n=225）

	7 価 4 回	7 価 3 回	7 価 2 回	7 価 1 回	13 価 3 回	13 価 2 回	13 価 1 回	23 価 1 回	23 価 2 回
5 歳未満	6	9	2		3	1	1		
5～9 歳			1	3			1	2	
10～64 歳								2	
65 歳以上								2	1
合 計	6	9	3	3	3	1	2	6	1

(表の続き)

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=225)

	7価3回と 13価1回	7価3回と 不明1回	7価2回と 13価1回	7価1回と 不明1回	不明3回	不明1回	なし	不明	合計
5歳未満	6	1	2		2		7		40
5～9歳				1		1	2		11
10～64歳							36	26	64
65歳以上						6	60	41	110
合 計	6	1	2	1	2	7	105	67	225



⑬ 水痘（入院例）

五類感染症（全数把握）の届出対象となった2014年9月19以降11人の届出があった。性別は男性7人、女性4人で、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳2人、30～39歳3人、40～49歳3人、50～59歳1人であった。

水痘（入院例）届出例（n=11）

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路	ワクチン接種歴
9/24	男	25	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
9/24	男	31	国内	不明	なし
9/30	男	26	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
10/2	男	46	国内	不明	不明
10/10	女	36	国内	接触感染	不明
10/24	男	29	国内	飛沫・飛沫核感染	なし
11/17	女	10	国内	飛沫・飛沫核感染	1回
11/28	女	6	国内	不明	なし
11/28	女	0	国内	飛沫・飛沫核感染又は接触感染	なし
12/16	男	31	国内	飛沫・飛沫核感染	不明
12/24	男	10	国内	飛沫・飛沫核感染又は接触感染	2回

⑭ 先天性風しん症候群（CRS）

2014年は3人の届出があった。性別は男性1人、女性2人で、全員1歳未満、母親の推定感染地はすべて国内（東京都2人、神奈川県1人）であった。なお新規の届出は3月以降発生していない。

母親の妊娠中の風しん罹患歴は、3人すべてありであった。また、母親の風しんワクチン接種歴は、あり1人（1回のみ）、不明2人であった。

病型はCRS典型例2人、その他*1人で、症状は先天性心疾患（2人、共に動脈管開存症の疑い）、難聴、紫斑、X線透過性の骨病変、黄疸（以上各1人）などが見られた。

* 届出に必要な臨床症状のうち、CRS典型例は①から2項目以上又は①から1項目と②から1項目以上、その他は①若しくは②から1項目以上

① 白内障又は先天性緑内障、先天性心疾患、難聴、色素性網膜症

② 紫斑、脾腫、小頭症、精神発達遅滞、髄膜脳炎、X線透過性骨病変、生後24時間以内に出現した黄疸

先天性風しん症候群届出例（n=3）

受理日	性別	月齢	病型	母親の妊娠中の風しん罹患歴*	母親の風しんワクチン接種歴
1/10	女	0	CRS典型例	あり（8）	不明
1/20	男	0	CRS典型例	あり（6）	不明
2/24	女	3	その他	あり（6）	1回（13歳、風しん単抗原）

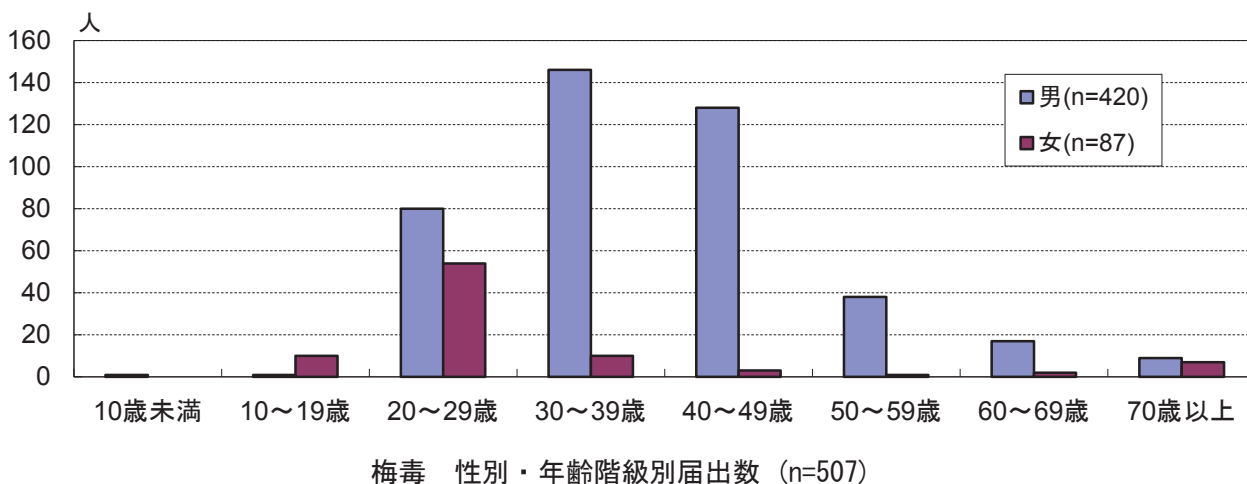
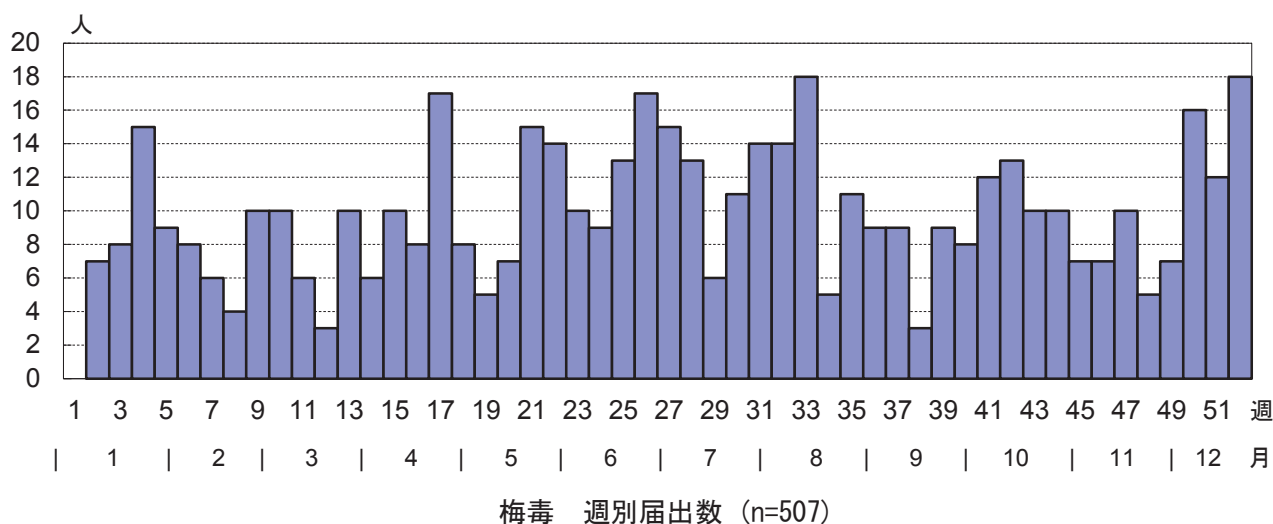
* （ ）内の数値は母親が風しんを発症した妊娠週数

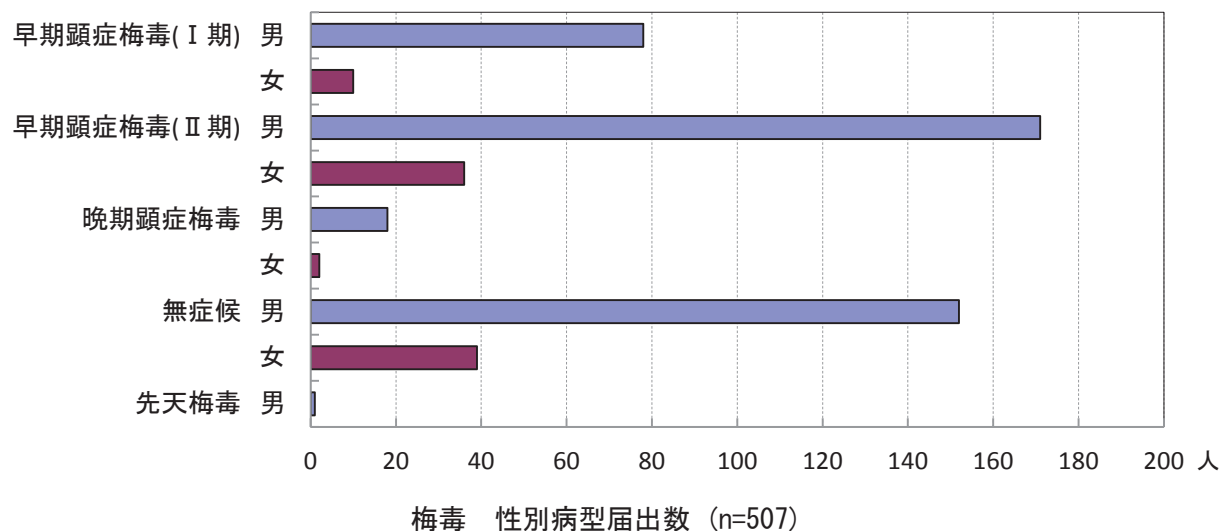
⑮ 梅毒

2014 年は 507 人届出があり、調査開始以降の最多届出数を更新した。早期顕症梅毒Ⅰ期 88 人、早期顕症梅毒Ⅱ期 207 人、晩期顕症梅毒 20 人、無症候 191 人、先天梅毒 1 人であった。性別は男性 420 人、女性 87 人、年齢階級別では 10 歳未満 1 人、10～19 歳 11 人、20～29 歳 134 人、30～39 歳 156 人、40～49 歳 131 人、50～59 歳 39 人、60～69 歳 19 人、70 歳以上 16 人で、20～49 歳の男性が全体の 69.8% を占めた。一方、20～29 歳では女性が 40.3%、10～19 歳では全 11 人のうち女性が 10 人を占めた。

推定感染地は国内 498 人、国外 7 人、国内又は国外 2 人であり、国外感染例 7 人の推定感染国は、タイ 1 人、マレーシア 1 人、韓国 1 人、南アフリカ 1 人、ブラジル 1 人、アメリカ又はカンボジア 1 人、スペイン又はイタリア又はスイス 1 人であった。

推定感染経路は性的接触 476 人（同性間 247 人、異性間 165 人、両性間 4 人、性別不明 60 人）、母子感染 1 人、不明 30 人であった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

五類感染症（全数把握）の届出対象となった2014年9月19以降4人の届出があった。性別は男性1人、女性3人で、年齢階級別は全て70歳以上であった。

⑰ 破傷風

2014年は10人届出があった。性別は男性6人、女性4人で、年齢は40～49歳2人、60～69歳2人、70歳以上6人、推定感染地はすべて国内で、推定感染経路は創傷感染9人、不明1人であった。破傷風含有ワクチン接種歴はなし3人、不明7人であった。

破傷風届出例（n=10）

受理日	性別	年齢	診断方法	推定感染地	推定感染経路
1/9	男	73	臨床決定	国内	創傷感染
1/10	男	72	臨床決定	国内	創傷感染
2/3	女	48	臨床決定	国内	創傷感染
3/6	女	67	臨床決定	国内	創傷感染（凍傷）
5/2	男	77	臨床決定	国内	不明
6/20	男	43	臨床決定	国内	創傷感染
7/22	女	83	臨床決定	国内	創傷感染
7/25	男	79	臨床決定	国内	創傷感染（農作業による既往）
9/10	女	64	臨床決定	国内	創傷感染
9/19	男	87	臨床決定	国内	創傷感染（外傷）

⑮ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2014 年は 6 人届出があった。菌種は *Enterococcus faecium* 3 件、*E. faecalis* 1 件、*E. gallinarum* 1 件、不明 1 件であり、耐性遺伝子型は *vanB* 4 件、*vanC* 1 件、不明 1 件であった。

性別は男性 3 人、女性 3 人、年齢は 50～59 歳 2 人、60～69 歳 1 人、70 歳以上 3 人であった。死亡例は 1 人報告された。推定感染地は国内 5 人、国内又は国外（詳細地域不明）1 人であった。推定感染経路は VRE 保菌者が 1 人、不明 5 人であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症届出例（n=6）

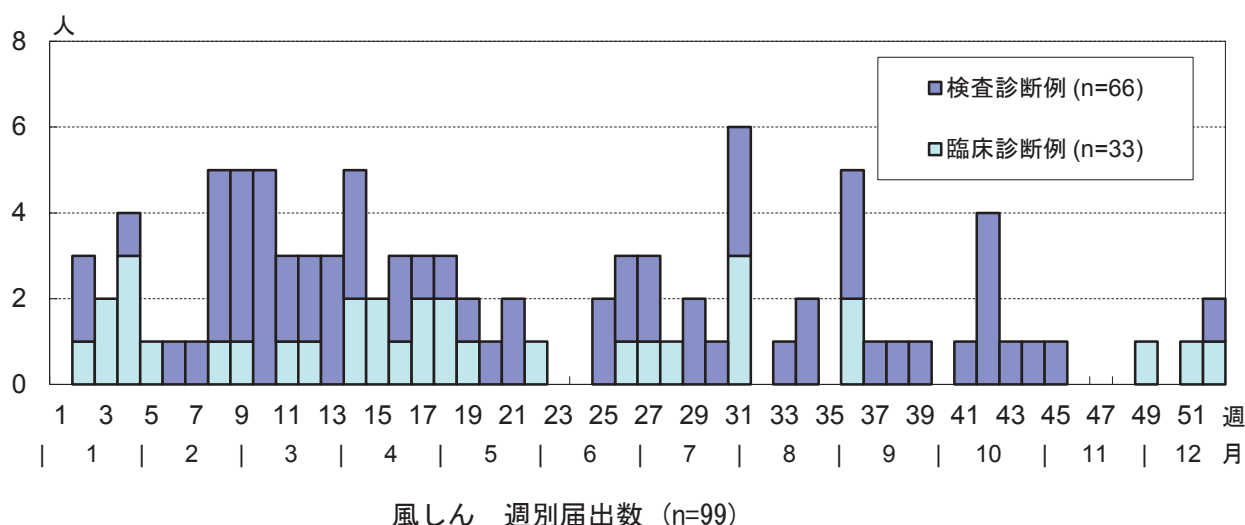
受理日	性別	年齢	検体	菌 種	耐性遺伝子型
2/3	男	65	血液	<i>E. faecium</i>	<i>vanB</i>
3/6	女	55	血液	<i>E. gallinarum</i>	<i>vanC</i>
3/12	女	81	便	不明	不明
11/25	女	92	尿	<i>E. faecalis</i>	<i>vanB</i>
12/22	男	79	胆汁	<i>E. faecium</i>	<i>vanB</i>
12/22	男	52	膿	<i>E. faecium</i>	<i>vanB</i>

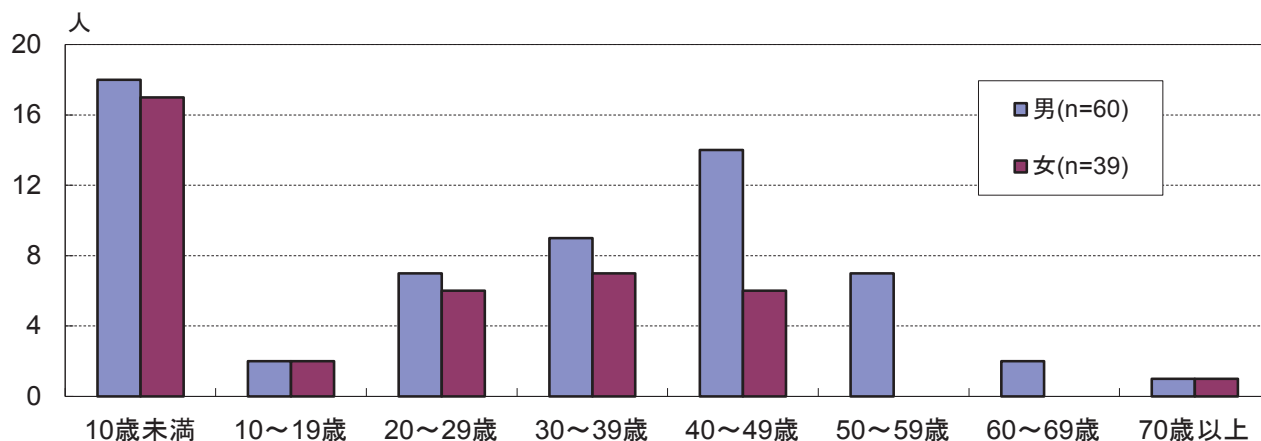
⑯ 風しん

2014 年の届出は 99 人、検査診断例 66 人（うち PCR で陽性が確認された数は 27 件）、臨床診断例 33 人であった。

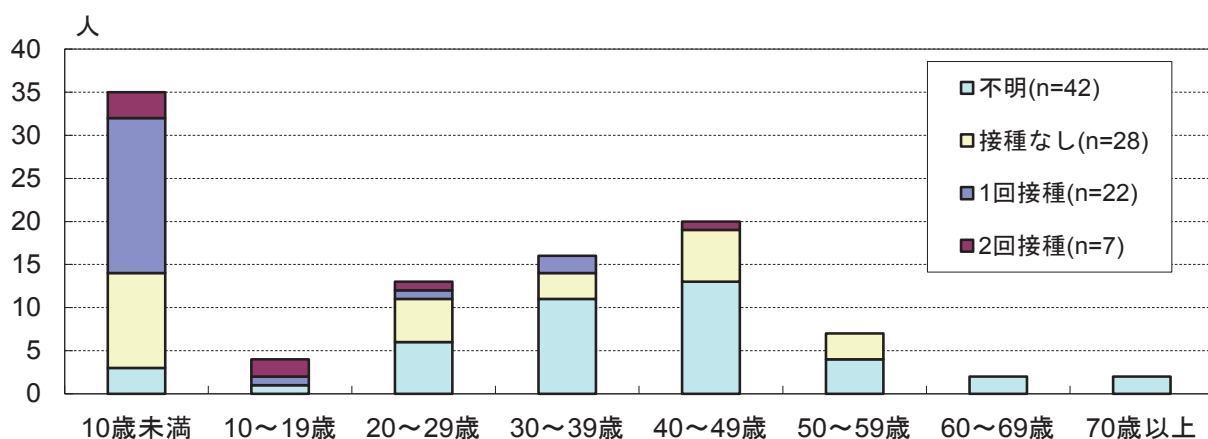
2012 年夏季から始まった風しんの流行は、2014 年に入って激減し、週 2 人前後の報告が続いているが、五類感染症の届出対象となった 2008 年以降 2011 年以前の例年よりは若干多くなっている。

性別は男性 60 人、女性 39 人で、年齢階級別では 10 歳未満 35 人（うち 5 歳未満 28 人）、10～19 歳 4 人、20～29 歳 13 人、30～39 歳 16 人、40～49 歳 20 人、50～59 歳 7 人、60～69 歳 2 人、70 歳以上 2 人であった。推定感染地は国内 96 人、国外（インドネシア）1 人、国内又は韓国 1 人、国内又は渡航先不明 1 人であった。風しん含有ワクチン接種歴は、2 回接種 7 人（7.1%）、1 回接種 22 人（22.2%）、接種歴なし 28 人（28.2%）、不明 42 人（42.4%）であった。





風しん 性別・年齢階級別届出数 (n=99)



風しん 年齢別・接種歴別届出数 (n=99)

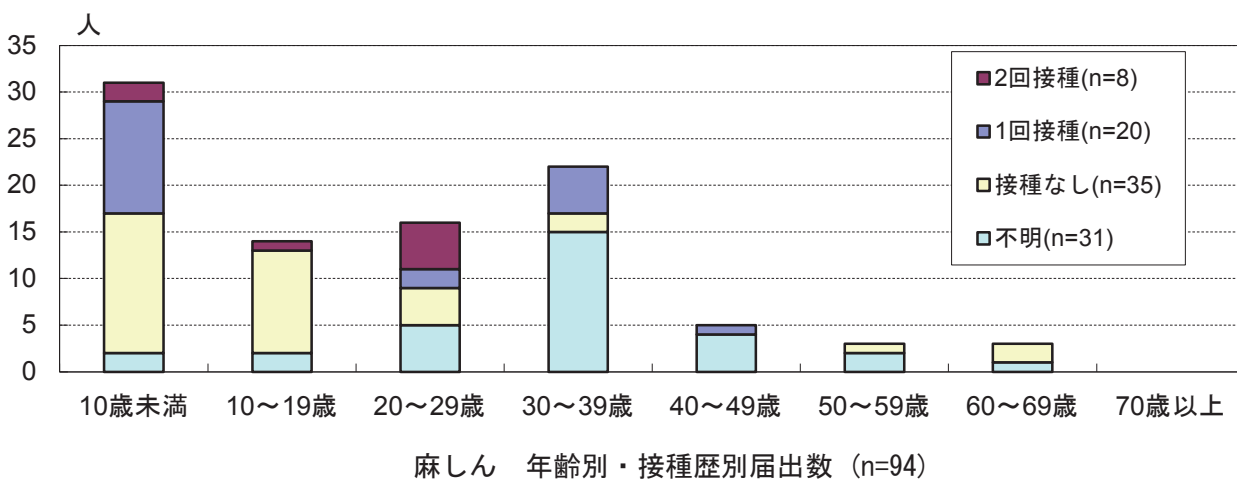
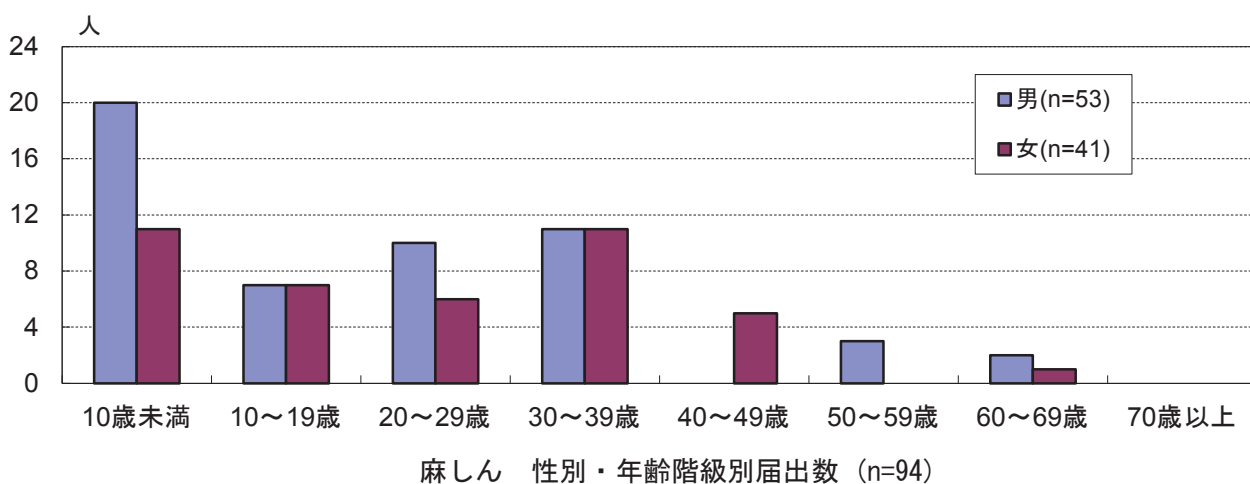
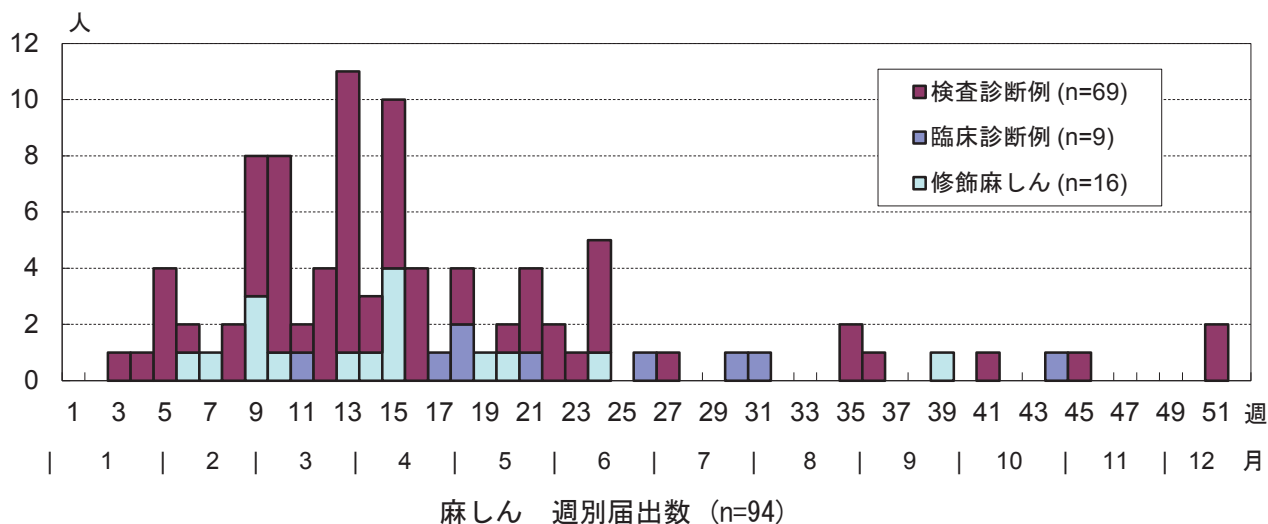
⑳ 麻疹

2014 年は 94 人届出があった。検査診断例 69 人、臨床診断例 9 人、修飾麻疹 16 人であり、肺炎、脳炎の合併は報告されなかった。2014 年には同一施設で 2 名以上の発症者があった事例が 8 件あった。

性別は男性 53 人、女性 41 人で、年齢階級別では 10 歳未満 31 人（うち 5 歳未満 23 人）、10～19 歳 14 人、20～29 歳 16 人、30～39 歳 22 人、40～49 歳 5 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 3 人であった。推定感染地は国内 77 人、国外 15 人、国内又は国外（フィリピン）2 人であった。国外感染例 15 人の推定感染国は、フィリピン 6 人、インドネシア 3 人、中国 1 人、米国 1 人、グアム 1 人、ソロモン諸島 1 人、ベトナム又はマレーシア 1 人、中国又はカザフスタン 1 人であった。

麻疹含有ワクチン接種歴は、2 回接種 8 人(8.5%)、1 回接種 20 人(21.3%)、接種なし 35 人(37.2%)、不明 31 人(33.0%)であった。

2014 年に PCR 検査で麻疹ウイルス陽性が確認された例は 80 件あり、それらの遺伝子型別の内訳は B3 型 37 件、D8 型 19 件、D9 型 11 件、H1 型 1 人、判定不能 4 人、不明 2 人、A 型（ワクチン株のため届出対象外）6 件であった。H1 型の 1 件は 1 歳未満の乳児で推定感染地は中国であった。



② 薬剤耐性アシネトバクター感染症

五類感染症（全数把握）の届出対象となった2014年9月19日以降3人の届出があった。年齢性別は70歳以上の男性2人、60～69歳の女性1人であった。

②② その他の五類感染症

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

カ 指定感染症

以下の疾患は届出がなかった。

中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H7N9）

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2014年第1週～2014年第52週

週	期 間	一 類							二 類				三 類					
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
1	12.30～ 1. 5																	
2	1. 6～ 1.12													2				1
3	1.13～ 1.19																1	
4	1.20～ 1.26																1	
5	1.27～ 2. 2																1	
6	2. 3～ 2. 9																	
7	2.10～ 2.16															1	1	
8	2.17～ 2.23															1		
9	2.24～ 3. 2													1	1			
10	3. 3～ 3. 9																1	
11	3.10～ 3.16															5		
12	3.17～ 3.23															2	2	
13	3.24～ 3.30													1	2	2	1	
14	3.31～ 4. 6													2	1			
15	4. 7～ 4.13													1	9			
16	4.14～ 4.20													1	13			1
17	4.21～ 4.27													1	4	1		
18	4.28～ 5. 4																	
19	5. 5～ 5.11													1				
20	5.12～ 5.18													5	2			
21	5.19～ 5.25														7			1
22	5.26～ 6. 1														5			
23	6. 2～ 6. 8														4			
24	6. 9～ 6.15													1	12			
25	6.16～ 6.22													1	17	1		
26	6.23～ 6.29												2	1	20			
27	6.30～ 7. 6													1	23			
28	7. 7～ 7.13													3	25			
29	7.14～ 7.20														12			2
30	7.21～ 7.27												1	1	10			
31	7.28～ 8. 3														20			
32	8. 4～ 8.10														16			
33	8.11～ 8.17														16			
34	8.18～ 8.24														18	1		1
35	8.25～ 8.31														13			
36	9. 1～ 9. 7													4	27	5		1
37	9. 8～ 9.14														11	3		
38	9.15～ 9.21													1	5	1		
39	9.22～ 9.28														12	2		
40	9.29～10. 5													2	5	2		
41	10. 6～10.12														2	1		
42	10.13～10.19														5			
43	10.20～10.26														5	1		
44	10.27～11. 2													3	5			
45	11. 3～11. 9													1	3			
46	11.10～11.16													2	3	1		
47	11.17～11.23														7			
48	11.24～11.30													2	3			
49	12. 1～12. 7													1	4			1
50	12. 8～12.14													1	4			
51	12.15～12.21														2			
52	12.22～12.28													1				
合 計													3	41	362	27		8

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2014年第1週～2014年第52週

週	期 間	四 類										
		E 型 肝 炎	A 型 肝 炎	オ ウ ム 病	チ ク ン グ ニ ア 熱	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	ブ ル セ ラ 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	12.30～ 1. 5											
2	1. 6～ 1.12	1		1		1					8	
3	1.13～ 1.19						1				1	
4	1.20～ 1.26	2					2				4	
5	1.27～ 2. 2		1								2	
6	2. 3～ 2. 9		2				2				1	
7	2.10～ 2.16	1	1				2		1		2	
8	2.17～ 2.23	1					1		1			
9	2.24～ 3. 2	1							1		1	
10	3. 3～ 3. 9	1	4	1		1		1				
11	3.10～ 3.16		1								1	
12	3.17～ 3.23						1	1	2		1	
13	3.24～ 3.30	2	3		1		1				1	
14	3.31～ 4. 6	3	1		1				1		3	
15	4. 7～ 4.13		1				1				1	1
16	4.14～ 4.20						2		1		2	
17	4.21～ 4.27	1	2			1			1		1	
18	4.28～ 5. 4		1				1		1		4	
19	5. 5～ 5.11						2		1		4	
20	5.12～ 5.18		6				2					
21	5.19～ 5.25	1	1			1					1	
22	5.26～ 6. 1						3		1			
23	6. 2～ 6. 8	2					1				3	
24	6. 9～ 6.15		2				1				1	
25	6.16～ 6.22						3				5	
26	6.23～ 6.29										4	
27	6.30～ 7. 6						1		2		2	
28	7. 7～ 7.13					1	1		1		1	
29	7.14～ 7.20	2						1			3	
30	7.21～ 7.27						2				1	
31	7.28～ 8. 3						1	1	2		1	
32	8. 4～ 8.10		1								1	
33	8.11～ 8.17						1				4	
34	8.18～ 8.24						2				3	
35	8.25～ 8.31		1				19		1	1	2	
36	9. 1～ 9. 7						35		2		2	
37	9. 8～ 9.14	2	1				31		4		1	1
38	9.15～ 9.21						17				4	
39	9.22～ 9.28	1	1	1			10		1		5	
40	9.29～10. 5		1			1	7				2	
41	10. 6～10.12	1					3					1
42	10.13～10.19						1				5	
43	10.20～10.26				1	2	2			1	3	
44	10.27～11. 2	1	2			3	1				2	1
45	11. 3～11. 9				1				1		1	1
46	11.10～11.16					1	1		1		5	
47	11.17～11.23					1			1		1	
48	11.24～11.30		1			4					1	
49	12. 1～12. 7	1										
50	12. 8～12.14	1	2			1						
51	12.15～12.21	1	1								3	
52	12.22～12.28	1	1		1		2				3	1
合 計		27	38	3	5	18	163	4	27	2	107	

表3-1(3) 五類(全数把握)感染症 週別患者報告数

2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

週	期 間	五 類																				
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	腸内細菌科細菌感染症 カルバペネム耐性	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	ヤコブ病 クロイツフェルト・	劇症型溶血性レンサ球菌	感染症 後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌	感染症 侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性 クリプトコックス症	破傷風	耐性腸球菌感染症 バンコマイシン	風しん	麻疹	アシネトバクター感染症 薬剤耐性
1	12.30～ 1.5																					
2	1.6～ 1.12	2	2		1	1			12		3	1	14		1	7		2		3		
3	1.13～ 1.19	2	2					3	16				3			8				2	1	
4	1.20～ 1.26	4			1	1		4	7				5		1	15				4	1	
5	1.27～ 2.2	1			2			1	5		1					9				1	4	
6	2.3～ 2.9	6			2				5				7			8		1	1	1	2	
7	2.10～ 2.16	3	2		1	1	1	1	8	2			5			6				1	1	
8	2.17～ 2.23	3			1				13				3			4				5	2	
9	2.24～ 3.2	5	4		2			1	13				2		1	10				5	8	
10	3.3～ 3.9	8			2			2	8				2			10		1	1	5	8	
11	3.10～ 3.16	3	2		2	1			8	2		1	2			6			1	3	2	
12	3.17～ 3.23	3			1		1		7			1	2			3				3	4	
13	3.24～ 3.30	4	1					1	16				5			10				3	11	
14	3.31～ 4.6	5					1	1	6	2			9			6				5	3	
15	4.7～ 4.13	8							7	1	1		6			10				2	10	
16	4.14～ 4.20	5	1					1	8		1		4			8				3	4	
17	4.21～ 4.27	5	1						14		1		3			17				3	1	
18	4.28～ 5.4	3	1		1			1	7				8			8		1		3	4	
19	5.5～ 5.11	2	1		1			3	1		1		6			5				2	1	
20	5.12～ 5.18	4						1	5		1		9			7				1	2	
21	5.19～ 5.25	6	2					1	11		2	12	1			15				2	4	
22	5.26～ 6.1	3						2	12		2		6			14				1	2	
23	6.2～ 6.8	6	1					1	11		1		6			10					1	
24	6.9～ 6.15	5	1		1		1		14				4			9					5	
25	6.16～ 6.22	3	3		1			3	12			1	9			13		1		2		
26	6.23～ 6.29	3	2		1	1		1	15	1			4			17				3	1	
27	6.30～ 7.6	4	4		3	63	1	1	18		1		2			15				3	1	
28	7.7～ 7.13	4			1	5			16		1		4			13				1		
29	7.14～ 7.20	5			1	1	1	3	10	1			4			6				2		
30	7.21～ 7.27	4	1		1		1		10							11		2		1	1	
31	7.28～ 8.3	6	2		4		1	2	8			1				14				6	1	
32	8.4～ 8.10	7	1		1				14	1			2			14						
33	8.11～ 8.17	7	3		2			1	12				2			18				1		
34	8.18～ 8.24	4			1				8				5			5				2		
35	8.25～ 8.31	7					1	1	7	1						11					2	
36	9.1～ 9.7	6	1		2	1		1	14		1		1			9				5	1	
37	9.8～ 9.14	6			1			1	8	1	1		2			9		1		1		
38	9.15～ 9.21	2							9		1		1			3		1		1		
39	9.22～ 9.28	4	1		1		1		12	1			3	2		9				1	1	
40	9.29～10.5	2		11		6		1	10			1	5	2		8	1					
41	10.6～10.12	5	2	3	1		2		10				4	1		12				1	1	
42	10.13～10.19	7			1				9				4			13	1			4		
43	10.20～10.26	10		4					8		1		10	1		10				1		
44	10.27～11.2	3		4	2		1		11			1	5			10				1	1	
45	11.3～11.9	3		4					4		1	1	3			7				1	1	
46	11.10～11.16	3		8	2		1		10				2			7						
47	11.17～11.23	2	1	3			1	1	12				4	1		10						
48	11.24～11.30	5	1		2	1			8			1	4	2		5			1			
49	12.1～12.7	7	1	7			1		8				6			7	1			1		
50	12.8～12.14	5	2	1	2		1	1	14				8			16	1					
51	12.15～12.21	3		6	3				7	2	1		3	1		12				1	2	
52	12.22～12.28	6	2	5	1				14				5	1		18			2	2	1	
合 計		229	48	56	52	82	17	41	512	15	22	9	225	11	3	507	4	10	6	99	94	3

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2014年第1週～2014年第52週

	一 類							二 類					三 類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田														1	4	2	
中央区														3	6		1
みなと														3	8		1
新宿区														4	13	8	3
文京														4	9	3	
台東															2		
墨田区														3	10		
江東区															7		
品川区													1	1	1		1
目黒区															6	2	1
大田区													1	3	18	1	
世田谷														1	27	1	
渋谷区													1	1	5	1	
中野区														2	5		
杉並														2	11		
池袋															10		
北区														1	5		
荒川区															3		
板橋区															17	1	
練馬区														4	21	1	
足立															23		
葛飾区															7		
江戸川														3	11	1	
八王子市															22		1
町田市															23	1	
西多摩														1	6		
南多摩															12		
多摩立川														1	17	1	
多摩府中														3	23	3	
多摩小平															30	1	
島しょ																	
合 計													3	41	362	27	8

＊結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

	四 類										
	E 型肝炎	A 型肝炎	オウム病	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	2					2				2	
中央区		1				1				2	
みなと	4	4	1			6		8		7	
新宿区	2	6		2		34	2	13		3	4
文京	2	2		1		21		2		1	
台東						1				5	
墨田区		2				5		1		4	1
江東区		2				1					
品川区	2	2				2				4	
目黒区	5	1			1	6				1	
大田区	3	3		1	4	10		2	1	10	1
世田谷				1	3	4				4	
渋谷区		1			1	28				5	
中野区						4	2			1	
杉並						1				1	
池袋									1	1	
北区	1					2					
荒川区	1					1					
板橋区	2	1				4				8	
練馬区		2				4				4	
足立		1								1	
葛飾区		1				1				2	
江戸川			1			3				1	
八王子市		1			1					4	
町田市						3				6	
西多摩	1	1	1		2	1				5	
南多摩										3	
多摩立川	2				1	4				7	
多摩府中		7			1	12		1		7	
多摩小平						2				8	
島しょ					4						
合 計	27	38	3	5	18	163	4	27	2	107	6

表3-2(3) 五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数

2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

	五 類																				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	腸内細菌科細菌感染症 カルバペネム耐性	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	ヤコブ病 クロイツフェルト・	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	感染性インフルエンザ菌 侵襲性	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性 クリプトコックス症	破傷風	耐性腸球菌感染症 バンコマイシン	風しん	麻しん	アシネトバクター 薬剤耐性 感染症
千代田	11	3	1	1			1	4	2			3	1		4	1			1	2	
中央区	11	1		2				2		1		2			1				2	2	1
みなと	18	1	4		1	1		38	3	1		9			57		1		2	1	
新宿区	24	21	5	9	10		5	152	3	1	2	14			242		1	1	7	1	
文京	15			1	31	4	6	41	4		1	6	2		31		1	1	1	8	
台東	3		4					5				4			21					1	
墨田区	10			4		1	2	23			1	6		1	3				1	5	
江東区	10		1			1	1	3							1				2	1	
品川区	10	2	5	1			1	11		3	1	9			8				3	5	
目黒区	4	3	4				2	6	2	2		10			6			1			
大田区	12	11	1	4		1	3	10		1		5		1	8			1	11	15	
世田谷	12			13	1	1		14	1	1	1	10		1	11		1		2	6	
渋谷区	4						1	99				5			11				3		
中野区	8		9				1	15				7			9				5	1	
杉並	4				1			5		1		2	1		5				4		
池袋	1		3					3		1		2			13				3	4	
北区	1							1				7			3			1	4	3	
荒川区	1	3		2		1		1				4			7				1	4	1
板橋区	9		6	2		2	5	17		1		24	2		9		1	1	5	4	1
練馬区	5		1	2				3		1		13			1		1		6	1	
足立	3			1			1	2				2			2				3	12	
葛飾区	3							7				2			10				2	4	
江戸川	5							4				5			7				8		
八王子市	6			1				6		1		3			4				2	1	
町田市	5		2		2			3		1		2	1		2				4	2	
西多摩	4			1		1	1	2				4	1		2						
南多摩	2		2	2				1		1		5			2		1		2	2	
多摩立川	14	2	4			1	3	4		2		10			9	2			9	1	
多摩府中	11	1	3	4	36	3	3	24		2	2	38	3		13	1	3		3	7	
多摩小平	3		1	2			5	6		1	1	12			5				3	1	
島しょ																					
合 計	229	48	56	52	82	17	41	512	15	22	9	225	11	3	507	4	10	6	99	94	3

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

	一 類							二 類					三 類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳															2		
1～4歳															30	1	
5～9歳															29	3	
10～14歳															34		
15～19歳														2	35		
20～24歳														1	43	4	1
25～29歳													1	10	35	4	2
30～34歳														4	20	5	1
35～39歳														5	26	4	1
40～44歳														6	21	1	1
45～49歳													1	4	15	2	
50～54歳													1	4	12		
55～59歳														1	5		1
60～64歳															16	1	
65～69歳														2	15		
70歳以上														2	24	2	1
合 計													3	41	362	27	8

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

	四 類										
	E 型 肝 炎	A 型 肝 炎	オ ウ ム 病	チ ク ン グ ニ ア 熱	つ つ が 虫 病	デ ン グ 熱	ブ ル セ ラ 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
0歳											
1～4歳		2				4					
5～9歳		1				6					
10～14歳						3					
15～19歳		1			1	12					1
20～24歳		2				27		3			
25～29歳	1	3		1	3	21	1		1		1
30～34歳	1	4	1		3	19		3		1	1
35～39歳	4	5				19		5			
40～44歳	1	3		2	2	11	1	2		3	
45～49歳	2	1		1	1	14	1	9		4	1
50～54歳	4	2		1	1	8	1			8	
55～59歳	4	4			1	7		2	1	4	1
60～64歳	3	1			1	3		2		11	
65～69歳	3	4	1		2	3		1		18	
70歳以上	4	5	1		3	6				58	1
合 計	27	38	3	5	18	163	4	27	2	107	6

表3-3(3) 五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数

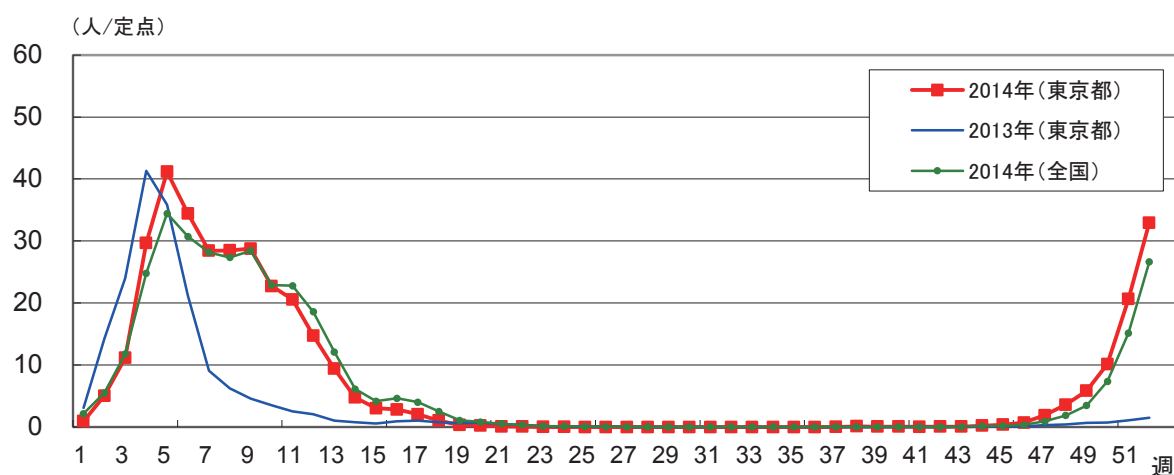
2014 年第 1 週～2014 年第 52 週

	五 類																				
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			1	5						1	1	9	1	3	1				6	7	
1～4歳			1	12				1		3		31							22	16	
5～9歳				15	1					1		11	1						7	8	
10～14歳	1		1	3	60					1			2						1	5	
15～19歳		1	1	1				3	1						11				3	9	
20～24歳	6	4		2	1		1	60	2			1			58				6	2	
25～29歳	9	11		3	4			97	2			2	3		76				7	14	
30～34歳	16	3	2	1	2		1	88	5			1	2		80				12	13	
35～39歳	24	6			5			82	1			6	1		76				4	9	
40～44歳	30	6	2		5		3	73	2			7			81		1		9	2	
45～49歳	34	8	1		2		2	56	1	1		10	1		50		1		11	3	
50～54歳	35	4	1		1	2	3	16		1	1	4			21			1	4	2	
55～59歳	23	1	5				6	16			1	14			18			1	3	1	
60～64歳	22	2	2	1	1	2	3	12		1	1	19			13		1		1	1	
65～69歳	17	1	7	3		1	5	4		1		29			6		1	1	1	2	1
70歳以上	12	1	32	6		12	17	4	1	12	5	81			16	4	6	3	2		2
合 計	229	48	56	52	82	17	41	512	15	22	9	225	11	3	507	4	10	6	99	94	3

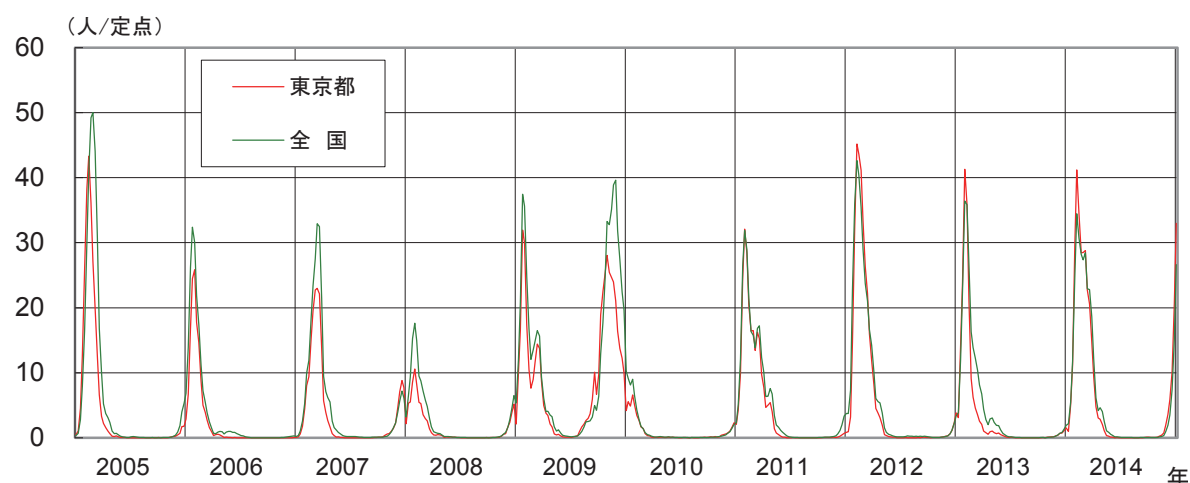
（２） 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ

2014 年の報告数は 152,421 人、定点あたり 367.55 人でここ 10 年の定点あたりの報告数は 2009 年の 496.63 人に続き 2 番目に多かった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 230.14 人であった。2013/14 シーズンの流行は、2014 年 2 週(1.6～1.12)に定点あたり 5.6 人となり流行の目安になる 1.00 人を超えた。翌 3 週 (1.13～1.19) には 11.18 人と 10.00 人を超え、5 週 (1.27～2.2) には 41.18 人と 30.00 人を超えるとともにピークになった。その後漸減して 7 週 (2.10～2.16) で 28.43 人と 30.00 人を割り、13 週 (3.24～3.30) で 9.42 人と 10.00 人を割り、19 週 (5.5～5.11) で 0.33 人と 1.00 人を下回った。2014/15 シーズンは 47 週 (11.17～11.23) に 1.92 人と 1.00 人を超えて流行が始まり 50 週 (12.8～12.14) には 10.15 人と 10.00 人を超え、52 週 (12.22～12.28) には 32.96 人と 30.00 人を超えた。2014 年 1～52 週の 1 年間の保健所別定点あたりの報告数では、最多は八王子市の 571.16 人、最少は目黒区の 131.79 人であった。



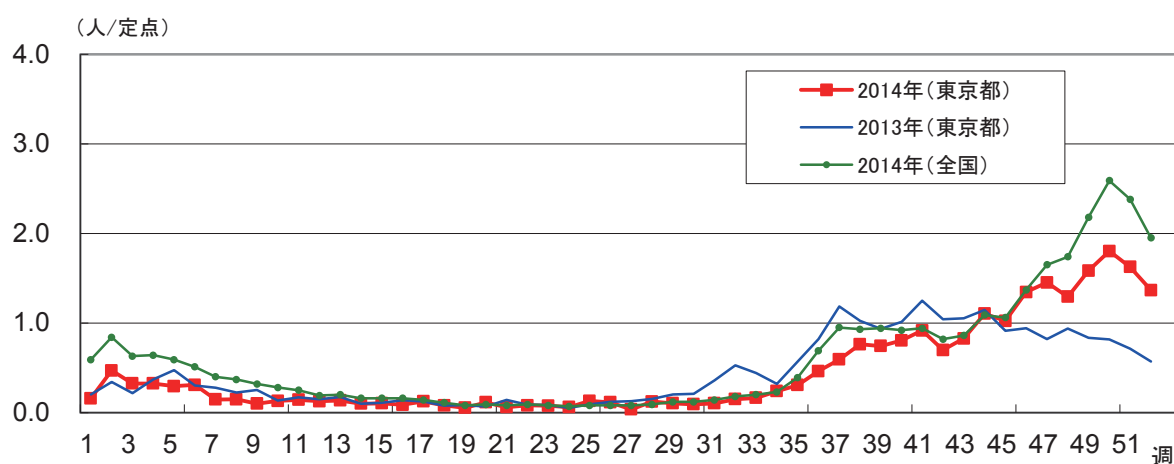
インフルエンザ報告数



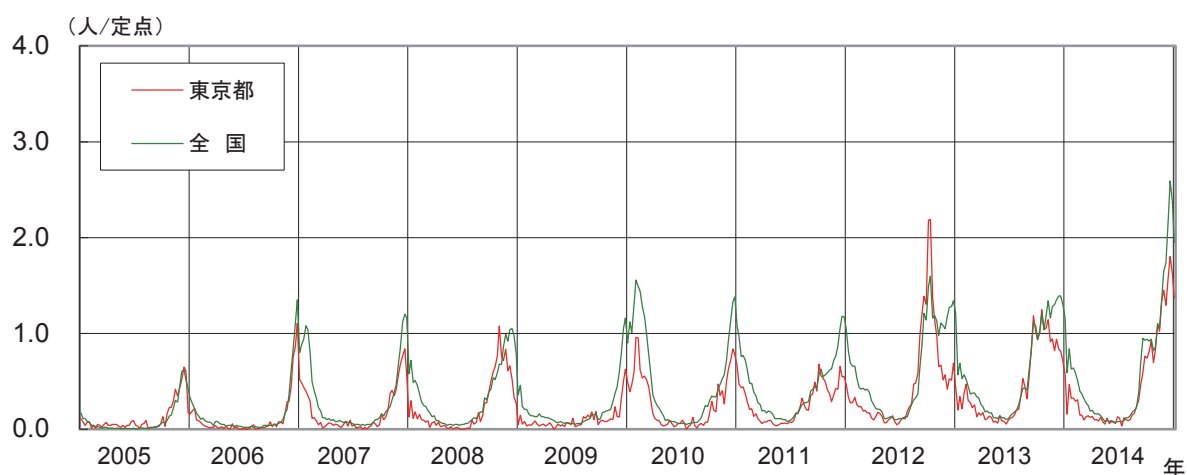
インフルエンザ報告数 経年変化

イ RS ウイルス感染症

2014 年の報告数は 6,183 人、定点あたりの報告数は 23.70 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 13.89 人であり、2014 年は 2012 年の 24.51 人に次いで多い報告数であった。週別定点あたり報告数では 44 週（10.27～11.2）から 52 週（12.22～12.28）にかけて 1.00 人を超える山があり、ピークは 50 週（12.8～12.14）の 1.80 人であった。保健所別定点あたり報告数の最も多かったのは荒川区の 89.17 人、最少は板橋区の 2.30 人であった。年齢階級別患者報告数では 6 か月未満が 882 人（14.3%）、6 か月～12 か月未満が 1,353 人（21.9%）、1 歳代が 2,381 人（38.5%）と 1 歳代以下で 74.7% を占めている。



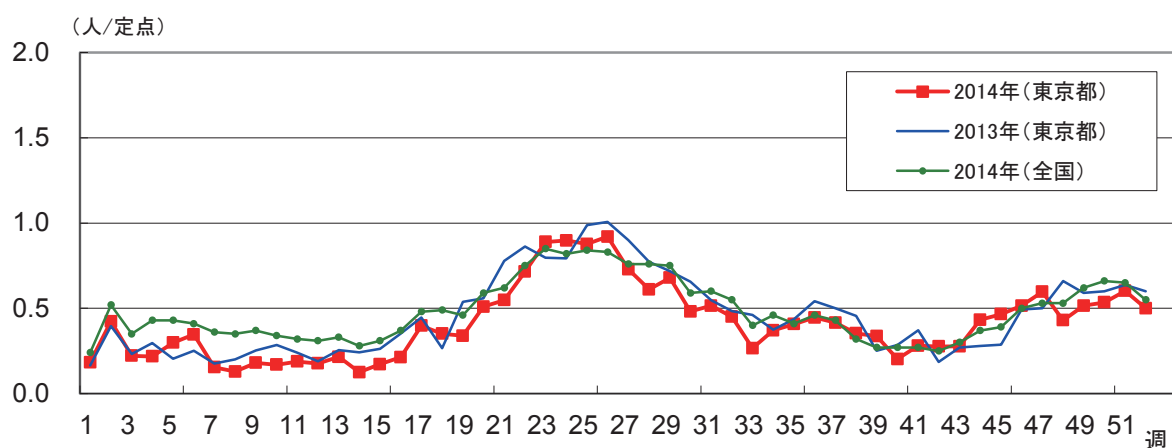
RSウイルス感染症報告数



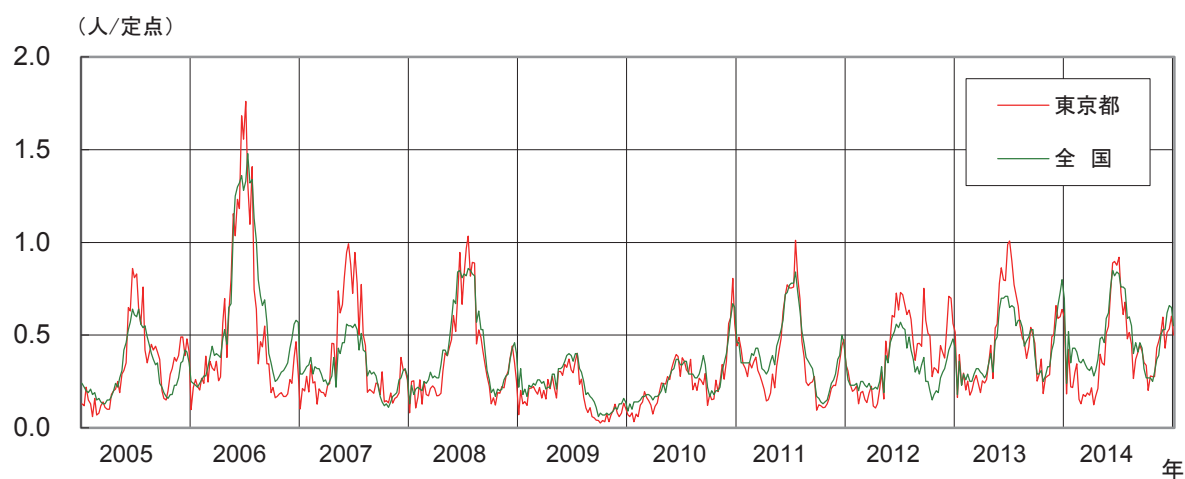
RSウイルス感染症報告数 経年変化

ウ 咽頭結膜熱

2014 年の報告数は 5,607 人、定点あたりの報告数は 21.54 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 19.19 人で、2014 年は平均的な報告数であった。週別定点あたりの報告数では 20 週（5.12～5.18）から 31 週（7.28～8.3）にかけて 0.50 人を超える緩やかな山が見られ、26 週（6.23～6.29）の 0.92 人がピークであった。保健所別定点あたりの報告数では「みなと」が 49.80 人、大田区が 48.93 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 1,346 人（24.0%）と最も多く、5 歳代以下で 83.1% を占めている。



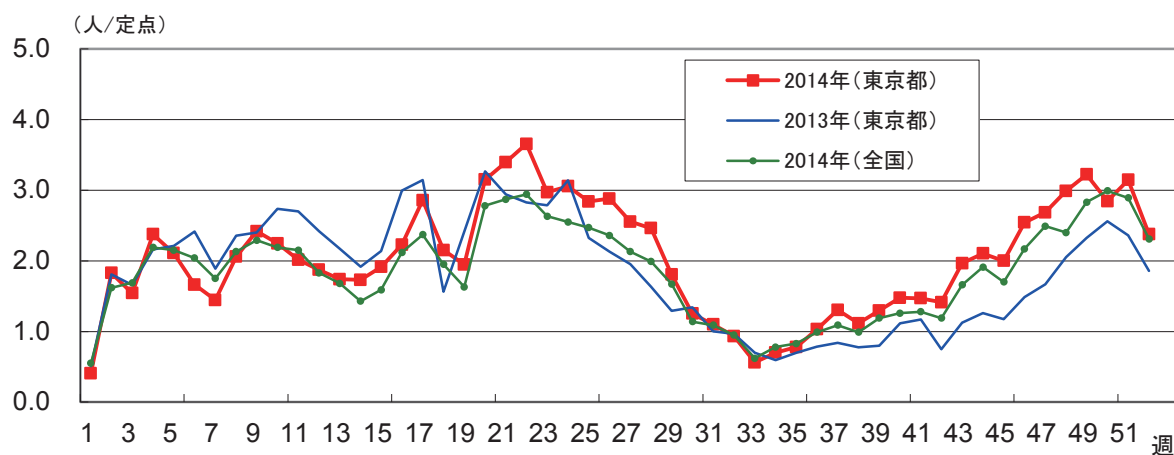
咽頭結膜熱報告数



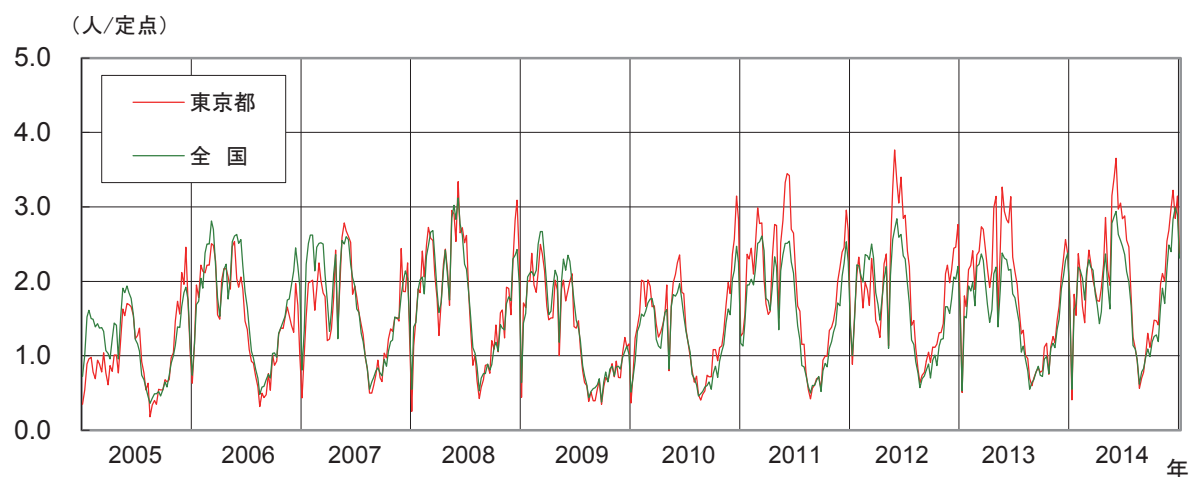
咽頭結膜熱報告数 経年変化

エ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2014 年の報告数は 27,581 人、定点あたりの報告数は 105.60 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 84.65 人であり、2014 年はここ 10 年で最も多い報告数であった。週別定点あたり報告数では 20 週（5.12～5.18）から 24 週（6.9～6.15）にかけてと、49 週（12.1～12.7）から 51 週（12.15～12.21）にかけておおむね 3.00 人を超える山が見られた。最多の報告数は 22 週（5.26～6.1）の 3.65 人であった。保健所別定点あたり報告数では町田市が 284.04 人、八王子市が 256.85 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 5 歳代が 4,022 人と最も多く、4 歳代から 7 歳代で 52.8%を占めている。



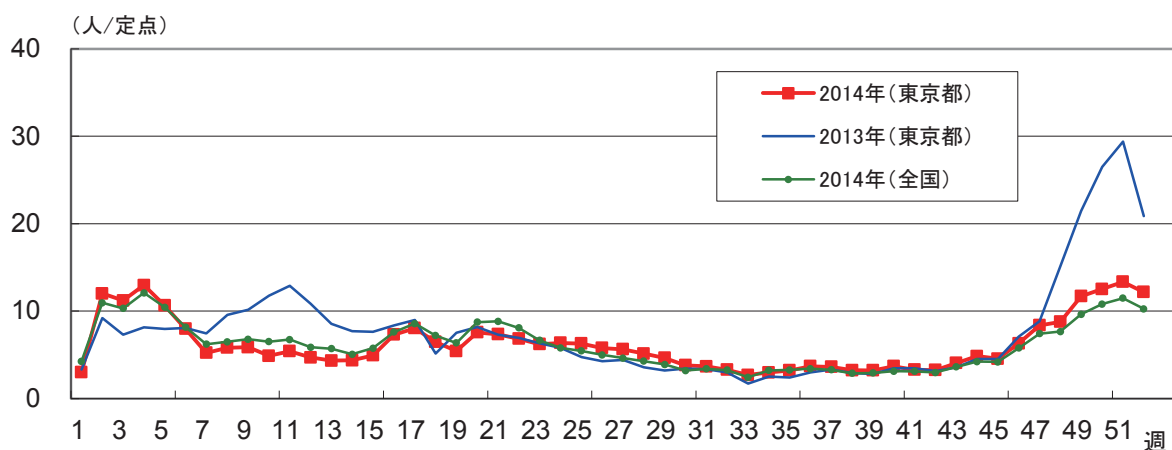
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数



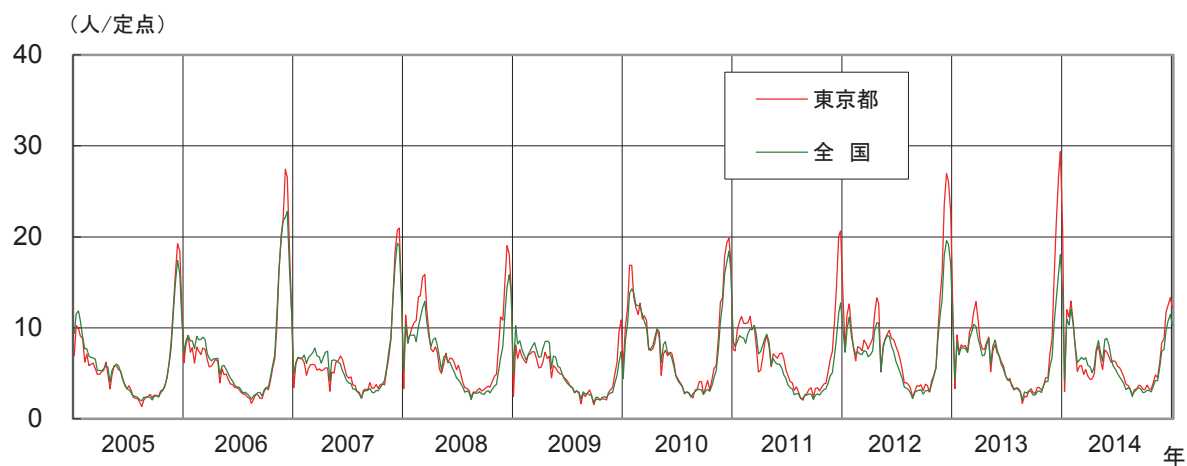
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数 経年変化

オ 感染性胃腸炎

2014 年の報告数は 84,091 人、定点あたりの報告数は 322.84 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告の平均は 360.34 人で、2014 年は平均よりもやや少ない報告数であった。週別定点あたりの報告数では 2 週 (1.6~1.12) から 5 週 (1.27~2.2) にかけてと、49 週 (12.1~12.7) から 52 週 (12.22~12.28) にかけて 10.00 人を超える山が見られた。最多は 51 週 (12.15~12.21) の 13.35 人であった。保健所別定点あたりの報告数では江東区が 644.64 人と昨年同様最も多かった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 11,829 人 (14.1%) と最も多い。



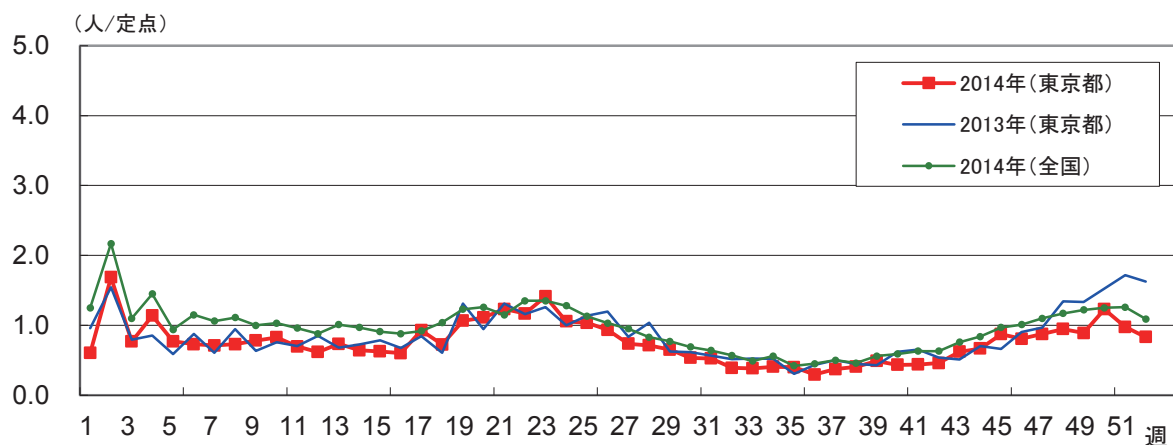
感染性胃腸炎報告数



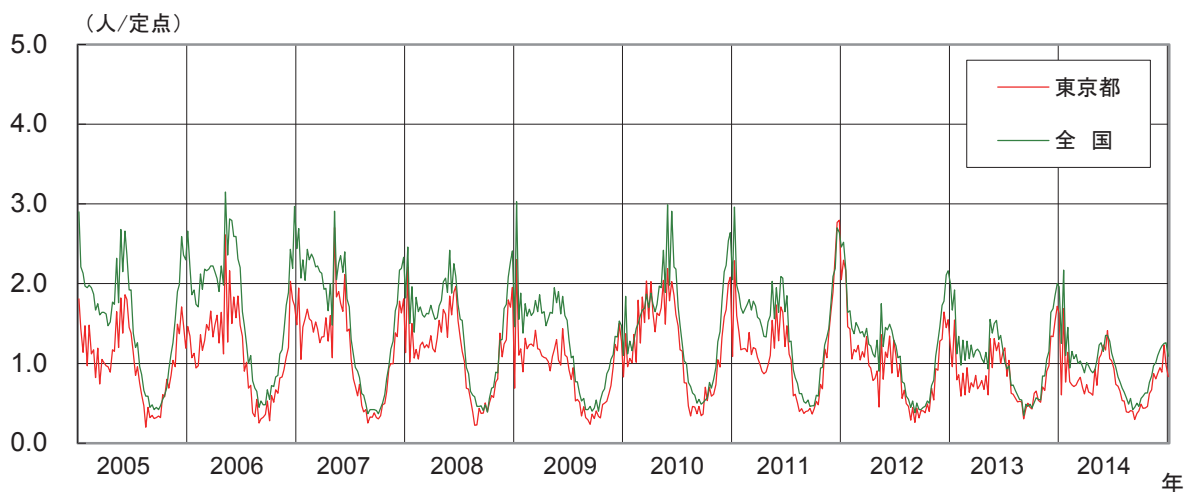
感染性胃腸炎報告数 経年変化

カ 水痘

2014 年の報告数は 10,314 人、定点あたりの報告数は 39.69 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数は 53.71 人で、2014 年はここ 10 年で最も少ない報告数であった。週別定点あたりの報告数は 2 週（1.6～1.12）で 1.69 人と最多の報告数が見られた。そのほか 19 週（5.5～5.11）から 25 週（6.16～6.22）にかけて 1.00 人を超える緩やかな山が見られる。また 50 週（12.8～12.14）も 1.23 人と 1.00 人を超えている。保健所別定点あたりの報告数では大田区が 64.55 人と最も多かった。年齢階級別患者報告数では 4 歳代が 1,695 人と最も多く 1 歳代から 5 歳代で 68.2%を占めている。



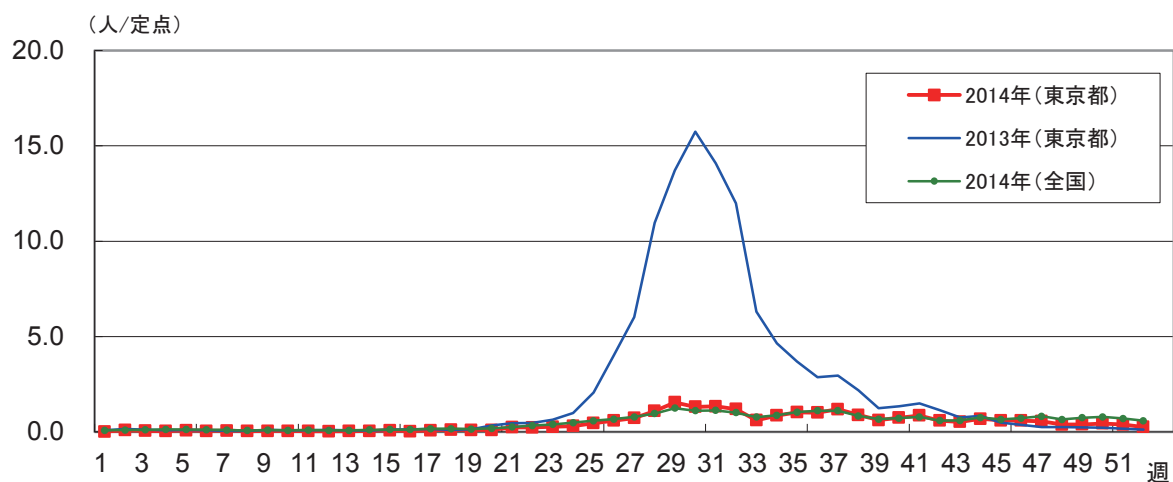
水痘報告数



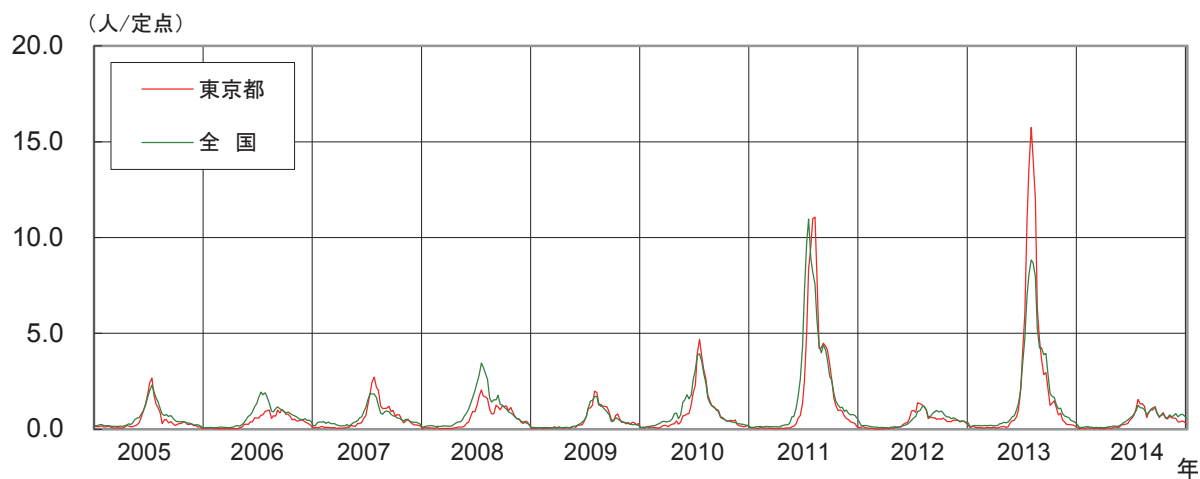
水痘報告数 経年変化

キ 手足口病

2014 年の報告数は 6,089 人、定点あたりの報告数は 23.44 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 42.46 人であった。2014 年は平均以下の報告数であり、前年の 114.72 人と比べ大幅に減少した。週別定点あたりの報告数では 28 週（7.7～7.13）から 32 週（8.4～8.10）にかけて 1.00 人を超える緩やかな山がありピークは 29 週（7.14～7.20）の 1.55 人であった。保健所別定点あたりの報告では町田市の 54.02 人が最も多かった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 1,780 人（29.2%）と最多であった。



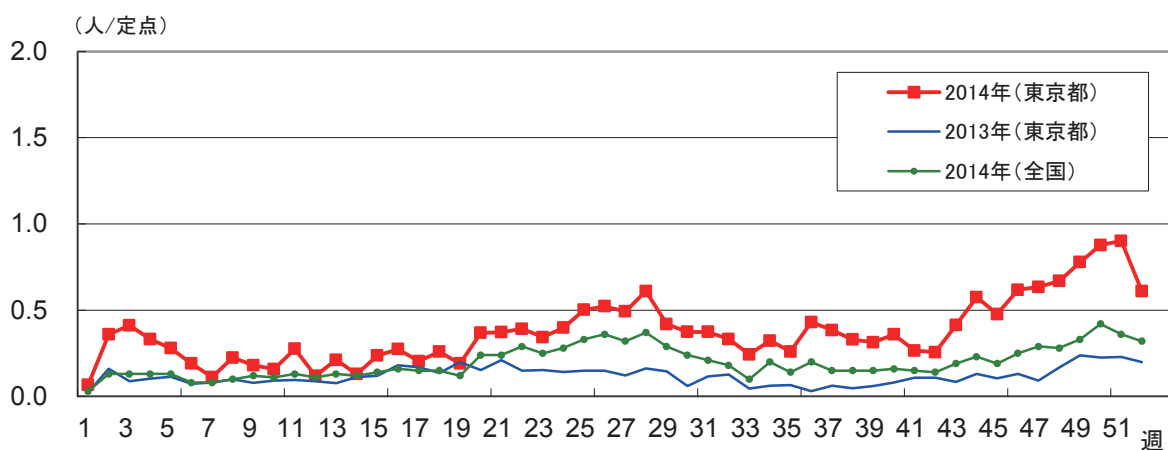
手足口病報告数



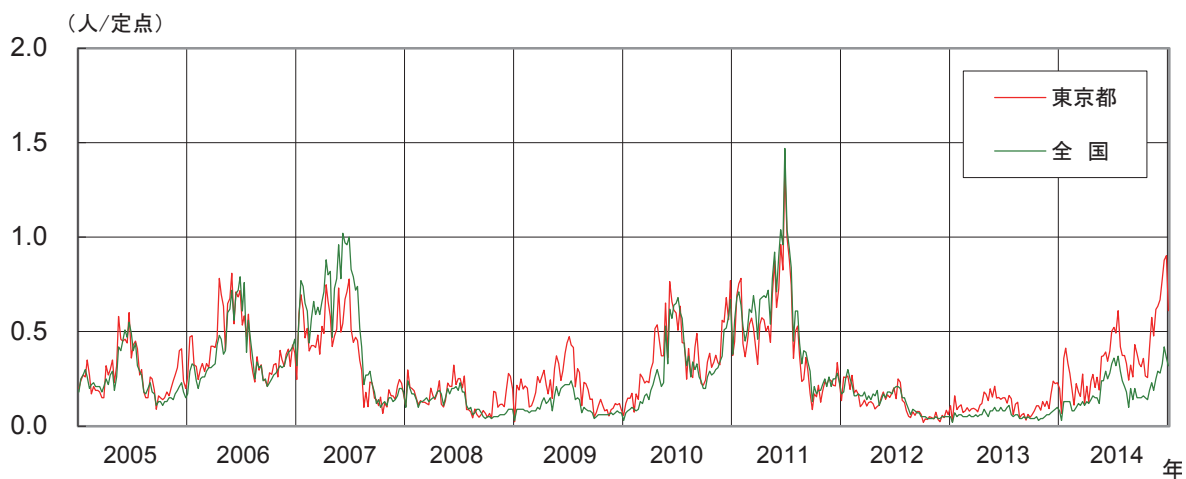
手足口病報告数 経年変化

ク 伝染性紅斑

2014 年の報告数は 5,069 人、定点あたりの報告数は 19.44 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 15.03 人であった。2014 年は前年より大幅に報告数は増加したが、ここ 10 年でみると平均的な報告数であった。週別定点あたりの報告では 44 週（10.27～11.2）から 52 週（12.22～12.28）にかけておおむね 0.50 人を超える山があり、ピークは 51 週（12.15～12.21）の 0.90 人であった。また 25 週（6.15～6.22）から 28 週（7.7～7.13）にかけて同じくおおむね 0.50 人を超える山が見られた。保健所別定点あたりの報告数では町田市が 48.84 人と最も多かった。年齢階級別患者報告数では 5 歳代が 852 人（16.8%）と最も多く、4 歳代から 6 歳代で 45.9%を占めている。



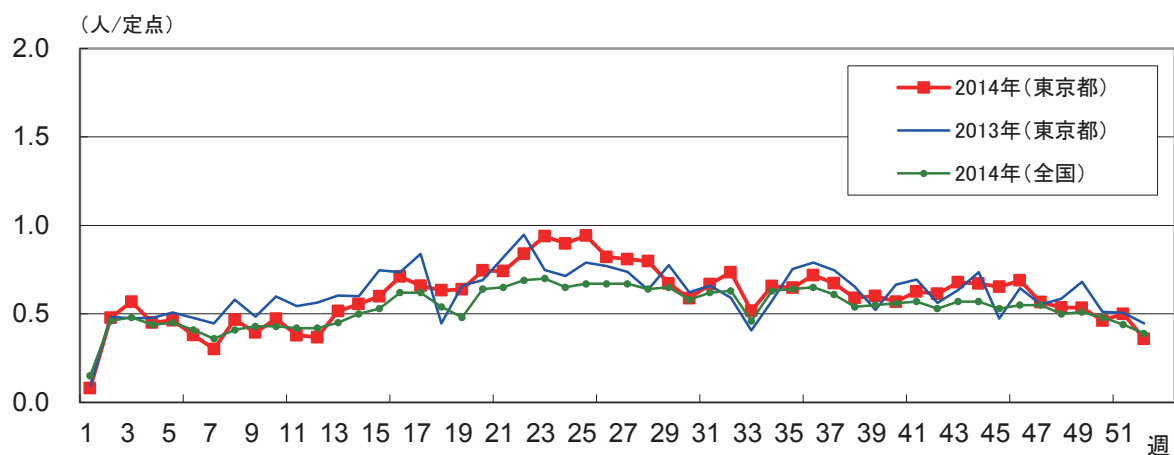
伝染性紅斑報告数



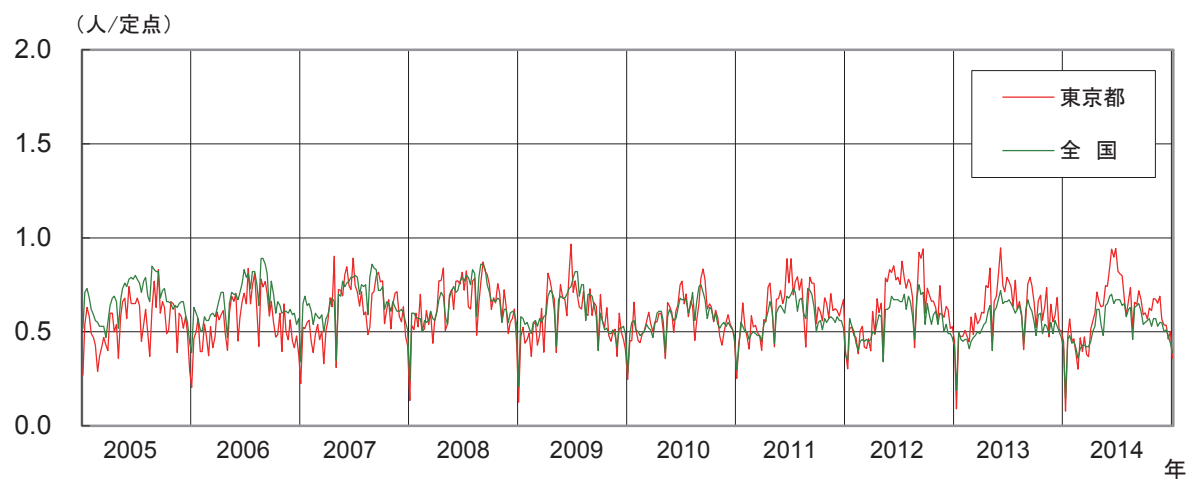
伝染性紅斑報告数 経年変化

ケ 突発性発しん

2014年の報告数は8,120人、定点あたりの報告数は31.18人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は31.14人であり、2014年の報告数は平年並みの報告数であった。週別定点あたりの報告数では22週（5.26～6.1）から28週（7.7～7.13）にかけて0.80人を超える緩やかな山があり、ピークは23週（6.2～6.8）の0.94人であった。保健所別定点あたりの報告数では荒川区が55.33人と最多であった。年齢階級別患者報告数では1歳代が4,132人（50.9%）、6か月～1歳未満が2,889人（35.6%）と両方で86.5%を占めている。



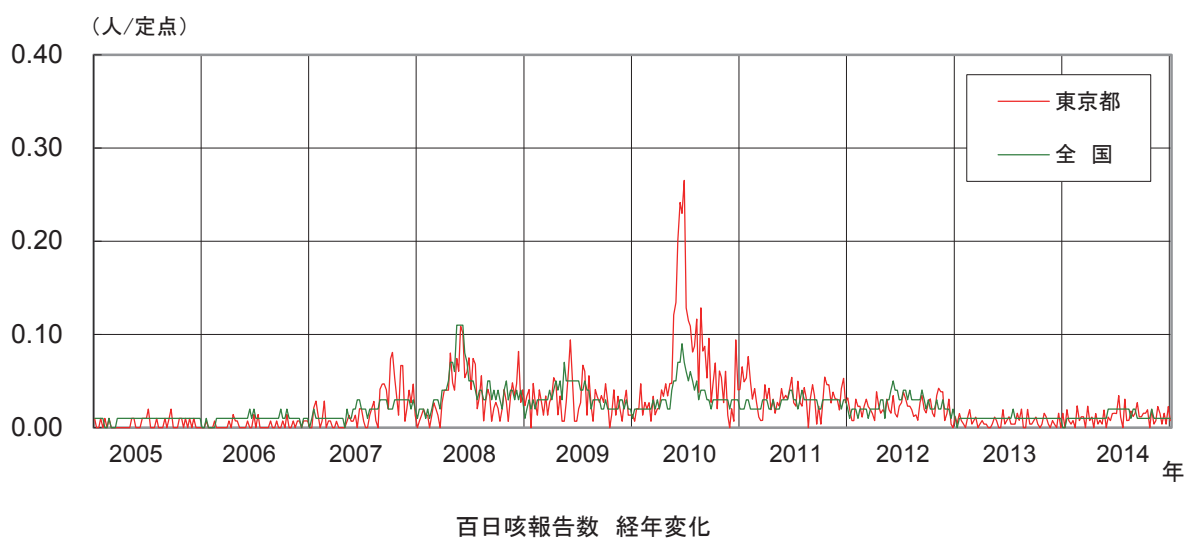
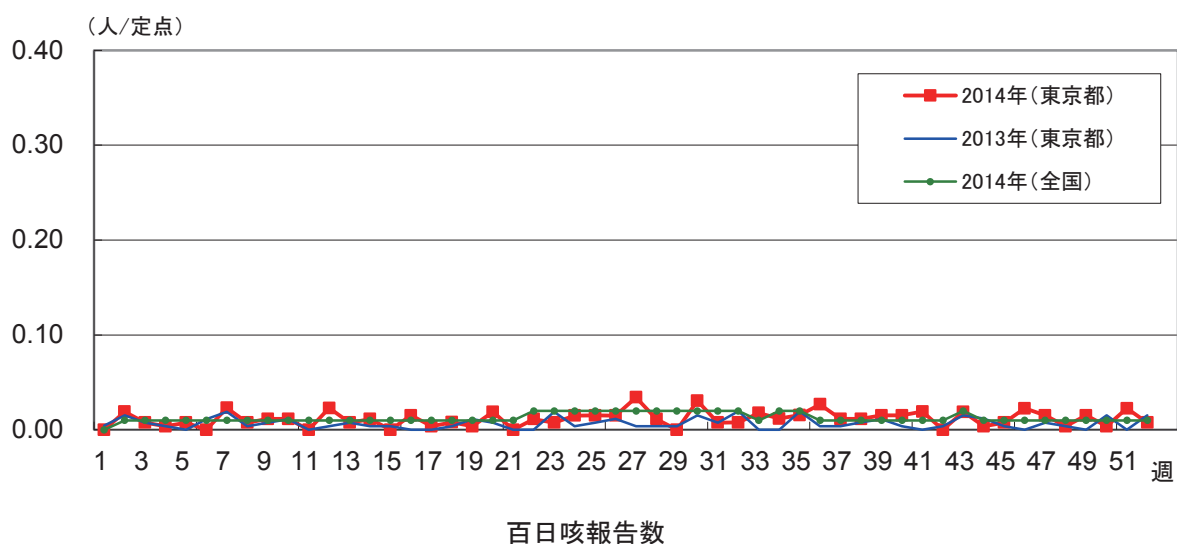
突発性発しん報告数



突発性発しん報告数 経年変化

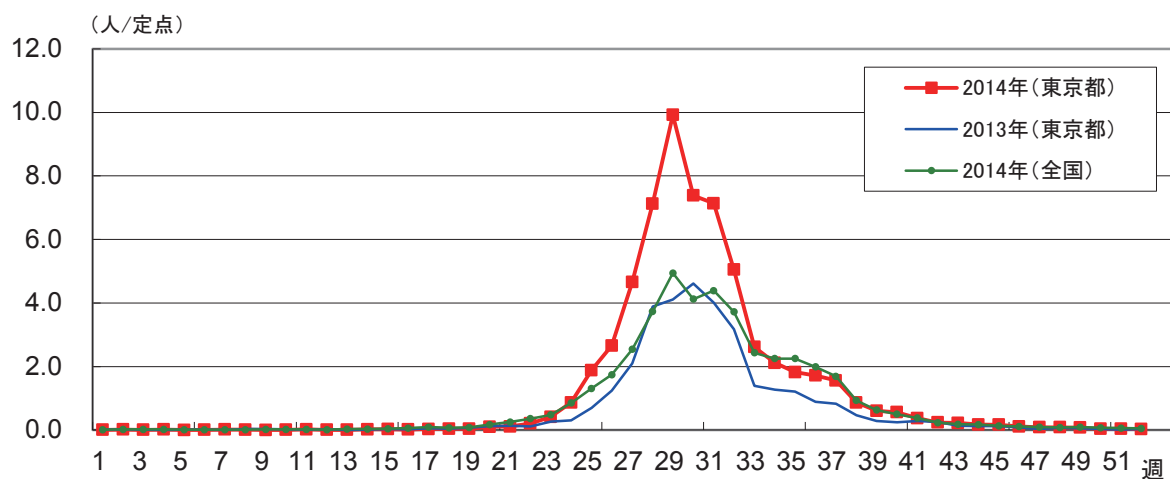
コ 百日咳

2014 年の報告数は 158 人、定点あたりの報告数は 0.61 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 12.00 人であった。2014 年は前年より報告数は増加しているがここ 10 年の平均よりは少ない報告数であった。週別定点あたりの報告では特に増加が見られる週はなかった。保健所別定点あたりの報告では大田区が 2.71 人、八王子市が 2.46 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 1 歳未満が 19 人（12.0%）、1 歳代が 13 人（8.2%）と多かったが、それ以降の年齢層にも報告が見られた。

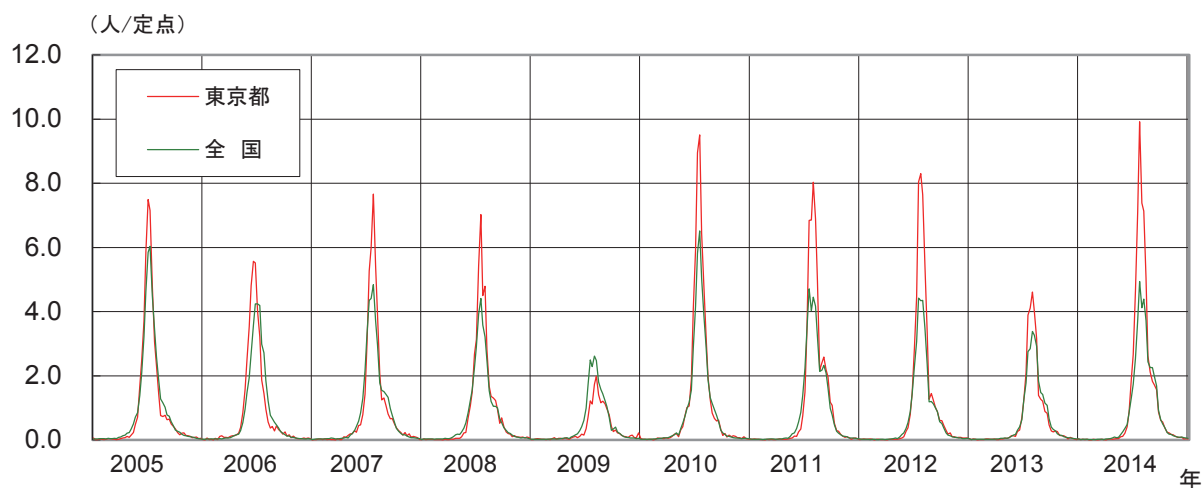


サ ヘルパンギーナ

2014 年の報告数は 15,874 人、定点あたりの報告数は 61.25 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 45.74 人であり、2014 年はここ 10 年で最多の報告数であった。週別定点あたりの報告数では 28 週（7.7～7.13）から 32 週（8.4～8.10）にかけて 5.00 人を超える大きな山があり、ピークは 29 週（7.14～7.20）の 9.92 人であった。保健所別定点あたりの報告では町田市が 108.45 人と最多であった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 4,605 人（29.0%）と最も多く、5 歳代以下で 89.8%を占めている。



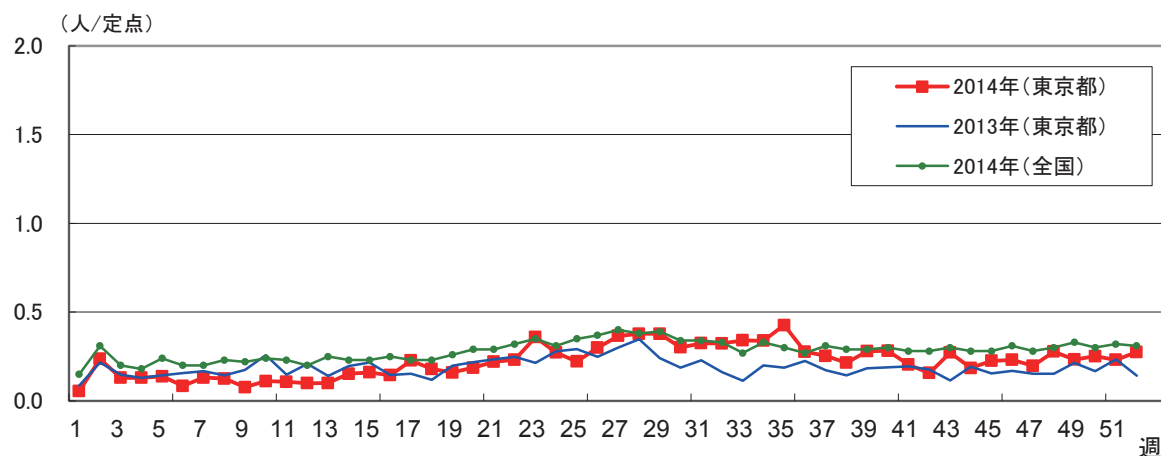
ヘルパンギーナ報告数



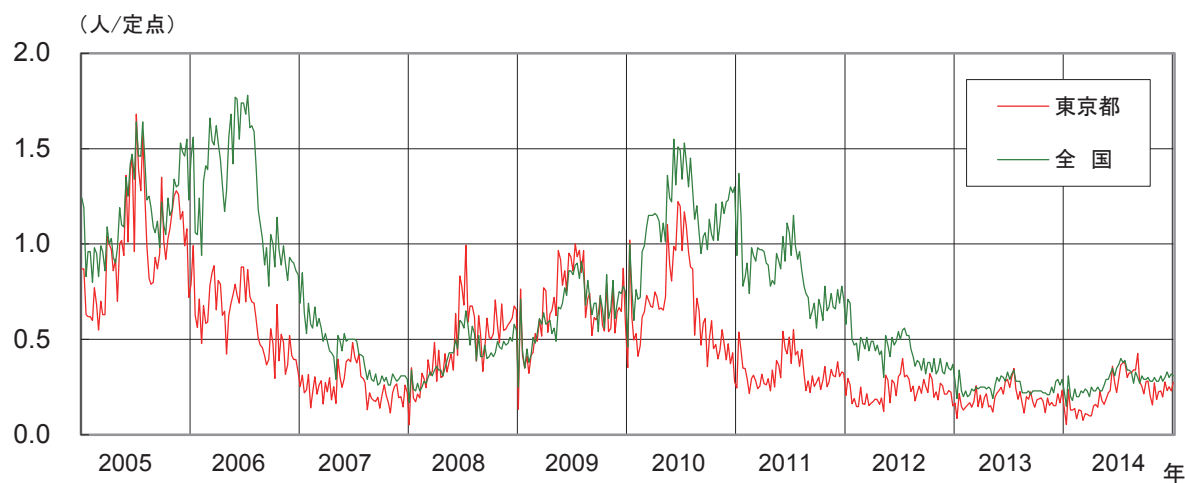
ヘルパンギーナ報告数 経年変化

シ 流行性耳下腺炎

2014年の報告数は3,003人、定点あたりの報告数は11.57人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は24.16人であった。2014年はここ10年で最少であった2013年に次ぐ少ない報告数であった。週別定点あたりの報告数では26週（6.23～6.29）から35週（8.25～8.31）にかけて0.30人を超えるなだらかな山があり、ピークは35週（8.25～8.31）の0.43人であった。保健所別定点あたりの報告数では足立30.65人、新宿区26.13人が多かった。年齢階級別患者報告数では5歳代が491人（16.2%）と最も多く、6歳代以下で62.3%を占めている。



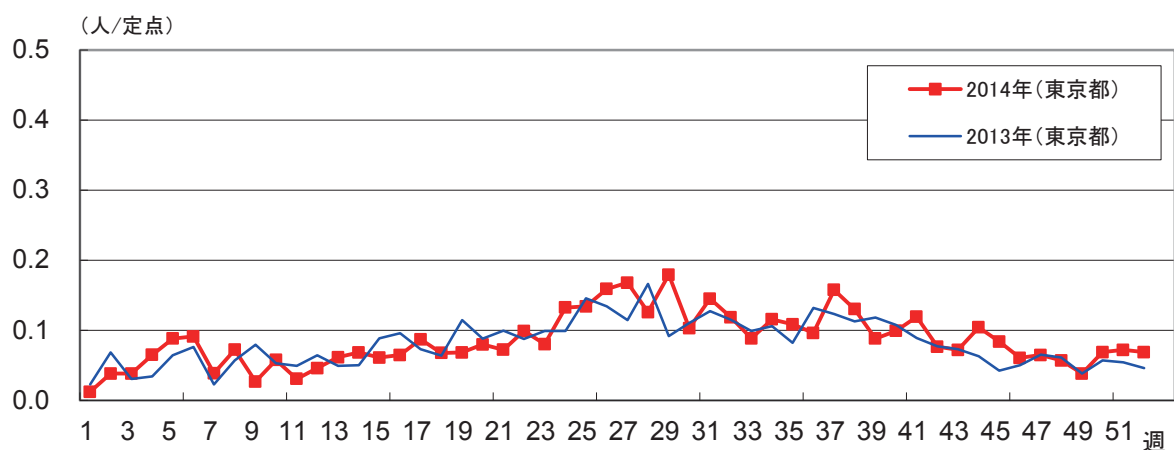
流行性耳下腺炎報告数



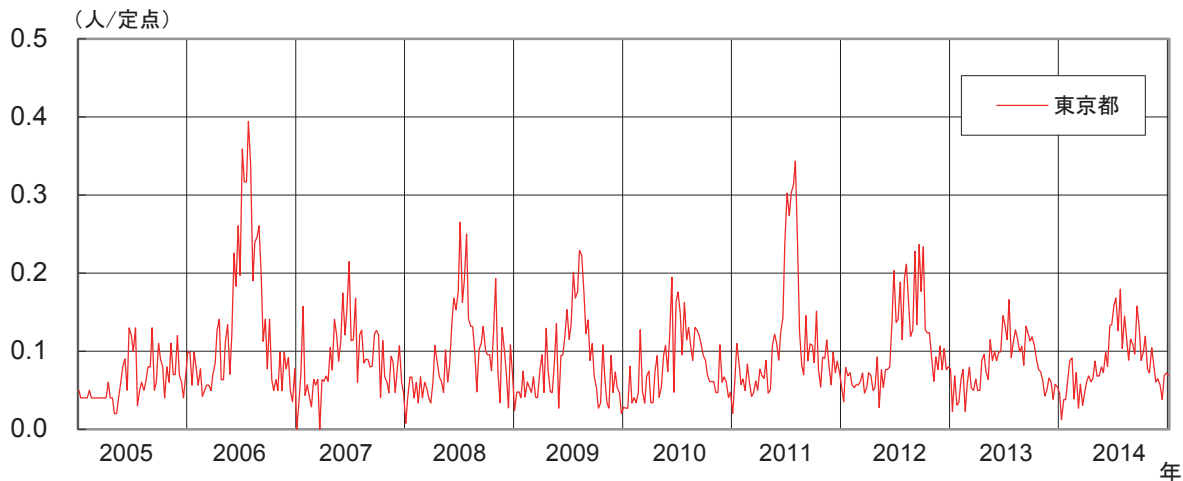
流行性耳下腺炎報告数 経年変化

ス 不明発しん症

2014 年の報告数は 1,158 人、定点あたりの報告数は 4.45 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 4.81 人であった、2014 年はここ 10 年の平均よりやや少ない報告数であった。週別定点あたりの報告数では 29 週に 0.18 人と最多となりその前後で報告数の増加が見られた。保健所別定点あたりの報告数では町田市が 17.32 人と最多であった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 338 人 (29.2%) と最も多く、3 歳代以下が 71.2% を占めている。



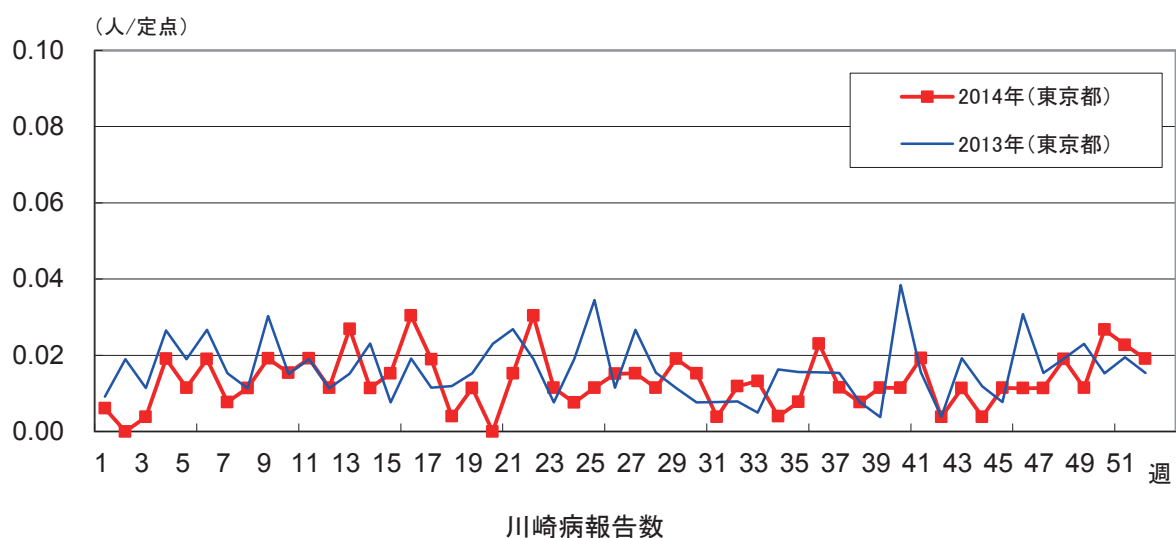
不明発しん症報告数



不明発しん症報告数 経年変化

セ 川崎病

2014 年の報告数は 180 人、定点あたりの報告数は 0.69 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 0.67 人であり 2014 年の報告数は平年並みであった。週別定点あたりの報告数に偏りはなく季節変動は見られていない。保健所別定点あたりの報告数では千代田が 3.67 人、新宿区が 3.38 人、荒川区が 2.75 人と多くなっている。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 44 人 (24.4%) と最も多く 5 歳代以下 91.7%を占めている。



(3) 眼科疾患

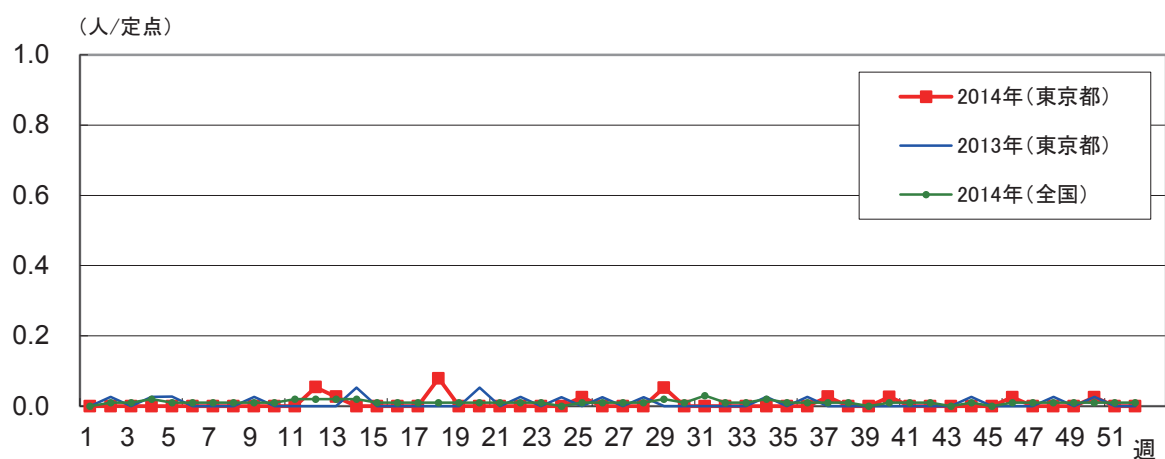
ア 急性出血性結膜炎

2014年の報告数は13人、定点当たり0.34人であった。眼科定点数が増加した2007年以降で最少だった。

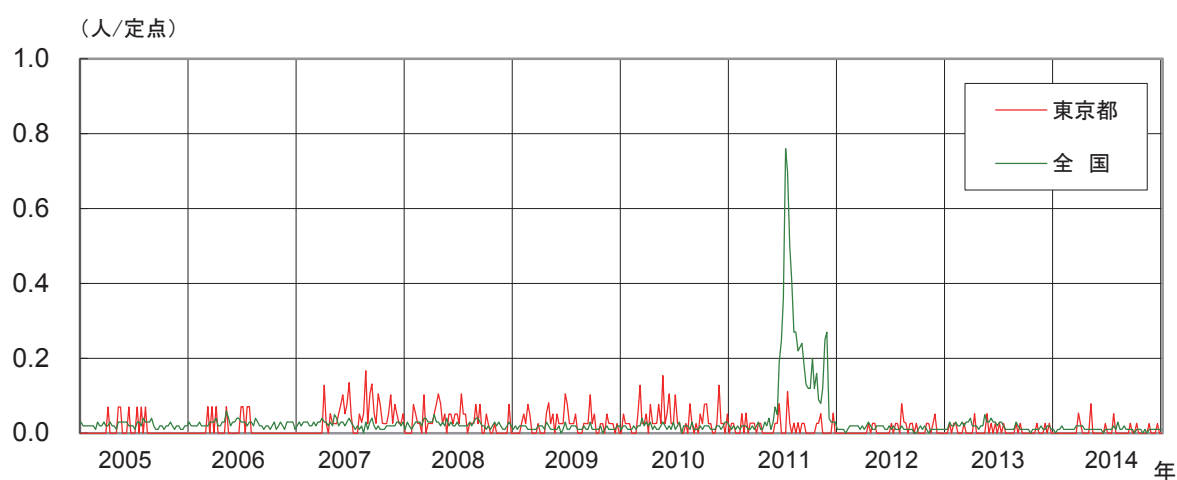
患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、38週(4月28日～5月4日)に3人、12週(3月17日～23日)と29週(7月14日～20日)に2人発生した以外は各週1人以下であり、年間43週は発生がみられなかった。全国的にも低いレベルで分散した報告が続いており、東京都も同様であった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは7医療圏で、区西部圏、区西北部圏、区東北部圏、区東部圏が多かった。

報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が7人と全体の53.8%を占めた。幼少児では1歳児、2歳児、3歳児、5歳児、6歳児に各1人(7.7%)みられた。



急性出血性結膜炎報告数



急性出血性結膜炎報告数 経年変化

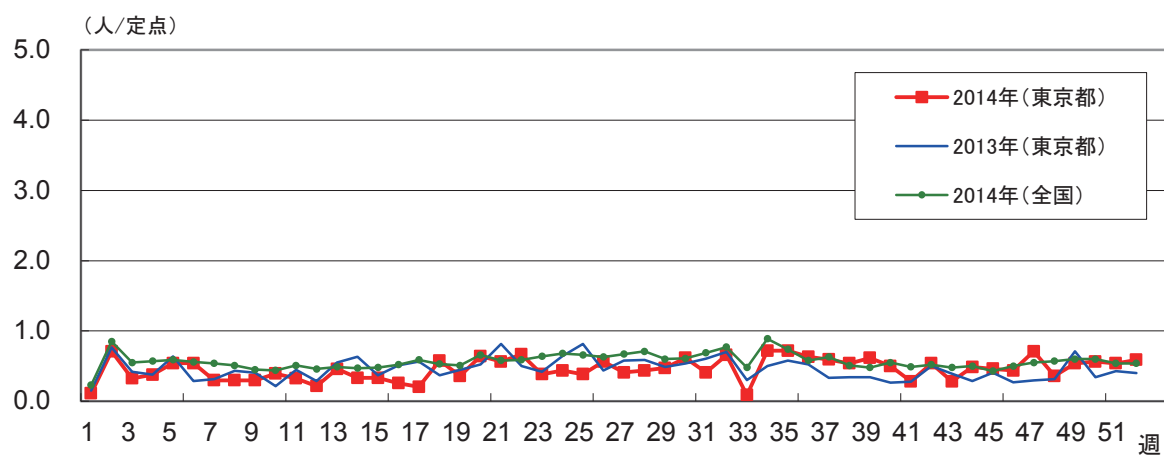
イ 流行性角結膜炎

2014 年の報告数は 913 人、定点当たり 23.79 人であった。眼科定点数が増加した 2007 年以降では、2007 年と 2012 年に多かったが、2014 年はそれ以外の年と同じ低い水準に戻った。

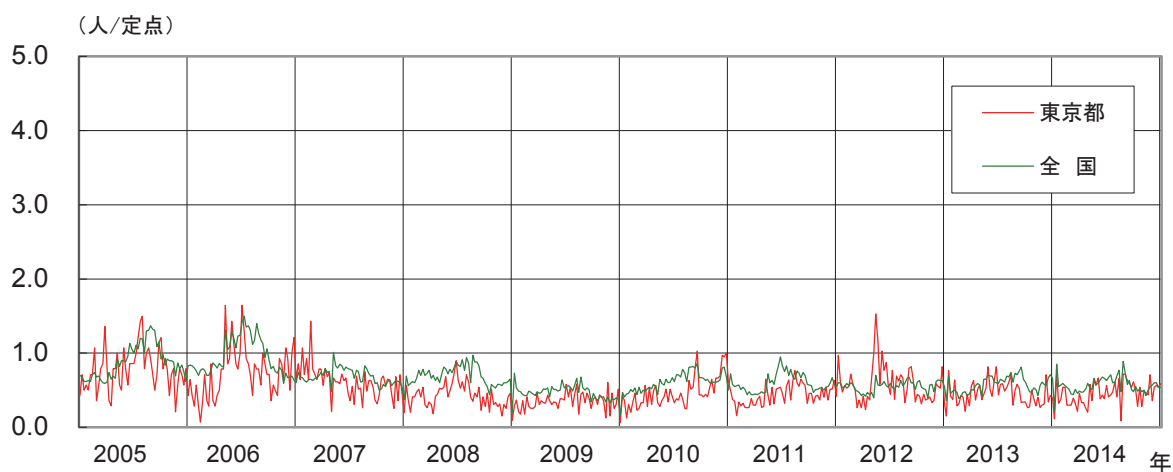
患者発生数の推移には 1 年を通じてあまり特徴がなく、週別定点当たり報告数では 0.11 人から 0.72 人であった。全国と比較すると若干低い水準であった。

二次医療圏別では、定点当たり報告数では、区中央部圏 68.50 人、北多摩北部圏 54.50 人、区東北部圏 29.33 人で多かった。

報告年齢は 20 歳から 49 歳が 528 人と 57.8% を占め、20 歳以上の成人が 709 人 (77.7%) であった。10 歳未満は 156 人 (16.9%) で、各年齢層に分散してみられた。



流行性角結膜炎報告数

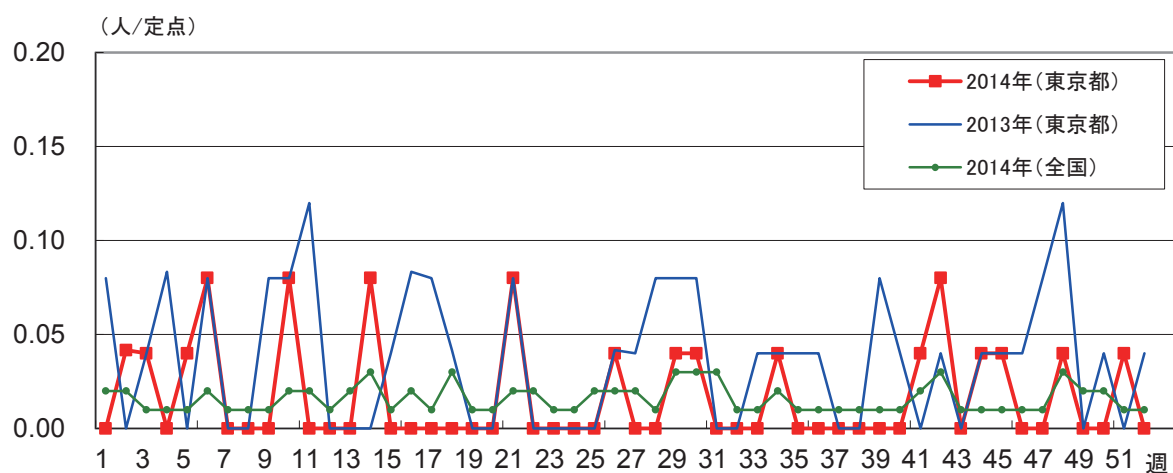


流行性角結膜炎報告数 経年変化

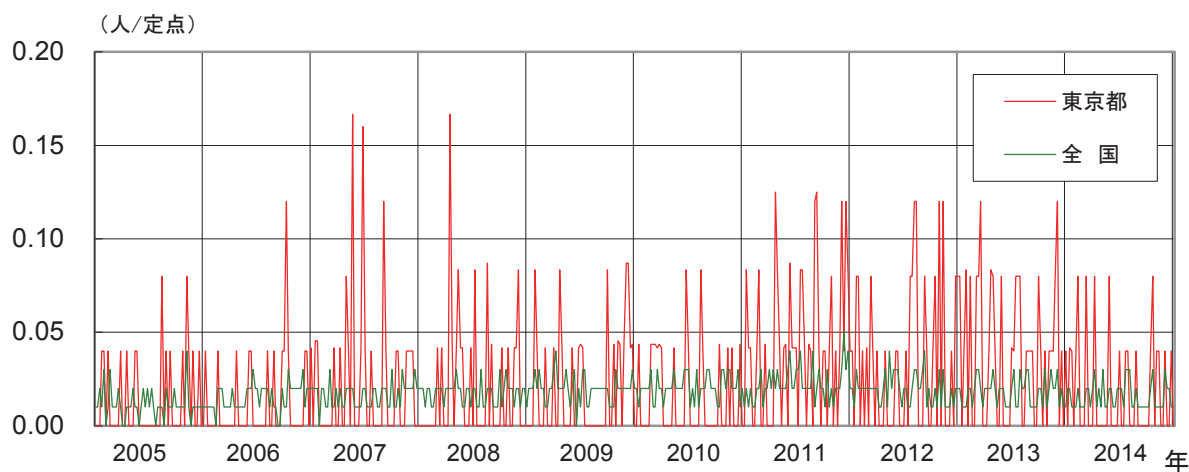
(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

ア 細菌性髄膜炎

2014年の報告数は22人、定点あたりの報告数は0.88人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は1.18人であった。2011年から2013年にかけて報告数の増加が見られたが、2014年は前年と比較し半減した。週別定点あたりの報告数による季節変動は明らかではない。保健所別定点あたりの報告数では墨田区が4.00人、世田谷が3.50人と多かった。年齢階級別患者報告数では1歳未満が7人(31.8%)であった。



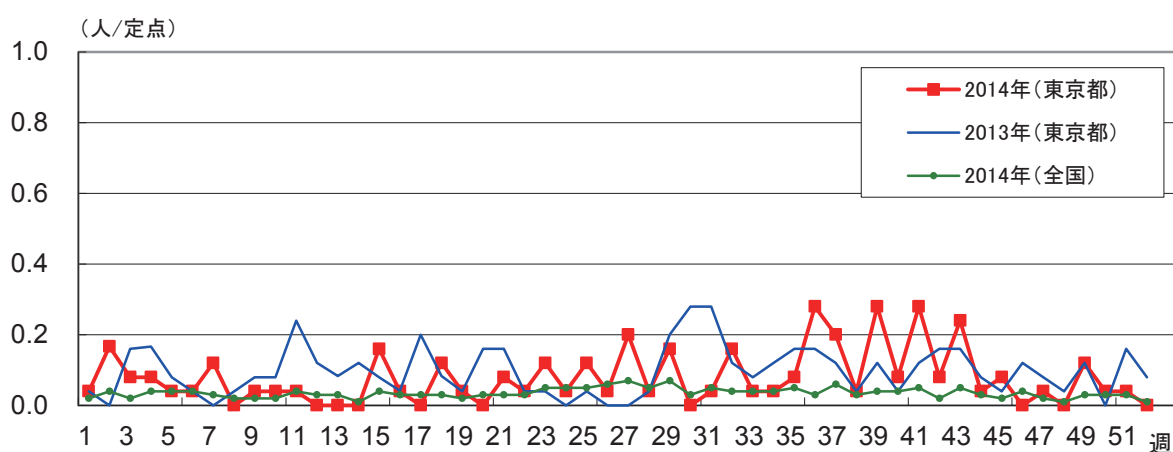
細菌性髄膜炎報告数



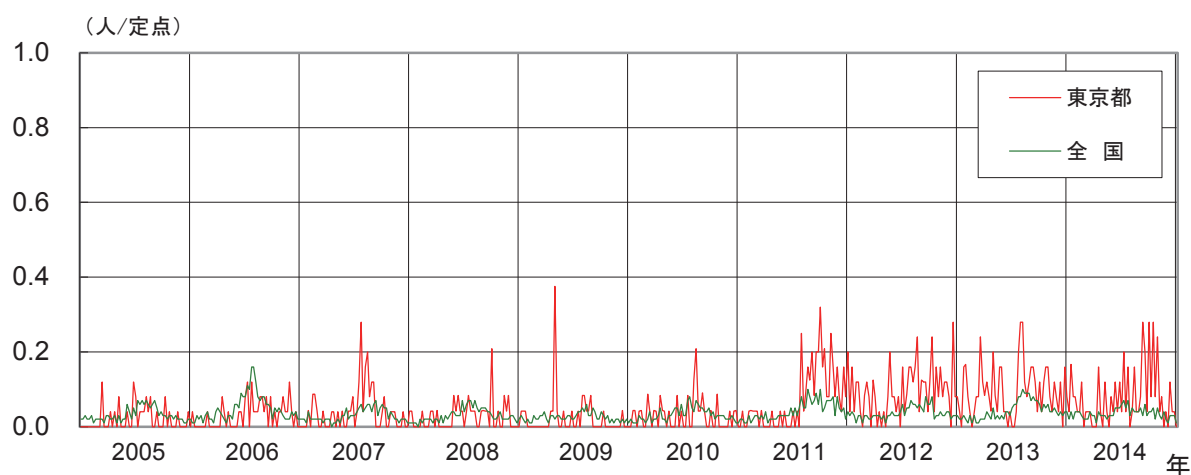
細菌性髄膜炎報告数 経年変化

イ 無菌性髄膜炎

2014 年の報告数は 102 人、定点あたりの報告数は 4.09 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 2.69 人であった。2014 年は 2013 年の 5.06 人、2012 年の 4.86 人に次いで多い報告数だった。週別定点あたりの報告数では季節変動は明らかではなかった。保健所別定点あたりの報告では墨田区が 12.00 人、世田谷が 12.00 人、多摩小平が 10.50 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 6 か月未満が 41 人（40.2%）であった。



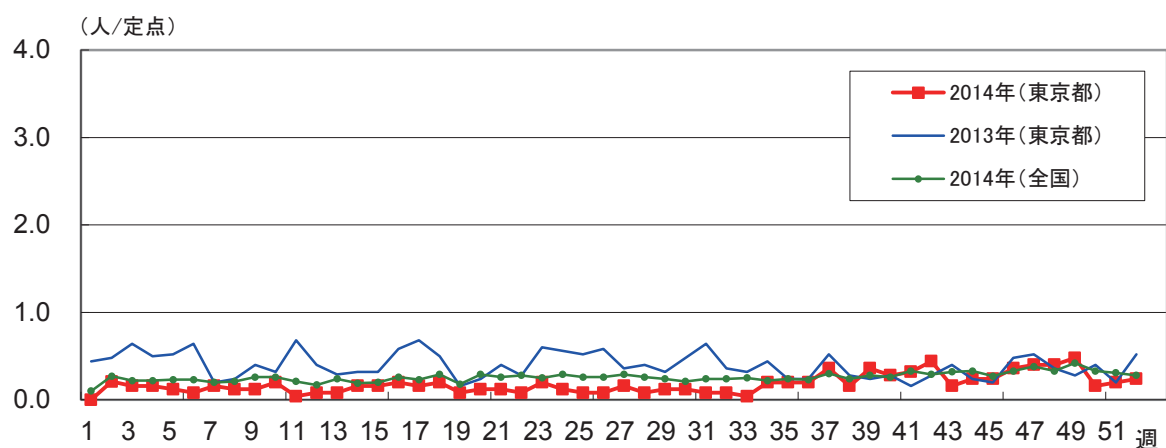
無菌性髄膜炎報告数



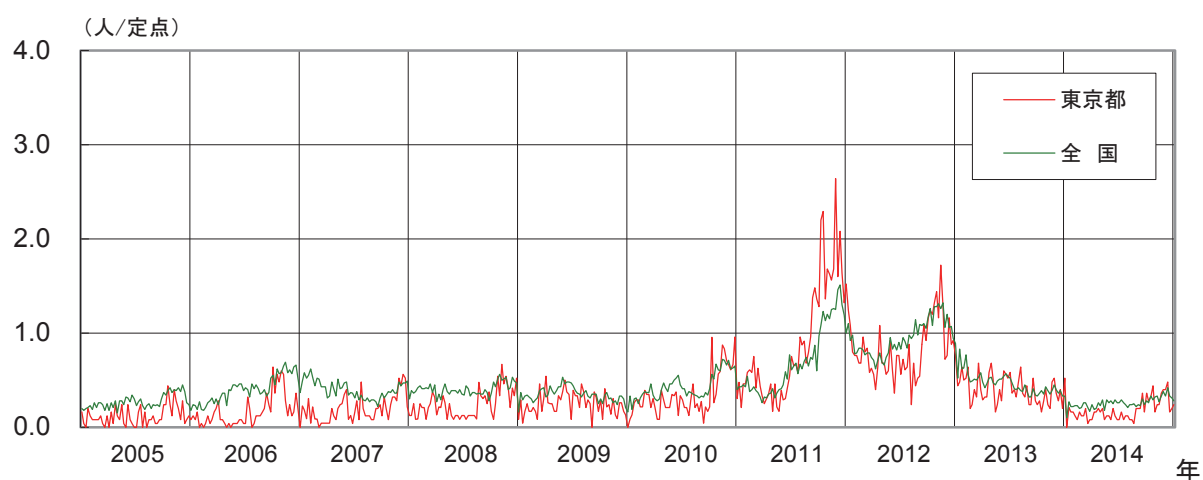
無菌性髄膜炎報告数 経年変化

ウ マイコプラズマ肺炎

2014年の報告数は234人、定点あたりの報告数は9.37人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は18.83人であった。2011年には46.78人、2012年には42.84人と大きな流行があったが、2013年には20.66人と半減した。週別定点あたりの報告数では49週(12.1～12.7)に0.48人、42週(10.13～10.19)に0.44人と増加した。保健所別定点あたりの報告では渋谷区が34.00人、新宿区が23.00人と多かった。年齢階級別患者報告数では4歳代が34人(14.5%)、7歳代が23人(9.8%)であった。



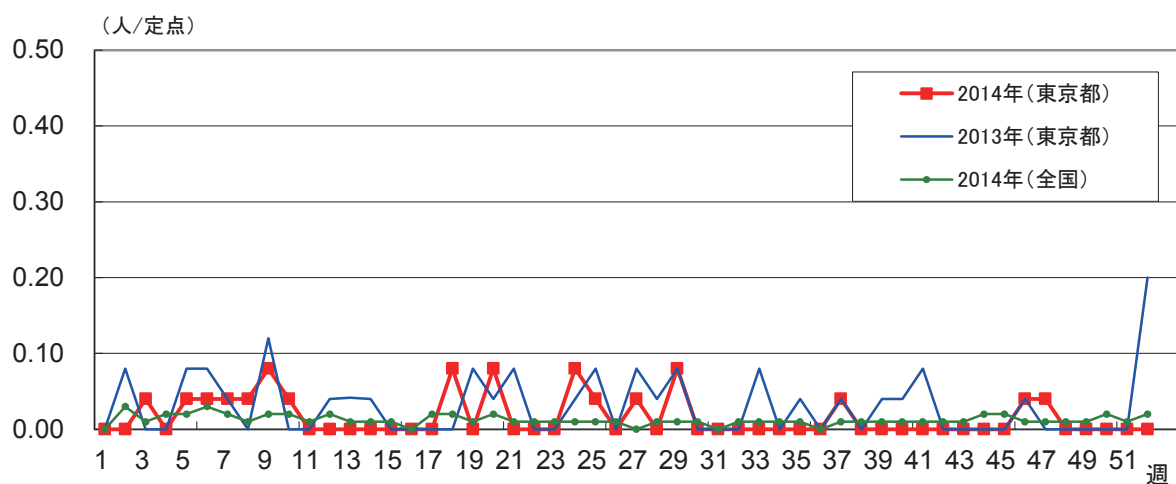
マイコプラズマ肺炎報告数



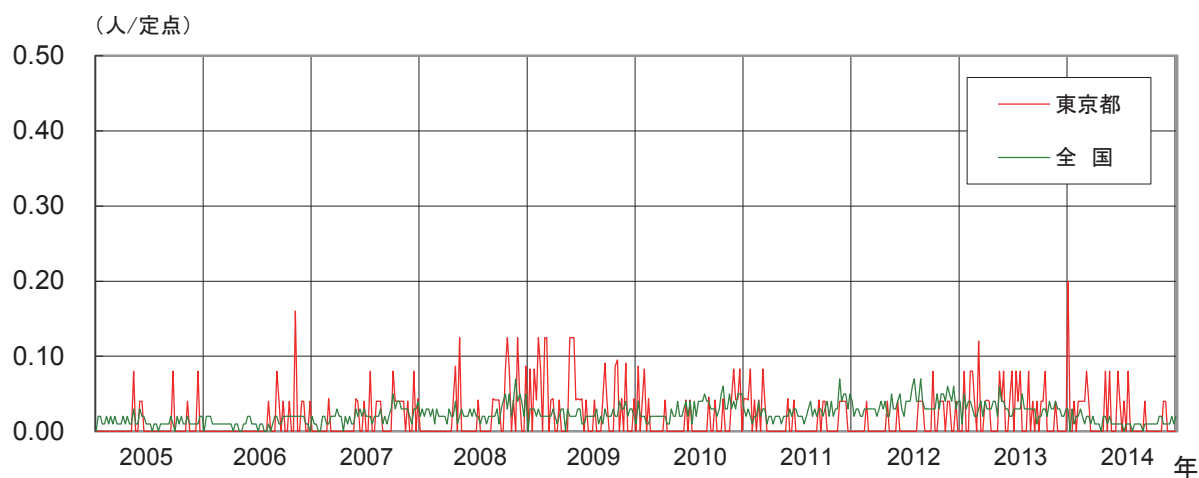
マイコプラズマ肺炎報告数 経年変化

エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2014 年の報告数は 21 人、定点あたりの報告数は 0.84 人であった。ここ 10 年の定点あたりの報告数の平均は 0.93 人であった。週別定点あたりの報告数では季節変動は明らかなではなかった。保健所別定点あたりの報告数では葛飾区が 16.00 人と全報告数の 76%を占めていた。年齢階級別患者報告数では 60 歳代以上が 16 人（76.2%）であった。



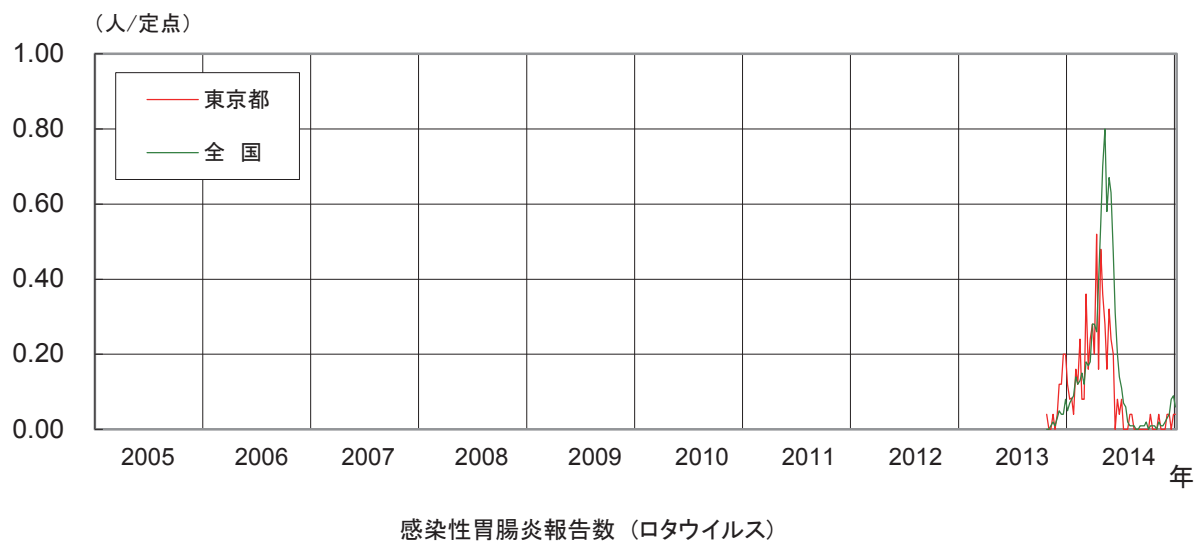
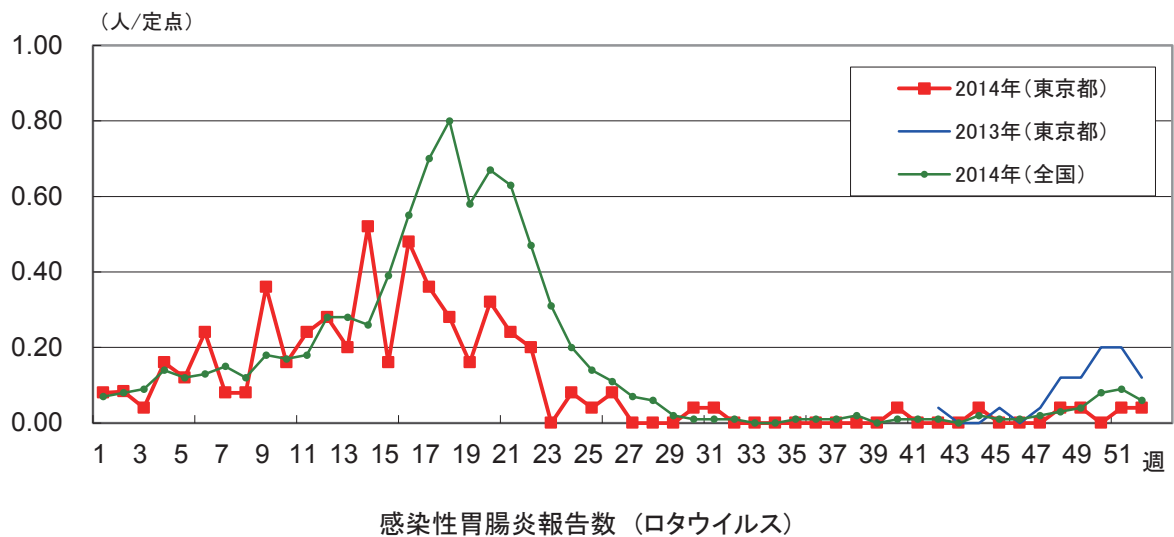
クラミジア肺炎報告数（オウム病を除く）



クラミジア肺炎報告数 経年変化（オウム病を除く）

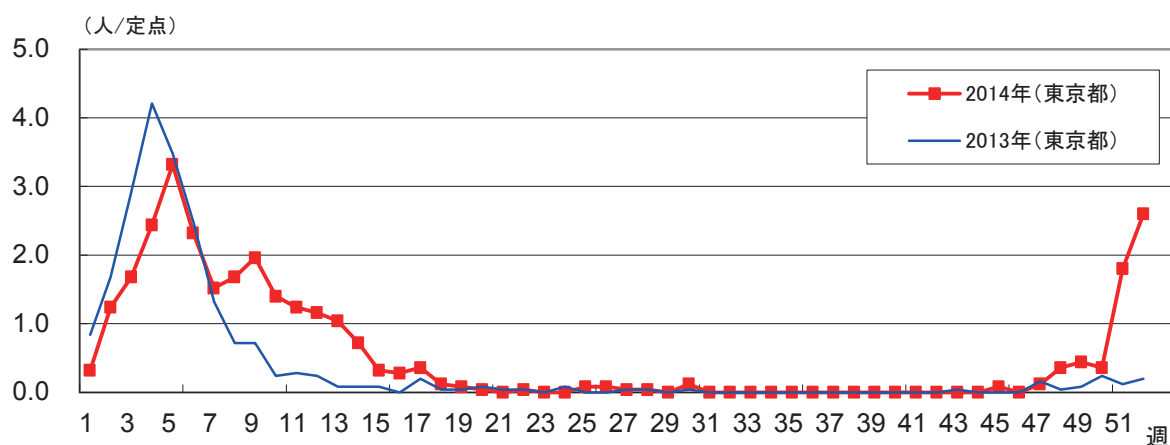
オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2013 年 42 週より報告が開始された。2014 年は 134 人が報告された。定点あたりの報告数は 5.36 人であった、週別定点あたりの報告数では 14 週に 0.52 人と最多となった。保健所別定点あたりの報告数では渋谷区が 41.00 人、葛飾区が 18.00 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 1 歳代が 31 人（23.1%）と最も多く、4 歳代以下で 80.6%を占めていた。

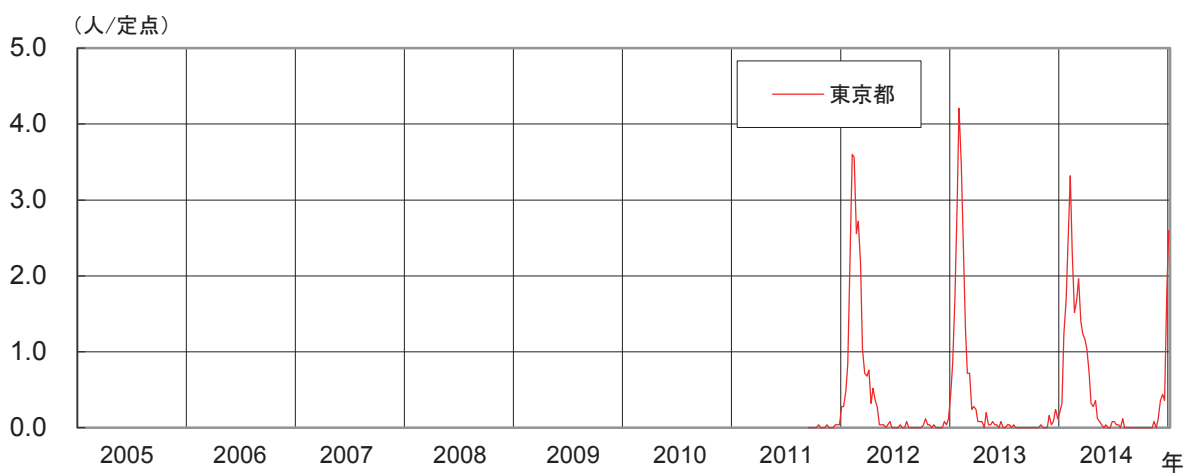


カ インフルエンザ入院

2011 年 36 週より報告が開始された。2014 年の報告数は 735 人、定点あたりの報告数は 29.40 人であった。週別定点あたりの報告数では 2013/14 シーズンの流行では 5 週（1.27～2.2）が 3.32 人でピークであった。また 2014/15 シーズンの流行では最終週の 52 週（12.22～12.28）に 2.60 人となった、保健所別定点あたりの報告数では渋谷区が 66.00 人、板橋区が 57.00 人と多かった。年齢階級別患者報告数では 12 か月未満が 45 人（6.1%）、60 歳代以上が 290 人（39.5%）であった。



インフルエンザ入院報告数

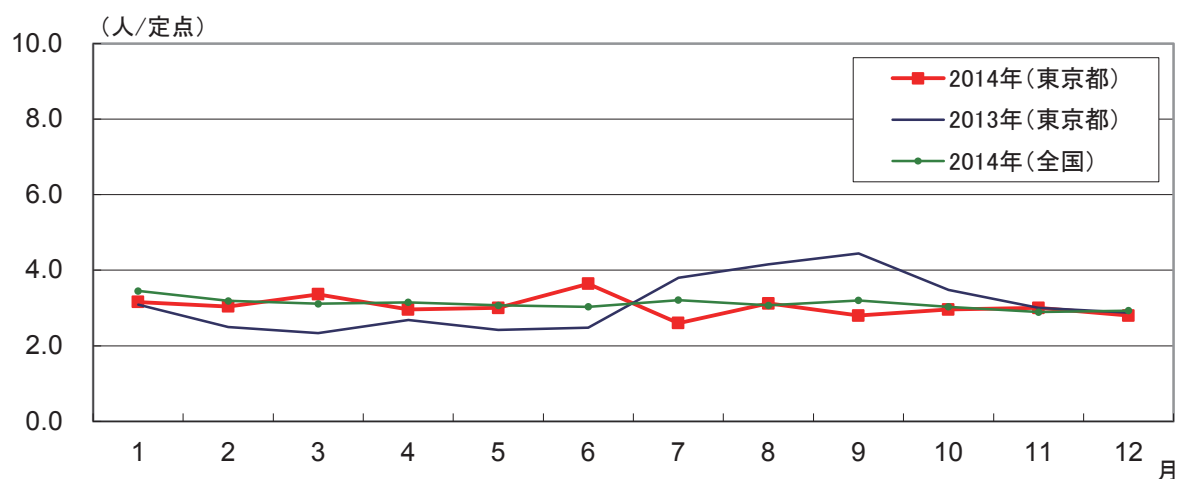


インフルエンザ入院報告数 経年変化

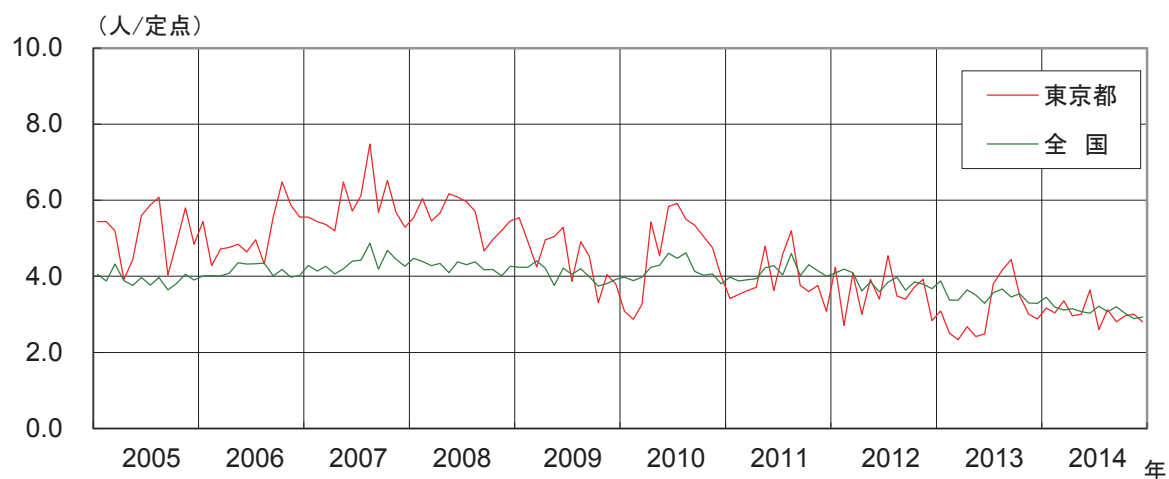
（５） 基幹定点医療機関における月報告疾患

ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

2014年の報告数は908人、定点あたりの報告数は36.44人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は53.39人であった。ここ10年の定点あたりの報告数は2007年の70.53人をピークに年々減少しており、2014年の報告数は最も少なくなった。月別の報告数の変動は明らかではなかった。男女別では男性543人（59.8%）、女性365人（40.2%）で例年と同様に男性が多かった。年齢階級別患者報告数では0～9歳が284人（31.3%）、60歳以上が464人（51.1%）であった。



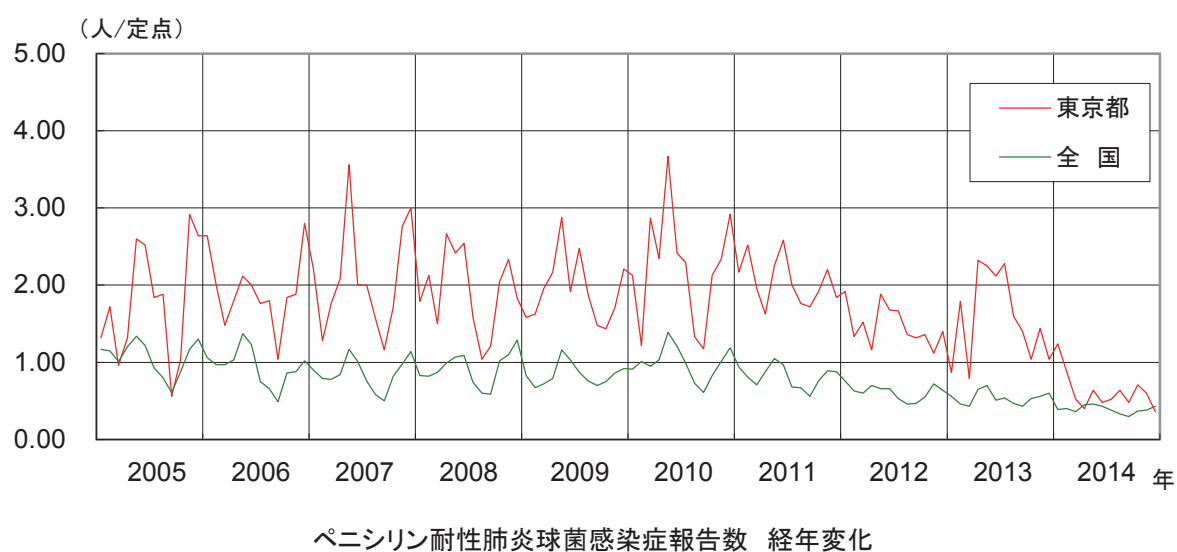
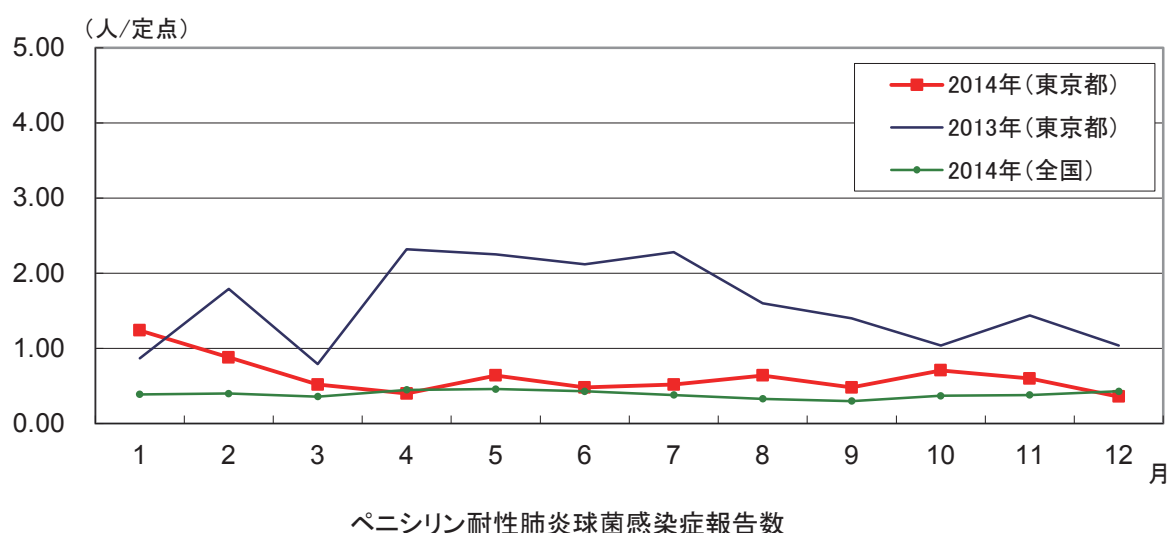
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告数



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告数 経年変化

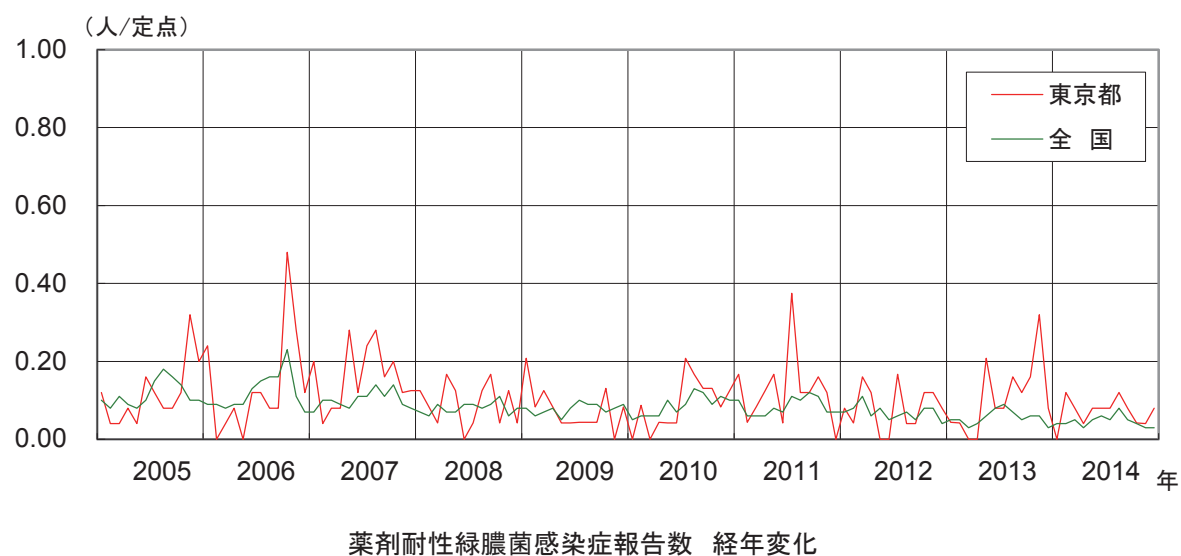
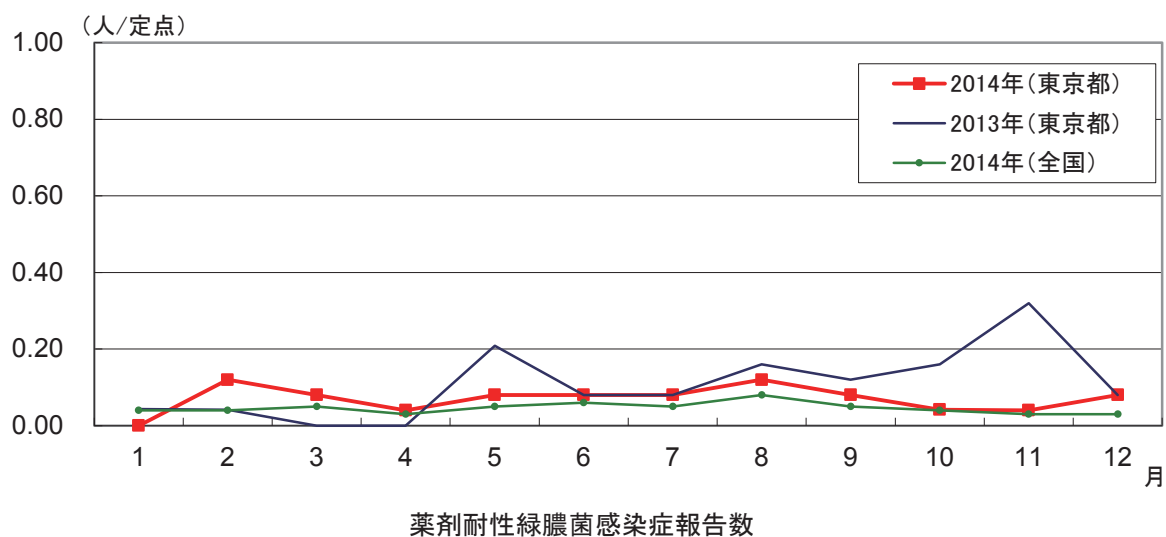
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2014年の報告数は186人、定点あたりの報告数は7.47人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は21.14人であり、2014年の報告数はここ10年で最も少なくなった。月別の報告数は1月が31人と最多であり、12月が9人と最小であった。男女別では男性121人(65.1%) 女性65人(34.9%)と男性が多かった。年齢階級別患者報告数では0～9歳が89人(47.8%)、60歳代以上が81人(43.5%)であった。



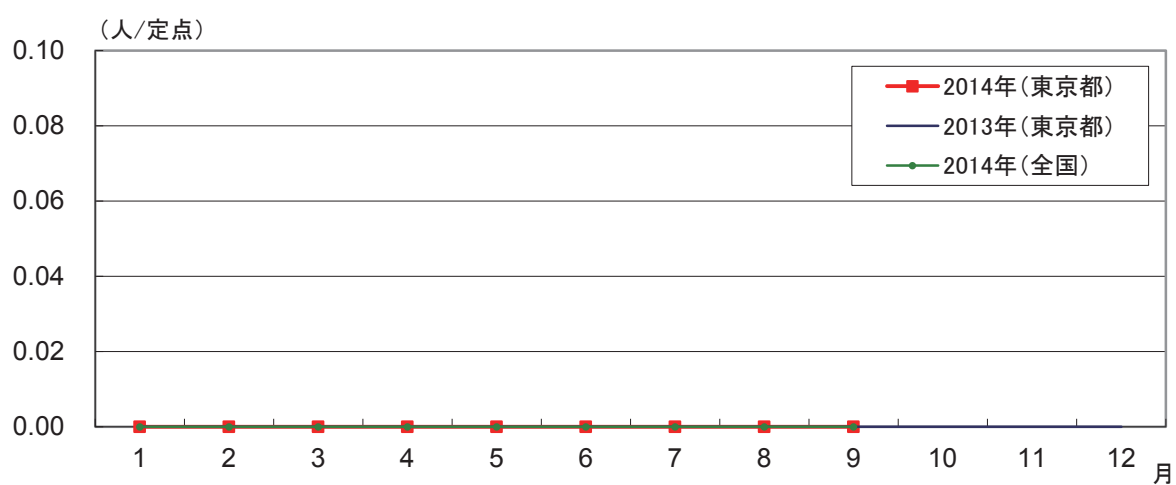
ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2014年の報告数は21人、定点あたりの報告数は0.84人であった。ここ10年の定点あたりの報告数の平均は1.27人であり、2014年の報告数はここ10年で最も少なくなった。月別報告数の変動は明らかではなかった。男女別では男性16人(76.2%)、女性5人(23.8%)で男性が多かった。年齢階級別患者報告数では60歳代以上が17人(81.0%)であった。

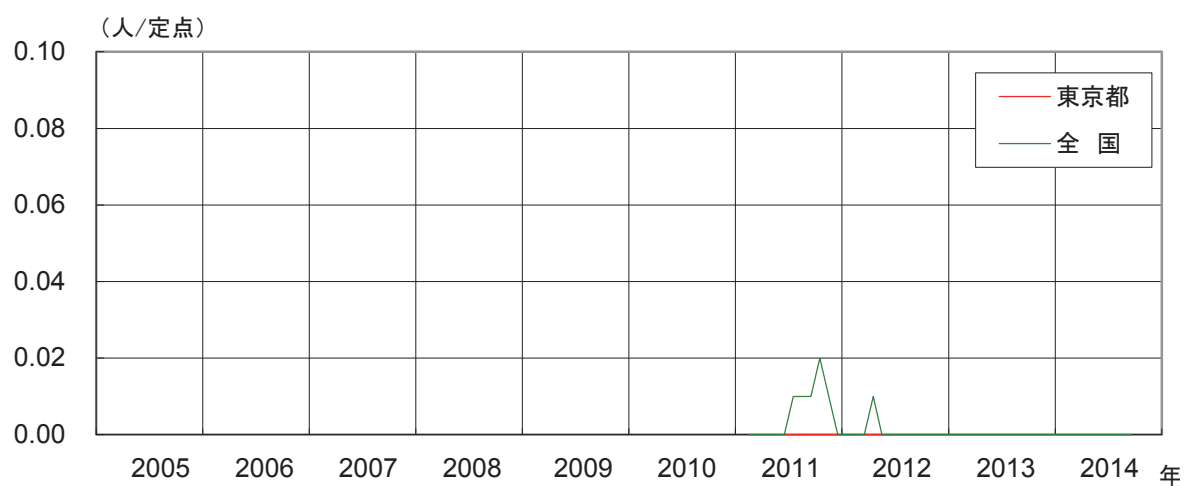


エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2011 年 2 月より 2014 年 9 月 18 日まで実施されたが報告例はなかった。



薬剤耐性アシネトバクター感染症報告数



薬剤耐性アシネトバクター感染症報告数 経年変化

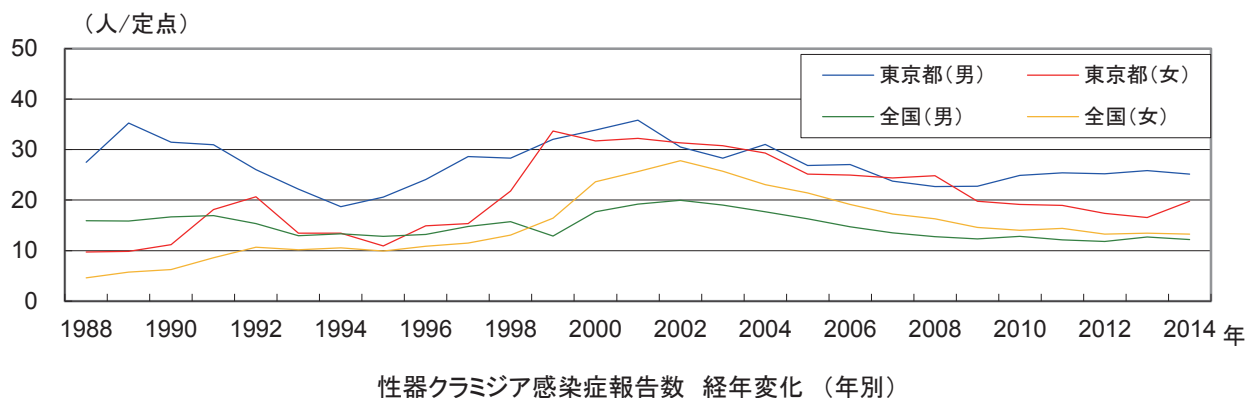
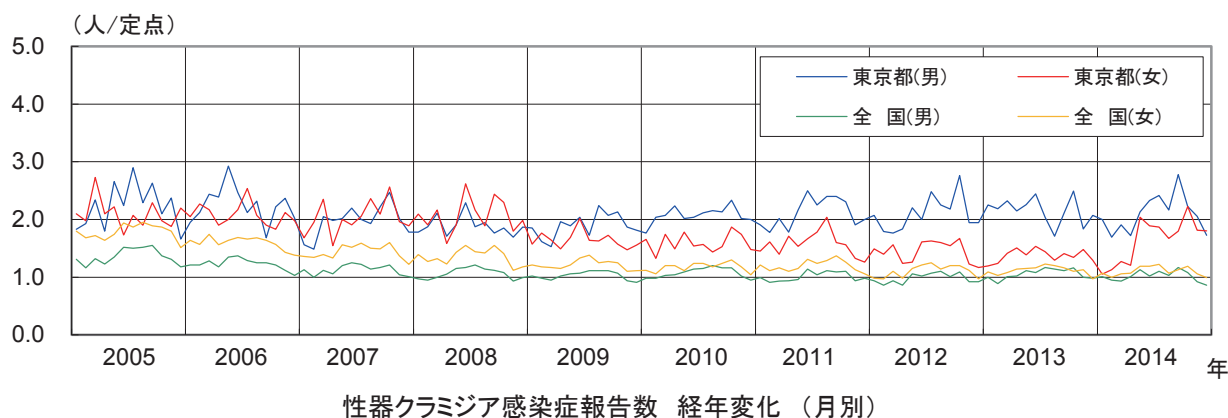
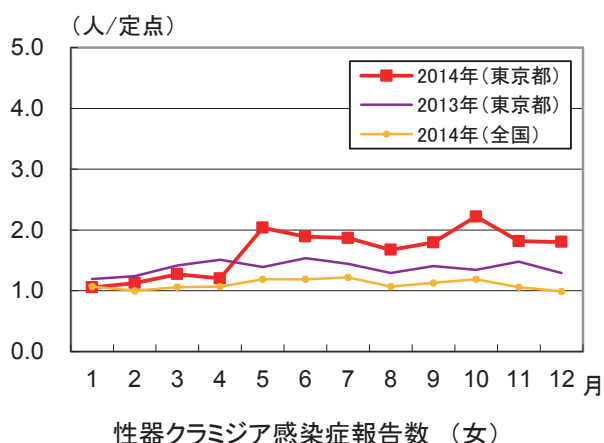
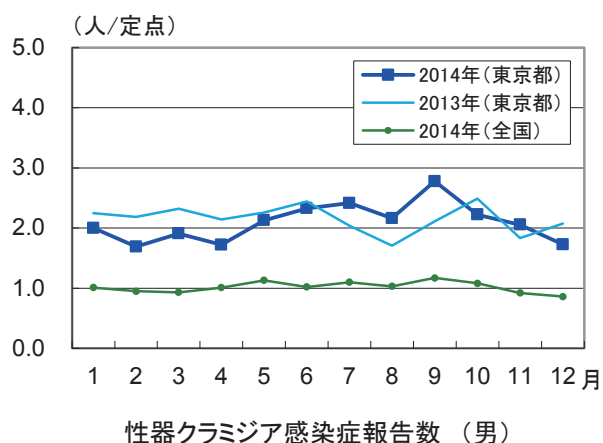
（６） 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

2014年の報告数は2,427人、定点当たり44.90人であり、男性の報告数は1,360人、定点当たり25.14人（前年比0.97）、女性の報告数は1,067人、定点当たり19.76人（前年比1.19）であった。

定点当たり報告数を月別に見ると、男性は9月が2.78人で最多、2月が1.69人で最少、女性では10月が2.22人で最多、1月が1.05人で最少であった。保健所別では、男性は品川区の74.00人、女性は台東の109.50人が最も多かった。

年齢階級別報告数では、男性は25～29歳の263人が最も多く、20歳代と30歳代で男性全体の67.7%を占めている。女性では20歳代が569人で、女性全体の53.3%となっている。

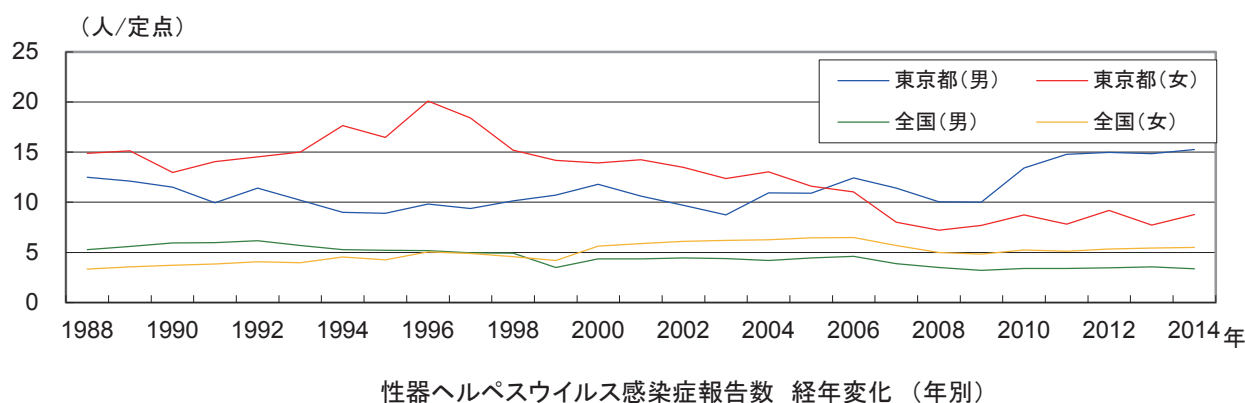
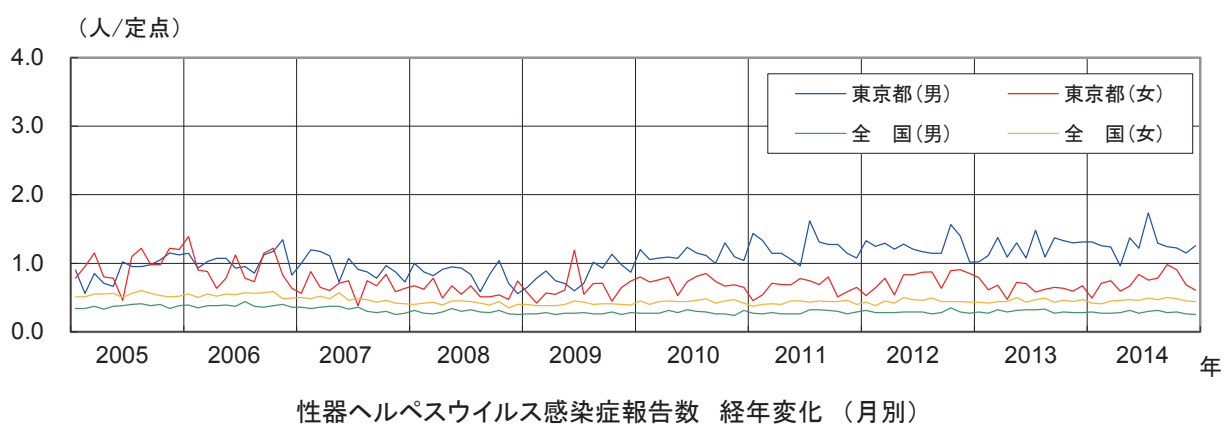
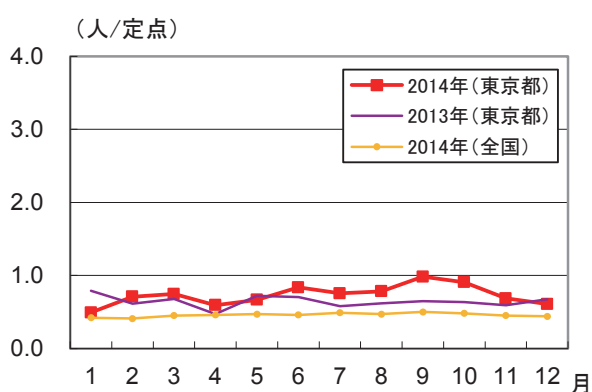
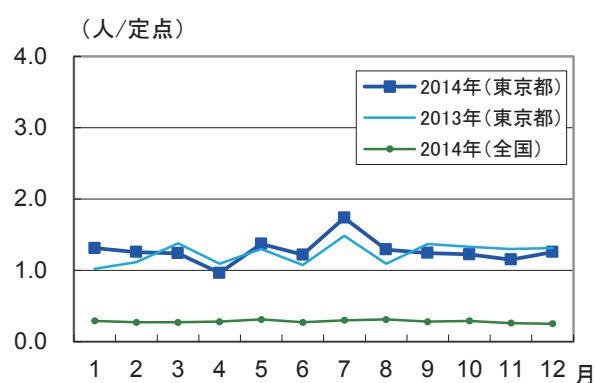


イ 性器ヘルペスウイルス感染症

2014年の報告数は1,298人、定点当たり24.00人であった。男性の報告数は824人、定点当たり15.24人（前年比1.03）、女性の報告数は474人、定点当たり8.76人（前年比1.13）で、昨年に比べ男女とも増加したが、東京都では2006年以降男性に多い状況が続いている。

月別の定点当たり報告数は、男性は7月が1.74人で最多、4月が0.96人で最少、女性は9月が0.98人で最多、1月が0.49人で最少であった。保健所別では、男性はみなとが194.50人と突出しており、女性は台東の34.50人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は35～39歳の138人、女性では25～29歳の102人が最も多いが、近年男女とも40歳代の割合が増加し、特に男性では全体の32.2%を占めている。

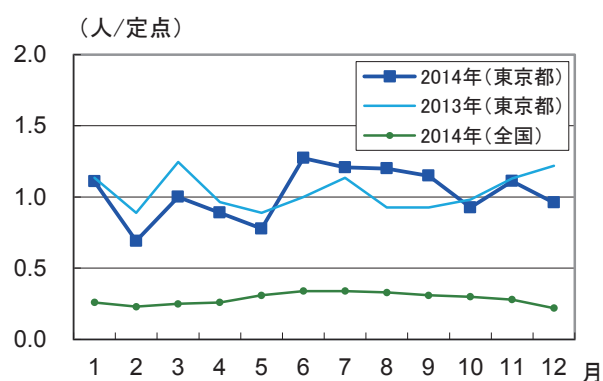


ウ 尖圭コンジローマ

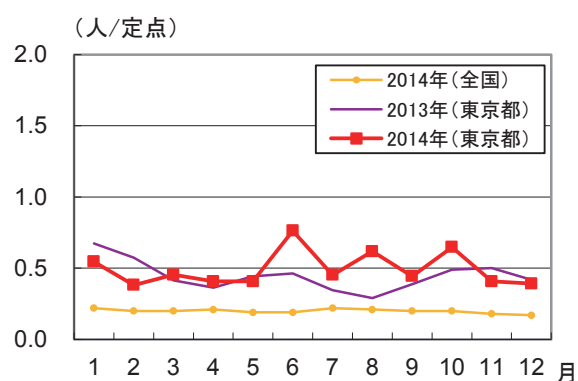
2014年の報告数は986人、定点当たり18.22人であり、1998年以降緩やかな増加傾向にある。男性の報告数は665人、定点当たり12.29人（前年比0.99）、女性の報告数は321人、定点当たり5.92人（前年比1.10）で男性に多い。

月別定点当たり報告数は、男性は6月が1.27人で最多、2月が0.69人で最少、女性も最多は6月の0.76人、最少は2月の0.38人であり、保健所別では男女ともみなとが最多であった（男性61.50人、女性26.00人）。

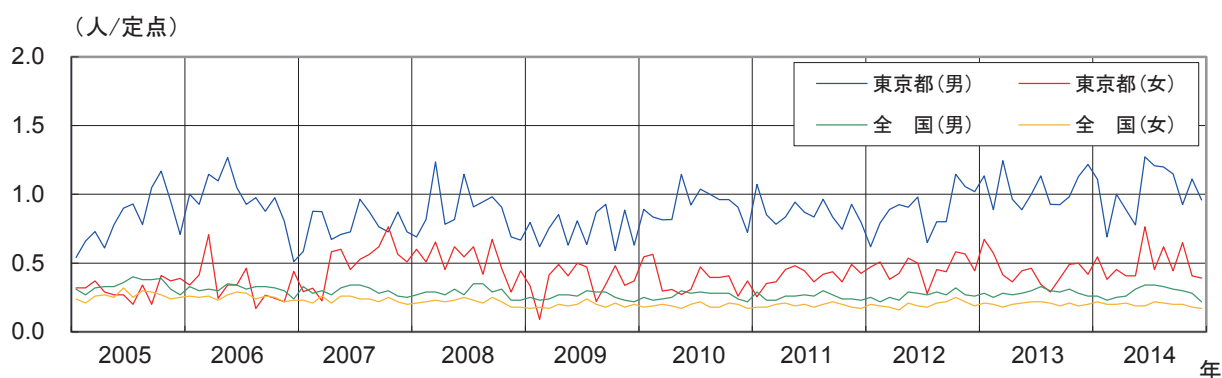
年齢階級別報告数では、男性は30～34歳の124人が最多、女性では20～24歳の101人、25～29歳の95人が多く、20歳代が女性全体の61.1%を占めている。



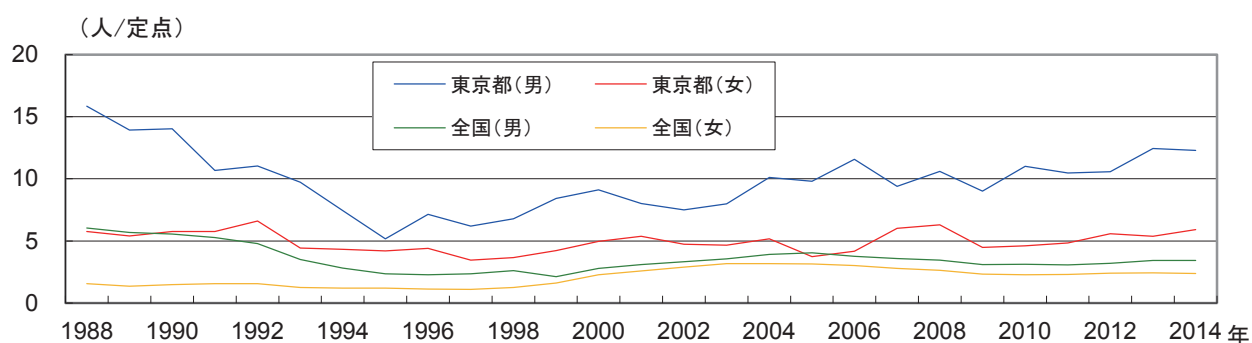
尖圭コンジローマ報告数（男）



尖圭コンジローマ報告数（女）



尖圭コンジローマ報告数 経年変化（月別）



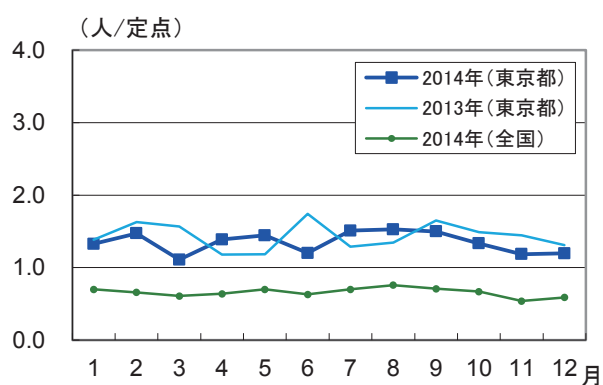
尖圭コンジローマ報告数 経年変化（年別）

エ 淋菌感染症

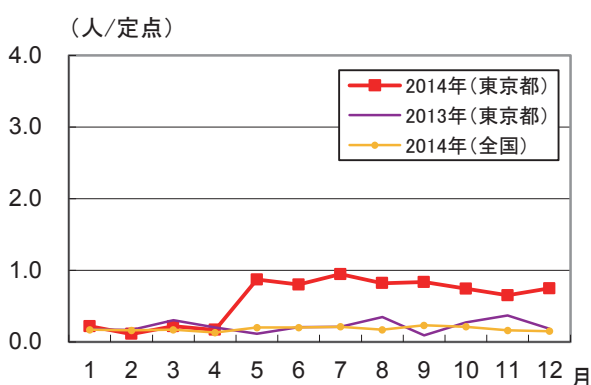
2014年の報告数は1,259人、定点当たり23.31人であり、男性の報告数は876人、定点当たり16.19人（前年比0.94）、女性の報告数は383人、定点当たり7.11人（前年比2.70）であった。

月別定点当たり報告数は、男性は8月が1.53人で最多、3月が1.11人で最も少なかったが、大きな変動は見られない。女性は7月が0.94人で最多、2月が0.11人で最少であった。保健所別では、男性は江東区の45.00人、女性は台東の125.00人が最多であった。

年齢階級別報告数では、男性は30～34歳の165人が最も多く30歳代が男性全体の35.0%を占めている。近年20歳代の割合が減少傾向（32.9%）にあるのに換わり40歳代の割合（20.7%）が増加傾向にある。女性も25～29歳の83人が最も多いが、20歳代が女性全体に占める割合は32.9%に減少した。



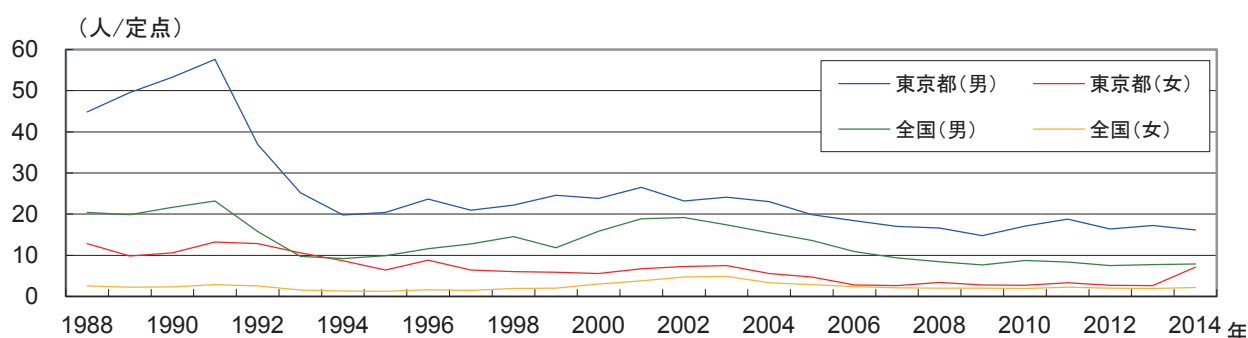
淋菌感染症報告数（男）



淋菌感染症報告数（女）



淋菌感染症報告数 経年変化（月別）



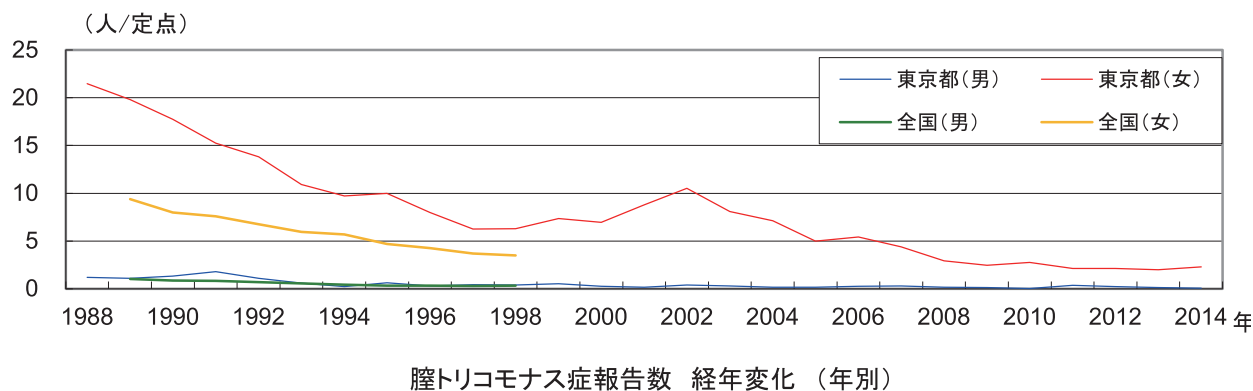
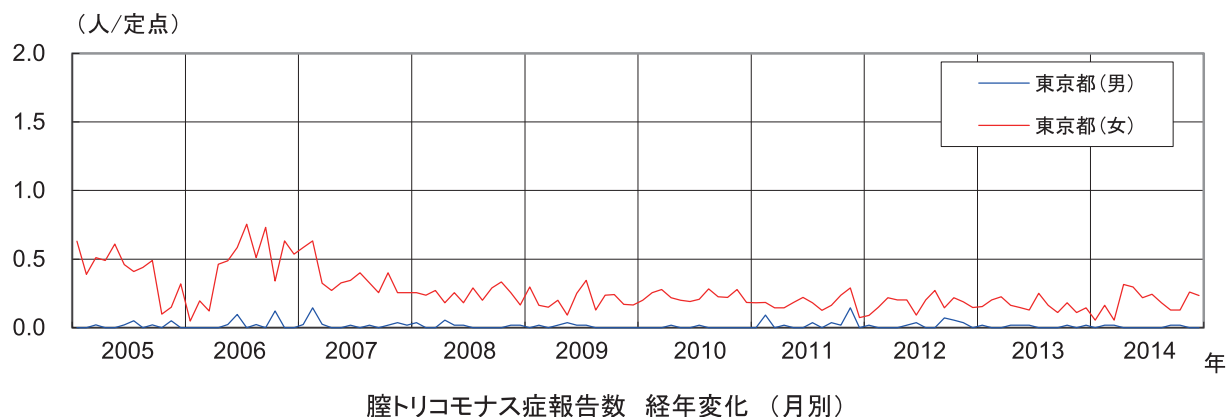
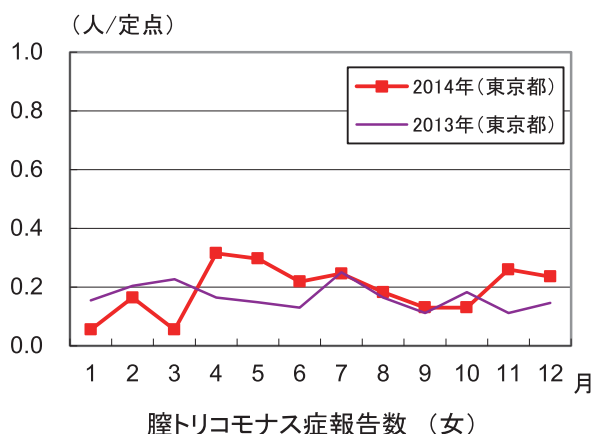
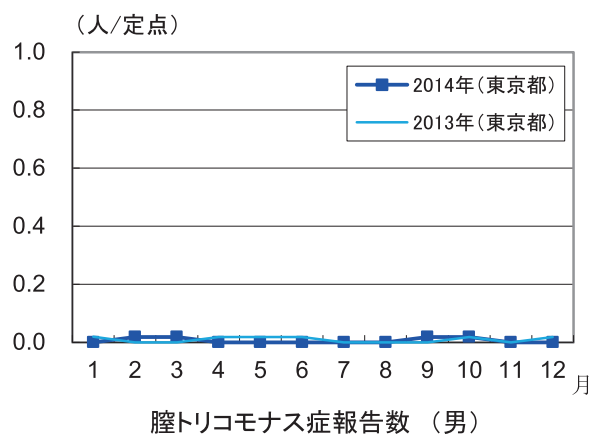
淋菌感染症報告数 経年変化（年別）

オ 膣トリコモナス症

2014年の報告数は127人、定点当たり2.36人であり、昨年よりも増加したが2002年以降は減少傾向にある。男性の報告数は4人、定点当たり0.07人（前年比0.66）、女性の報告数は123人、定点当たり2.28人（前年比1.15）で、女性が全報告数の96.9%を占めている。

男性は、2、3、9、10月に各1人の報告があり、季節や地域的傾向などは見られない。女性では、月別定点当たり患者報告数の最多は4月の0.31人、最少は1月と3月の0.05人、保健所別では台東の19.00人が最も多かった。

年齢階級別報告数では25～29歳の25人が最多であったが、他の性感染症に比べ50歳以上の患者が占める割合が高い（17.0%）。

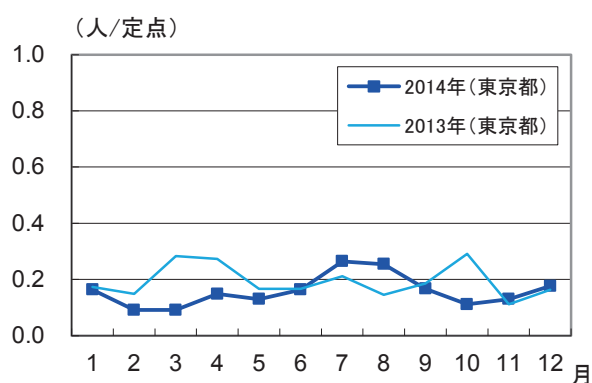


カ 梅毒様疾患

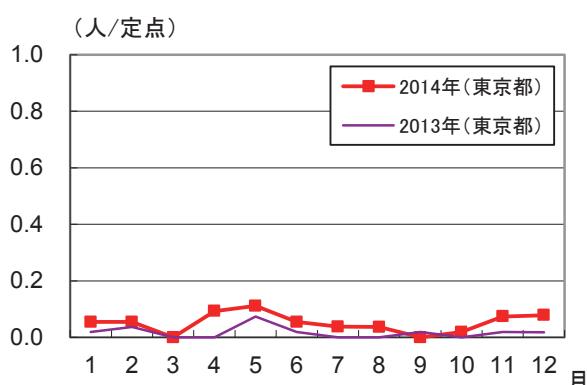
2014年の報告数は135人、定点当たり2.50人であった。男性の報告数は102人、定点当たり1.89人（前年比0.82）に減少し、女性の報告数は33人、定点当たり0.61人（前年比3.00）に増加した。

月別定点当たり報告数では、男性は7月が0.26人で最多、2月、3月がそれぞれ0.09人で最少、女性は3月と9月に報告が無く、最多は5月の0.11人であった。保健所別では、男性は新宿区の10.00人が最も多く、女性はみなとの8.00人が最多であった。

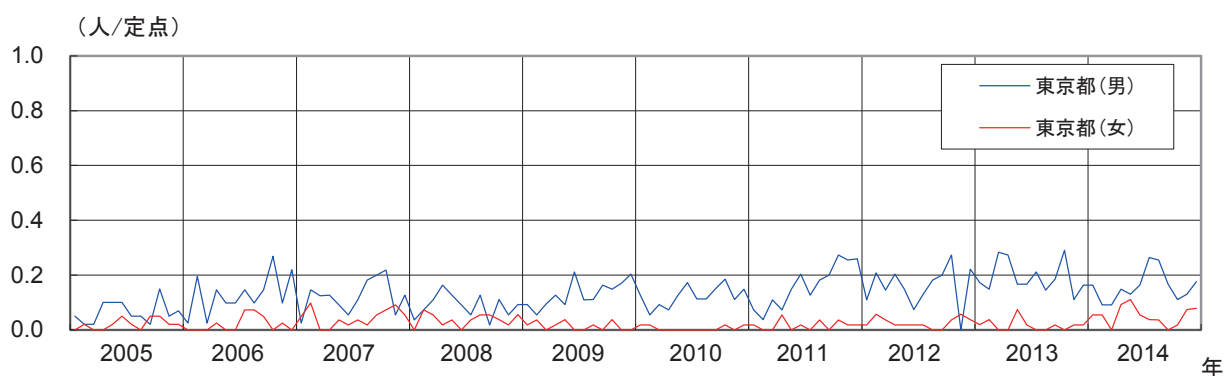
年齢階級別報告数では、男性は30～34歳の26人が最も多く、30歳代が男性全体の47.1%を占めており、女性では20～24歳の12人が最多で、20歳代が女性全体の57.6%となっている。



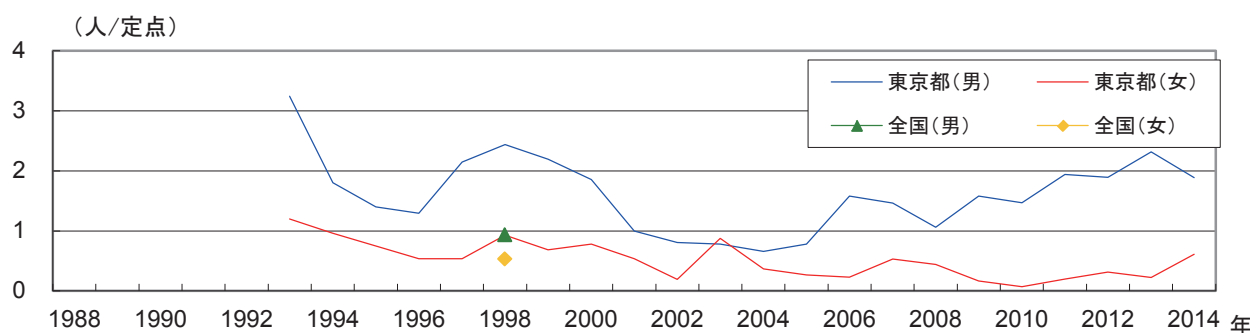
梅毒様疾患報告数（男）



梅毒様疾患報告数（女）



梅毒様疾患報告数 経年変化（月別）



梅毒様疾患報告数 経年変化（年別）

（注）梅毒様疾患の全国調査は1998年のみ

表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2014年第1週～第52週

週	期 間	報告 定点数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点数 (小児 科)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	12.30～ 1. 5	289	280	164	26	30	67	493	99	2	11	13		1	9
2	1. 6～ 1.12	415	2,098	262	123	111	479	3,149	442	21	94	125	5	4	62
3	1.13～ 1.19	415	4,639	262	85	58	404	2,936	201	13	108	149	2	2	34
4	1.20～ 1.26	415	12,317	262	85	57	622	3,397	298	9	87	118	1	4	34
5	1.27～ 2. 2	415	17,091	261	77	78	550	2,777	201	20	73	121	2		36
6	2. 3～ 2. 9	415	14,292	263	81	91	437	2,097	192	12	50	100		1	22
7	2.10～ 2.16	413	11,743	259	38	40	374	1,353	184	16	29	78	6	4	34
8	2.17～ 2.23	418	11,911	263	39	34	541	1,528	192	9	59	123	2	3	33
9	2.24～ 3. 2	416	11,973	261	26	47	631	1,531	204	12	47	103	3		20
10	3. 3～ 3. 9	414	9,419	260	34	44	584	1,272	215	11	41	123	3	2	29
11	3.10～ 3.16	416	8,563	261	37	49	526	1,415	182	8	72	99		5	28
12	3.17～ 3.23	414	6,106	261	33	46	489	1,225	161	7	31	96	6	2	26
13	3.24～ 3.30	412	3,880	260	35	56	452	1,125	191	8	55	134	2	1	26
14	3.31～ 4. 6	418	2,001	263	26	33	455	1,150	169	12	34	146	3	5	40
15	4. 7～ 4.13	416	1,265	262	27	45	501	1,295	164	20	62	157		7	42
16	4.14～ 4.20	418	1,189	263	23	56	586	1,923	158	7	72	187	4	4	38
17	4.21～ 4.27	414	851	264	33	105	754	2,122	245	19	54	174	1	8	60
18	4.28～ 5. 4	397	422	251	20	88	540	1,626	182	27	65	159	2	10	45
19	5. 5～ 5.11	415	138	263	14	89	512	1,431	280	25	50	168	1	10	42
20	5.12～ 5.18	413	104	263	30	134	828	1,989	292	25	97	196	5	27	49
21	5.19～ 5.25	414	49	263	16	144	893	1,933	324	61	98	195		29	58
22	5.26～ 6. 1	414	37	263	21	188	961	1,801	307	59	103	221	3	54	61
23	6. 2～ 6. 8	412	8	262	20	233	778	1,627	370	69	90	246	2	108	94
24	6. 9～ 6.15	413	14	264	16	237	806	1,680	279	80	105	237	4	228	72
25	6.16～ 6.22	409	5	261	34	229	741	1,644	270	119	131	246	4	491	58
26	6.23～ 6.29	414	7	264	30	243	760	1,524	247	154	138	217	4	702	79
27	6.30～ 7. 6	410	4	262	9	191	669	1,474	193	188	129	212	9	1,219	96
28	7. 7～ 7.13	413	1	262	32	160	645	1,348	187	285	160	209	3	1,867	99
29	7.14～ 7.20	410	3	262	27	178	473	1,218	171	405	110	176		2,599	99
30	7.21～ 7.27	415	2	262	24	126	328	997	140	343	98	154	8	1,934	79
31	7.28～ 8. 3	415	4	262	27	135	288	964	138	349	98	175	2	1,869	85
32	8. 4～ 8.10	396	4	253	38	114	236	833	99	302	84	186	2	1,277	82
33	8.11～ 8.17	368	5	226	37	60	127	609	87	137	55	117	4	590	77
34	8.18～ 8.24	398	3	251	60	93	176	748	102	215	81	165	3	530	85
35	8.25～ 8.31	406	6	258	79	105	201	829	103	263	67	167	4	470	110
36	9. 1～ 9. 7	412	6	260	120	116	268	960	77	261	112	187	7	446	72
37	9. 8～ 9.14	409	16	260	154	108	339	943	97	307	100	175	3	406	66
38	9.15～ 9.21	412	51	261	199	92	291	845	106	229	86	154	3	226	56
39	9.22～ 9.28	408	37	261	194	88	338	840	128	160	82	157	4	158	73
40	9.29～10. 5	411	31	262	211	53	387	970	114	194	94	149	4	147	74
41	10. 6～10.12	406	26	260	238	73	382	856	114	223	69	163	5	97	53
42	10.13～10.19	410	30	261	182	72	369	849	120	153	67	160		62	41
43	10.20～10.26	414	32	264	218	73	519	1,074	164	138	109	179	5	58	72
44	10.27～11. 2	408	93	259	286	112	545	1,255	173	175	149	174	1	44	48
45	11. 3～11. 9	413	164	262	268	122	524	1,195	229	157	125	171	2	43	59
46	11.10～11.16	415	303	264	355	136	671	1,668	213	154	163	182	6	29	61
47	11.17～11.23	412	793	263	382	157	706	2,205	230	146	167	149	4	22	52
48	11.24～11.30	414	1,497	263	340	113	786	2,308	249	99	176	141	1	22	73
49	12. 1～12. 7	413	2,420	262	415	135	844	3,064	233	101	204	140	4	20	61
50	12. 8～12.14	413	4,192	262	472	140	745	3,281	322	114	230	121	1	9	66
51	12.15～12.21	417	8,617	264	429	159	830	3,525	258	99	238	132	6	11	61
52	12.22～12.28	415	13,679	262	358	131	623	3,190	218	67	160	94	2	7	72
合 計			152,421		6,183	5,607	27,581	84,091	10,314	6,089	5,069	8,120	158	15,874	3,003

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2014年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎 病	報告定点数 (眼科)	急性出血性 結膜炎	流行性角結 膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア 肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸 炎	報告定点数 (基幹)	インフル エンザ入院
1	12.30～ 1. 5	164	2	1	27		3	25		1			2	25	8
2	1. 6～ 1.12	262	10		38		27	24	1	4	5		2	25	31
3	1.13～ 1.19	262	10	1	37		12	25	1	2	4	1	1	25	42
4	1.20～ 1.26	262	17	5	37		14	25		2	4		4	25	61
5	1.27～ 2. 2	261	23	3	37		20	25	1	1	3	1	3	25	83
6	2. 3～ 2. 9	263	24	5	37		20	25	2	1	2	1	6	25	58
7	2.10～ 2.16	259	10	2	37		11	25		3	4	1	2	25	38
8	2.17～ 2.23	263	19	3	37		11	25			3	1	2	25	42
9	2.24～ 3. 2	261	7	5	37		11	25		1	3	2	9	25	49
10	3. 3～ 3. 9	260	15	4	38		15	25	2	1	5	1	4	25	35
11	3.10～ 3.16	261	8	5	37		12	25		1	1		6	25	31
12	3.17～ 3.23	261	12	3	37	2	8	25			2		7	25	29
13	3.24～ 3.30	260	16	7	37	1	17	25			2		5	25	26
14	3.31～ 4. 6	263	18	3	39		13	25	2		4		13	25	18
15	4. 7～ 4.13	262	16	4	39		13	25		4	4		4	25	8
16	4.14～ 4.20	263	17	8	39		10	25		1	5		12	25	7
17	4.21～ 4.27	264	23	5	39		8	25			4		9	25	9
18	4.28～ 5. 4	251	17	1	38	3	22	25		3	5	2	7	25	3
19	5. 5～ 5.11	263	18	3	39		14	25		1	2		4	25	2
20	5.12～ 5.18	263	21		39		25	25			3	2	8	25	1
21	5.19～ 5.25	263	19	4	39		22	25	2	2	3		6	25	
22	5.26～ 6. 1	263	26	8	39		26	25		1	2		5	25	1
23	6. 2～ 6. 8	262	21	3	39		15	25		3	5			25	
24	6. 9～ 6.15	264	35	2	39		17	25		1	3	2	2	25	
25	6.16～ 6.22	261	35	3	39	1	15	25		3	2	1	1	25	2
26	6.23～ 6.29	264	42	4	39		22	25	1	1	2		2	25	2
27	6.30～ 7. 6	262	44	4	39		16	25		5	4	1		25	1
28	7. 7～ 7.13	262	33	3	39		17	25		1	2			25	1
29	7.14～ 7.20	262	47	5	38	2	18	25	1	4	3	2		25	
30	7.21～ 7.27	262	27	4	39		24	25	1		3		1	25	3
31	7.28～ 8. 3	262	38	1	39		16	25		1	2		1	25	
32	8. 4～ 8.10	253	30	3	38		25	25		4	2			25	
33	8.11～ 8.17	226	20	3	34		3	25		1	1			25	
34	8.18～ 8.24	251	29	1	39		28	25	1	1	5			25	
35	8.25～ 8.31	258	28	2	39		28	25		2	5			25	
36	9. 1～ 9. 7	260	25	6	38		24	25		7	5			25	
37	9. 8～ 9.14	260	41	3	37	1	22	25		5	9	1		25	
38	9.15～ 9.21	261	34	2	39		21	25		1	4			25	
39	9.22～ 9.28	261	23	3	39		24	25		7	9			25	
40	9.29～10. 5	262	26	3	38	1	19	25		2	7		1	25	
41	10. 6～10.12	260	31	5	39		11	25	1	7	8			25	
42	10.13～10.19	261	20	1	39		21	25	2	2	11			25	
43	10.20～10.26	264	19	3	39		11	25		6	4			25	
44	10.27～11. 2	259	27	1	39		19	25	1	1	6		1	25	
45	11. 3～11. 9	262	22	3	39		18	25	1	2	6			25	2
46	11.10～11.16	264	16	3	39	1	17	25			9	1		25	
47	11.17～11.23	263	17	3	38		27	25		1	10	1		25	3
48	11.24～11.30	263	15	5	39		14	25	1		10		1	25	9
49	12. 1～12. 7	262	10	3	39		21	25		3	12		1	25	11
50	12. 8～12.14	262	18	7	39	1	22	25		1	4			25	9
51	12.15～12.21	264	19	6	39		21	25	1	1	5		1	25	45
52	12.22～12.28	262	18	5	39		23	25			6		1	25	65
合 計		1,158	180			13	913		22	102	234	21	134		735

表4-2 (1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2014 年第 1 週～第 52 週

週	期 間	報告 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点 数 (小児 科)	R S ウ イル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	12.30～ 1. 5	289	0.97	164	0.16	0.18	0.41	3.01	0.60	0.01	0.07	0.08		0.01	0.05
2	1. 6～ 1.12	415	5.06	262	0.47	0.42	1.83	12.02	1.69	0.08	0.36	0.48	0.02	0.02	0.24
3	1.13～ 1.19	415	11.18	262	0.32	0.22	1.54	11.21	0.77	0.05	0.41	0.57	0.01	0.01	0.13
4	1.20～ 1.26	415	29.68	262	0.32	0.22	2.37	12.97	1.14	0.03	0.33	0.45	0.00	0.02	0.13
5	1.27～ 2. 2	415	41.18	261	0.30	0.30	2.11	10.64	0.77	0.08	0.28	0.46	0.01		0.14
6	2. 3～ 2. 9	415	34.44	263	0.31	0.35	1.66	7.97	0.73	0.05	0.19	0.38		0.00	0.08
7	2.10～ 2.16	413	28.43	259	0.15	0.15	1.44	5.22	0.71	0.06	0.11	0.30	0.02	0.02	0.13
8	2.17～ 2.23	418	28.50	263	0.15	0.13	2.06	5.81	0.73	0.03	0.22	0.47	0.01	0.01	0.13
9	2.24～ 3. 2	416	28.78	261	0.10	0.18	2.42	5.87	0.78	0.05	0.18	0.39	0.01		0.08
10	3. 3～ 3. 9	414	22.75	260	0.13	0.17	2.25	4.89	0.83	0.04	0.16	0.47	0.01	0.01	0.11
11	3.10～ 3.16	416	20.58	261	0.14	0.19	2.02	5.42	0.70	0.03	0.28	0.38		0.02	0.11
12	3.17～ 3.23	414	14.75	261	0.13	0.18	1.87	4.69	0.62	0.03	0.12	0.37	0.02	0.01	0.10
13	3.24～ 3.30	412	9.42	260	0.13	0.22	1.74	4.33	0.73	0.03	0.21	0.52	0.01	0.00	0.10
14	3.31～ 4. 6	418	4.79	263	0.10	0.13	1.73	4.37	0.64	0.05	0.13	0.56	0.01	0.02	0.15
15	4. 7～ 4.13	416	3.04	262	0.10	0.17	1.91	4.94	0.63	0.08	0.24	0.60		0.03	0.16
16	4.14～ 4.20	418	2.84	263	0.09	0.21	2.23	7.31	0.60	0.03	0.27	0.71	0.02	0.02	0.14
17	4.21～ 4.27	414	2.06	264	0.13	0.40	2.86	8.04	0.93	0.07	0.20	0.66	0.00	0.03	0.23
18	4.28～ 5. 4	397	1.06	251	0.08	0.35	2.15	6.48	0.73	0.11	0.26	0.63	0.01	0.04	0.18
19	5. 5～ 5.11	415	0.33	263	0.05	0.34	1.95	5.44	1.06	0.10	0.19	0.64	0.00	0.04	0.16
20	5.12～ 5.18	413	0.25	263	0.11	0.51	3.15	7.56	1.11	0.10	0.37	0.75	0.02	0.10	0.19
21	5.19～ 5.25	414	0.12	263	0.06	0.55	3.40	7.35	1.23	0.23	0.37	0.74		0.11	0.22
22	5.26～ 6. 1	414	0.09	263	0.08	0.71	3.65	6.85	1.17	0.22	0.39	0.84	0.01	0.21	0.23
23	6. 2～ 6. 8	412	0.02	262	0.08	0.89	2.97	6.21	1.41	0.26	0.34	0.94	0.01	0.41	0.36
24	6. 9～ 6.15	413	0.03	264	0.06	0.90	3.05	6.36	1.06	0.30	0.40	0.90	0.02	0.86	0.27
25	6.16～ 6.22	409	0.01	261	0.13	0.88	2.84	6.30	1.03	0.46	0.50	0.94	0.02	1.88	0.22
26	6.23～ 6.29	414	0.02	264	0.11	0.92	2.88	5.77	0.94	0.58	0.52	0.82	0.02	2.66	0.30
27	6.30～ 7. 6	410	0.01	262	0.03	0.73	2.55	5.63	0.74	0.72	0.49	0.81	0.03	4.65	0.37
28	7. 7～ 7.13	413	0.00	262	0.12	0.61	2.46	5.15	0.71	1.09	0.61	0.80	0.01	7.13	0.38
29	7.14～ 7.20	410	0.01	262	0.10	0.68	1.81	4.65	0.65	1.55	0.42	0.67		9.92	0.38
30	7.21～ 7.27	415	0.00	262	0.09	0.48	1.25	3.81	0.53	1.31	0.37	0.59	0.03	7.38	0.30
31	7.28～ 8. 3	415	0.01	262	0.10	0.52	1.10	3.68	0.53	1.33	0.37	0.67	0.01	7.13	0.32
32	8. 4～ 8.10	396	0.01	253	0.15	0.45	0.93	3.29	0.39	1.19	0.33	0.74	0.01	5.05	0.32
33	8.11～ 8.17	368	0.01	226	0.16	0.27	0.56	2.69	0.38	0.61	0.24	0.52	0.02	2.61	0.34
34	8.18～ 8.24	398	0.01	251	0.24	0.37	0.70	2.98	0.41	0.86	0.32	0.66	0.01	2.11	0.34
35	8.25～ 8.31	406	0.01	258	0.31	0.41	0.78	3.21	0.40	1.02	0.26	0.65	0.02	1.82	0.43
36	9. 1～ 9. 7	412	0.01	260	0.46	0.45	1.03	3.69	0.30	1.00	0.43	0.72	0.03	1.72	0.28
37	9. 8～ 9.14	409	0.04	260	0.59	0.42	1.30	3.63	0.37	1.18	0.38	0.67	0.01	1.56	0.25
38	9.15～ 9.21	412	0.12	261	0.76	0.35	1.11	3.24	0.41	0.88	0.33	0.59	0.01	0.87	0.21
39	9.22～ 9.28	408	0.09	261	0.74	0.34	1.30	3.22	0.49	0.61	0.31	0.60	0.02	0.61	0.28
40	9.29～10. 5	411	0.08	262	0.81	0.20	1.48	3.70	0.44	0.74	0.36	0.57	0.02	0.56	0.28
41	10. 6～10.12	406	0.06	260	0.92	0.28	1.47	3.29	0.44	0.86	0.27	0.63	0.02	0.37	0.20
42	10.13～10.19	410	0.07	261	0.70	0.28	1.41	3.25	0.46	0.59	0.26	0.61		0.24	0.16
43	10.20～10.26	414	0.08	264	0.83	0.28	1.97	4.07	0.62	0.52	0.41	0.68	0.02	0.22	0.27
44	10.27～11. 2	408	0.23	259	1.10	0.43	2.10	4.85	0.67	0.68	0.58	0.67	0.00	0.17	0.19
45	11. 3～11. 9	413	0.40	262	1.02	0.47	2.00	4.56	0.87	0.60	0.48	0.65	0.01	0.16	0.23
46	11.10～11.16	415	0.73	264	1.34	0.52	2.54	6.32	0.81	0.58	0.62	0.69	0.02	0.11	0.23
47	11.17～11.23	412	1.92	263	1.45	0.60	2.68	8.38	0.87	0.56	0.63	0.57	0.02	0.08	0.20
48	11.24～11.30	414	3.62	263	1.29	0.43	2.99	8.78	0.95	0.38	0.67	0.54	0.00	0.08	0.28
49	12. 1～12. 7	413	5.86	262	1.58	0.52	3.22	11.69	0.89	0.39	0.78	0.53	0.02	0.08	0.23
50	12. 8～12.14	413	10.15	262	1.80	0.53	2.84	12.52	1.23	0.44	0.88	0.46	0.00	0.03	0.25
51	12.15～12.21	417	20.66	264	1.63	0.60	3.14	13.35	0.98	0.38	0.90	0.50	0.02	0.04	0.23
52	12.22～12.28	415	32.96	262	1.37	0.50	2.38	12.18	0.83	0.26	0.61	0.36	0.01	0.03	0.27
平 均			7.07		0.46	0.41	2.03	6.21	0.76	0.45	0.37	0.60	0.01	1.18	0.22

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2014年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる)感染性胃腸炎	報告定点数(基幹)	インフルエンザ入院
1	12.30～1.5	164	0.01	0.01	27		0.11	25		0.04			0.08	25	0.32
2	1.6～1.12	262	0.04		38		0.71	24	0.04	0.17	0.21		0.08	25	1.24
3	1.13～1.19	262	0.04	0.00	37		0.32	25	0.04	0.08	0.16	0.04	0.04	25	1.68
4	1.20～1.26	262	0.06	0.02	37		0.38	25		0.08	0.16		0.16	25	2.44
5	1.27～2.2	261	0.09	0.01	37		0.54	25	0.04	0.04	0.12	0.04	0.12	25	3.32
6	2.3～2.9	263	0.09	0.02	37		0.54	25	0.08	0.04	0.08	0.04	0.24	25	2.32
7	2.10～2.16	259	0.04	0.01	37		0.30	25		0.12	0.16	0.04	0.08	25	1.52
8	2.17～2.23	263	0.07	0.01	37		0.30	25			0.12	0.04	0.08	25	1.68
9	2.24～3.2	261	0.03	0.02	37		0.30	25		0.04	0.12	0.08	0.36	25	1.96
10	3.3～3.9	260	0.06	0.02	38		0.39	25	0.08	0.04	0.20	0.04	0.16	25	1.40
11	3.10～3.16	261	0.03	0.02	37		0.32	25		0.04	0.04		0.24	25	1.24
12	3.17～3.23	261	0.05	0.01	37	0.05	0.22	25			0.08		0.28	25	1.16
13	3.24～3.30	260	0.06	0.03	37	0.03	0.46	25			0.08		0.20	25	1.04
14	3.31～4.6	263	0.07	0.01	39		0.33	25	0.08		0.16		0.52	25	0.72
15	4.7～4.13	262	0.06	0.02	39		0.33	25		0.16	0.16		0.16	25	0.32
16	4.14～4.20	263	0.06	0.03	39		0.26	25		0.04	0.20		0.48	25	0.28
17	4.21～4.27	264	0.09	0.02	39		0.21	25			0.16		0.36	25	0.36
18	4.28～5.4	251	0.07	0.00	38	0.08	0.58	25		0.12	0.20	0.08	0.28	25	0.12
19	5.5～5.11	263	0.07	0.01	39		0.36	25		0.04	0.08		0.16	25	0.08
20	5.12～5.18	263	0.08		39		0.64	25			0.12	0.08	0.32	25	0.04
21	5.19～5.25	263	0.07	0.02	39		0.56	25	0.08	0.08	0.12		0.24	25	
22	5.26～6.1	263	0.10	0.03	39		0.67	25		0.04	0.08		0.20	25	0.04
23	6.2～6.8	262	0.08	0.01	39		0.38	25		0.12	0.20			25	
24	6.9～6.15	264	0.13	0.01	39		0.44	25		0.04	0.12	0.08	0.08	25	
25	6.16～6.22	261	0.13	0.01	39	0.03	0.38	25		0.12	0.08	0.04	0.04	25	0.08
26	6.23～6.29	264	0.16	0.02	39		0.56	25	0.04	0.04	0.08		0.08	25	0.08
27	6.30～7.6	262	0.17	0.02	39		0.41	25		0.20	0.16	0.04		25	0.04
28	7.7～7.13	262	0.13	0.01	39		0.44	25		0.04	0.08			25	0.04
29	7.14～7.20	262	0.18	0.02	38	0.05	0.47	25	0.04	0.16	0.12	0.08		25	
30	7.21～7.27	262	0.10	0.02	39		0.62	25	0.04		0.12		0.04	25	0.12
31	7.28～8.3	262	0.15	0.00	39		0.41	25		0.04	0.08		0.04	25	
32	8.4～8.10	253	0.12	0.01	38		0.66	25		0.16	0.08			25	
33	8.11～8.17	226	0.09	0.01	34		0.09	25		0.04	0.04			25	
34	8.18～8.24	251	0.12	0.00	39		0.72	25	0.04	0.04	0.20			25	
35	8.25～8.31	258	0.11	0.01	39		0.72	25		0.08	0.20			25	
36	9.1～9.7	260	0.10	0.02	38		0.63	25		0.28	0.20			25	
37	9.8～9.14	260	0.16	0.01	37	0.03	0.59	25		0.20	0.36	0.04		25	
38	9.15～9.21	261	0.13	0.01	39		0.54	25		0.04	0.16			25	
39	9.22～9.28	261	0.09	0.01	39		0.62	25		0.28	0.36			25	
40	9.29～10.5	262	0.10	0.01	38	0.03	0.50	25		0.08	0.28		0.04	25	
41	10.6～10.12	260	0.12	0.02	39		0.28	25	0.04	0.28	0.32			25	
42	10.13～10.19	261	0.08	0.00	39		0.54	25	0.08	0.08	0.44			25	
43	10.20～10.26	264	0.07	0.01	39		0.28	25		0.24	0.16			25	
44	10.27～11.2	259	0.10	0.00	39		0.49	25	0.04	0.04	0.24		0.04	25	
45	11.3～11.9	262	0.08	0.01	39		0.46	25	0.04	0.08	0.24			25	0.08
46	11.10～11.16	264	0.06	0.01	39	0.03	0.44	25			0.36	0.04		25	
47	11.17～11.23	263	0.06	0.01	38		0.71	25		0.04	0.40	0.04		25	0.12
48	11.24～11.30	263	0.06	0.02	39		0.36	25	0.04		0.40		0.04	25	0.36
49	12.1～12.7	262	0.04	0.01	39		0.54	25		0.12	0.48		0.04	25	0.44
50	12.8～12.14	262	0.07	0.03	39	0.03	0.56	25		0.04	0.16			25	0.36
51	12.15～12.21	264	0.07	0.02	39		0.54	25	0.04	0.04	0.20		0.04	25	1.80
52	12.22～12.28	262	0.07	0.02	39		0.59	25			0.24		0.04	25	2.60
平 均			0.09	0.01		0.01	0.46		0.02	0.08	0.18	0.02	0.49		0.57

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2014年第1週～第52週

	設置 定点数 (インフル エンザ)	イン フル エン ザ	設置 定点数 (小児 科)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
千代田	4	931	3	30	10	24	335	69	26	16	24	2	87
中央区	5	1,354	3	71	55	212	795	63	61	27	115	2	111
みなと	9	2,707	6	267	298	310	1,624	173	123	75	182	8	334
新宿区	12	2,678	8	389	212	667	1,619	141	121	26	174	3	299
文京	7	2,125	4	65	58	250	641	101	87	125	153		127
台東	7	1,607	4	88	87	352	1,978	140	116	29	144		197
墨田区	8	2,536	5	147	79	336	1,215	145	83	59	173	2	283
江東区	14	5,650	9	335	191	933	5,802	524	232	254	359	3	606
品川区	12	2,787	8	124	131	484	2,785	262	94	176	246	1	464
目黒区	8	1,056	5	73	20	315	1,268	97	113	102	130		347
大田区	21	7,044	13	406	625	1,390	5,784	830	176	326	510	35	1,050
世田谷	25	9,569	16	329	528	1,513	4,999	703	321	542	428	3	1,175
渋谷区	7	1,403	4	51	34	97	1,009	74	62	48	75	1	94
中野区	11	2,632	7	87	98	353	2,451	220	198	53	204		332
杉並	16	5,347	10	115	150	436	2,881	178	149	126	198	1	179
池袋	8	2,521	5	117	83	269	882	106	69	36	48	6	217
北区	11	3,189	7	57	59	315	1,550	282	159	151	254	2	338
荒川区	7	3,837	4	352	125	486	1,345	165	143	97	216	2	339
板橋区	16	3,671	10	23	60	285	1,703	291	236	102	216	5	209
練馬区	21	7,477	13	152	294	1,577	3,188	507	313	334	401	6	845
足立	20	7,511	13	237	269	1,237	4,867	581	494	108	405	11	734
葛飾区	13	5,058	8	106	60	548	2,624	349	371	143	217	1	423
江戸川	19	7,268	12	210	352	2,031	4,649	476	205	206	364	9	929
八王子市	18	10,176	11	536	328	2,809	5,661	683	237	478	374	27	912
町田市	13	7,386	8	80	136	2,262	4,208	504	429	387	280	5	865
西多摩	14	5,432	8	137	128	537	1,713	226	86	67	118	2	305
南多摩	14	6,517	9	303	103	1,206	2,489	402	234	127	348	7	665
多摩立川	21	8,731	14	327	113	2,068	3,526	402	221	264	369		555
多摩府中	33	13,357	21	370	319	2,019	6,283	883	537	215	759	12	1,353
多摩小平	23	10,216	15	593	602	2,204	4,216	691	376	362	633	2	1,471
島しょ	2	648	1	6		56	1	46	17	8	3		29
合 計	419	152,421	264	6,183	5,607	27,581	84,091	10,314	6,089	5,069	8,120	158	15,874
定点当たり報告数		367.55		23.70	21.54	105.60	322.84	39.69	23.44	19.44	31.18	0.61	61.25
前年定点当たり報告数		181.11		23.48	23.89	95.29	395.81	44.22	114.72	6.19	32.00	0.35	33.06
当年/前年		2.03		1.01	0.90	1.11	0.82	0.90	0.20	3.14	0.97	1.73	1.85

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2014年第1週～第52週

	設置定点数 (小児科)	流行性耳下腺炎	不明発しん症	川崎病		設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎		設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	6	14	11						2	1	1	11		4	18
中央区	3	21	4	3	1		69									
みなと	6	39	3	7						1	1	5	9	2		27
新宿区	8	209	14	27	2	2	28			2	3	4	46		5	51
文京	4	36	3		1		68			1		1			7	27
台東	4	47	9													
墨田区	5	69	53	4	1		14			1	4	12	8		4	46
江東区	9	158	43	4	1		10									
品川区	8	21	15	1	1		10									
目黒区	5	25	38	6	1		16									
大田区	13	80	93	10	2		35			1						
世田谷	16	96	141	10	2		21			2	7	24	11		18	101
渋谷区	4	7	14	1	1		76			1	1		34	2	41	66
中野区	7	57	37	4	1	2	11			1*						
杉並	10	51	7	10	1		40			1*		1	1			
池袋	5	22	3	4	1		33			1		6	3		1	43
北区	7	89	13	2	1		15									
荒川区	4	51	17	11	1		25									
板橋区	10	167	37	2	2	1	26			1		1	13		9	57
練馬区	13	148	31	9	2	1	41									
足立	13	390	24	3	2	2	69									
葛飾区	8	77	55	7	1		23			1			18	16	18	55
江戸川	12	246	27	11	2	2	26									
八王子市	11	156	115	5	2		50			1		6	4			40
町田市	8	98	137	1	1											
西多摩	8	173	4		1	1	9			1		2	11		7	22
南多摩	9	95	13	7	1		9									
多摩立川	14	117	26	4	2		12			1	1	1	2		4	2
多摩府中	21	125	80	11	3	1	68			3	3	17	26	1	16	115
多摩小平	15	120	88	5	2	1	109			2	1	21	37			64
島しょ	1	7								1						1
合 計	264	3,003	1,158	180	39	13	913			23	22	102	234	21	134	735
定点当たり報告数		11.57	4.45	0.69		0.34	23.79				0.88	4.09	9.37	0.84	5.36	29.40
前年定点当たり報告数		9.83	4.24	0.85		0.45	23.68				1.93	5.06	20.66	1.60	0.88	20.89
当年/前年		1.18	1.05	0.81		0.77	1.00				0.46	0.81	0.45	0.52	6.09	1.41

*基幹定点数:第1週～第37週までは中野区1、杉並区1、第38週以降は中野区2、杉並区0

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2014 年第 1 週～第 52 週

	設置 定点数 (インフル エンザ)	イン フル エン ザ	設置 定点数 (小児 科)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
千代田	4	232.75	3	10.00	3.33	8.00	111.67	23.00	8.67	5.33	8.00	0.67	29.00
中央区	5	270.80	3	23.67	18.33	70.67	265.00	21.00	20.33	9.00	38.33	0.67	37.00
みなと	9	311.74	6	44.80	49.80	52.57	275.83	30.07	20.50	12.63	30.50	1.33	55.67
新宿区	12	229.91	8	48.63	26.50	83.38	202.38	17.63	15.13	3.25	21.75	0.38	37.38
文京	7	308.76	4	16.25	14.50	62.75	166.50	26.75	21.75	31.50	39.00		32.25
台東	7	229.62	4	22.17	22.58	88.17	499.00	35.17	29.83	7.33	36.50		50.75
墨田区	8	318.13	5	29.67	15.80	67.47	243.40	29.93	16.73	11.80	34.60	0.40	58.60
江東区	14	403.57	9	37.22	21.22	103.67	644.67	58.22	25.78	28.22	39.89	0.33	67.33
品川区	12	232.25	8	15.50	16.38	60.50	348.13	32.75	11.75	22.00	30.75	0.13	58.00
目黒区	8	131.79	5	14.58	4.15	63.05	254.48	19.57	22.85	20.57	26.27		71.10
大田区	21	338.98	13	31.58	48.93	107.79	449.98	64.55	13.82	25.32	39.63	2.71	82.64
世田谷	25	384.09	16	21.01	34.49	94.80	315.39	44.22	20.21	34.22	26.79	0.19	74.13
渋谷区	7	201.91	4	12.75	8.50	24.33	253.50	18.58	15.50	12.00	18.75	0.25	23.50
中野区	11	244.36	7	13.52	14.36	52.76	369.95	33.24	29.60	8.19	30.50		47.71
杉並	16	330.57	10	10.64	15.05	43.11	284.15	17.67	15.05	12.17	19.73	0.10	19.23
池袋	8	315.13	5	23.40	16.60	53.80	176.40	21.20	13.80	7.20	9.60	1.20	43.40
北区	11	293.56	7	8.38	8.67	46.38	227.95	40.99	23.60	22.08	37.56	0.29	49.77
荒川区	7	549.34	4	89.17	31.50	121.67	342.33	41.75	36.50	24.58	55.33	0.50	91.75
板橋区	16	232.27	10	2.30	6.01	29.28	174.28	29.11	23.60	10.20	21.86	0.50	20.91
練馬区	21	376.44	13	11.86	24.00	125.45	255.46	40.04	24.96	26.49	31.99	0.47	70.75
足立	20	376.52	13	18.38	21.01	96.70	384.91	45.01	39.08	8.46	31.73	0.87	58.35
葛飾区	13	391.02	8	13.29	7.54	71.26	330.74	45.28	46.58	18.00	27.46	0.13	53.38
江戸川	19	387.22	12	18.28	30.43	172.59	401.50	41.16	17.79	17.57	31.33	0.77	78.56
八王子市	18	571.16	11	49.04	30.22	256.85	518.57	62.84	21.86	43.92	34.31	2.46	84.00
町田市	13	569.47	8	10.00	17.05	284.04	529.30	63.32	54.02	48.84	35.25	0.64	108.45
西多摩	14	388.20	8	17.13	16.08	67.20	214.65	28.25	10.75	8.38	14.75	0.25	38.13
南多摩	14	465.88	9	33.67	11.47	134.68	279.88	45.86	26.22	14.28	38.85	0.78	74.60
多摩立川	21	415.76	14	23.36	8.07	147.71	251.86	28.71	15.79	18.86	26.36		39.64
多摩府中	33	417.01	21	18.36	15.95	100.16	312.39	44.37	27.01	10.70	37.94	0.61	69.15
多摩小平	23	449.01	15	39.65	40.27	147.71	283.33	46.38	25.09	24.27	42.43	0.13	98.07
島しょ	2	324.00	1	6.00		56.00	1.00	46.00	17.00	8.00	3.00		29.00
定点当たり報告数		367.55		23.70	21.54	105.60	322.84	39.69	23.44	19.44	31.18	0.61	61.25
前年定点当たり報告数		181.11		23.48	23.89	95.29	395.81	44.22	114.72	6.19	32.00	0.35	33.06
当年/前年		2.03		1.01	0.90	1.11	0.82	0.90	0.20	3.14	0.97	1.73	1.85

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2014年第1週～第52週

	設置定点数 (小児科)	流行性 耳下腺炎	不明 発しん 症	川崎 病		設置定点数 (眼科)	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎		設置定点数 (基幹)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	(オウム 病を除く) クラミジ ア肺炎	(ロタウ イルスに よる) 感染性 胃腸炎	イン フル エン ザ入 院
千代田	3	2.00	4.67	3.67						2	0.50	0.50	5.50		2.00	9.00
中央区	3	7.00	1.33	1.00	1		69.00									
みなと	6	6.57	0.53	1.17						1	1.00	5.00	9.00	2.00		27.00
新宿区	8	26.13	1.75	3.38	2	2.00	14.50			2	1.50	2.00	23.00		2.50	25.50
文京	4	9.25	0.75		1		68.00			1		1.00			7.00	27.00
台東	4	12.58	2.33													
墨田区	5	14.07	10.73	0.80	1		14.00			1	4.00	12.00	8.00		4.00	46.00
江東区	9	17.56	4.78	0.44	1		10.00									
品川区	8	2.63	1.88	0.13	1		10.00									
目黒区	5	5.05	7.67	1.20	1		16.00									
大田区	13	6.25	7.30	0.77	2		17.50			1						
世田谷	16	6.00	8.86	0.63	2		10.50			2	3.50	12.00	5.50		9.00	50.50
渋谷区	4	1.75	3.50	0.25	1		76.00			1	1.00		34.00	2.00	41.00	66.00
中野区	7	8.69	5.38	0.57	1	2.00	11.00			1*						
杉並	10	5.19	0.65	1.02	1		40.00			1*		1.00	0.50			
池袋	5	4.40	0.60	0.80	1		33.00			1		6.00	3.00		1.00	43.00
北区	7	13.48	1.90	0.29	1		15.00									
荒川区	4	13.50	5.25	2.75	1		25.00									
板橋区	10	16.74	3.71	0.20	2	0.50	13.00			1		1.00	13.00		9.00	57.00
練馬区	13	11.98	2.44	0.71	2	1.00	22.50									
足立	13	30.65	1.85	0.24	2	1.00	34.50									
葛飾区	8	9.71	7.01	0.88	1		23.00			1			18.00	16.00	18.00	55.00
江戸川	12	21.26	2.32	0.93	2	1.00	13.00									
八王子市	11	14.52	10.53	0.48	2		25.00			1		6.00	4.00			40.00
町田市	8	12.30	17.32	0.13	1											
西多摩	8	21.78	0.50		1	1.00	9.00			1		2.00	11.00		7.00	22.00
南多摩	9	10.64	1.46	0.78	1		9.00									
多摩立川	14	8.36	1.86	0.29	2		6.00			1	1.00	1.00	2.00		4.00	2.00
多摩府中	21	6.25	4.02	0.57	3	0.33	23.50			3	1.00	5.67	8.67	0.33	5.33	38.33
多摩小平	15	8.03	5.89	0.33	2	0.50	54.50			2	0.50	10.50	18.50			32.00
島しょ	1	7.00								1						1.00
定点当たり報告数		11.57	4.45	0.69		0.34	23.79				0.88	4.09	9.37	0.84	5.36	29.40
前年定点当たり報告数		9.83	4.24	0.85		0.45	23.68				1.93	5.06	20.66	1.60	0.88	20.89
当年/前年		1.18	1.05	0.81		0.77	1.00				0.46	0.81	0.45	0.52	6.09	1.41

*基幹定点数:第1週～第37週までは中野区1、杉並区1、第38週以降は中野区2、杉並区0

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2014年第1週～第52週

	イン フル エン ザ	R 感 S 染 ウ イ ル ス	咽 頭 結 膜 熱	A 球 群 菌 溶 咽 血 頭 性 炎 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
6 か月未満	271	882	33	18	791	126	38	8	118	11	102
12 か月未満	1,278	1,353	408	89	5,384	430	432	62	2,889	8	1,456
1 歳	4,246	2,381	1,346	738	11,829	1,175	1,780	218	4,132	13	4,605
2 歳	4,997	885	852	1,234	8,124	1,128	1,171	341	731	6	3,221
3 歳	5,973	379	822	2,534	7,466	1,608	852	563	127	4	2,184
4 歳	8,316	173	732	3,753	7,424	1,695	612	761	67	4	1,600
5 歳	10,338	77	466	4,022	6,423	1,431	448	852	28	5	1,087
6 歳	11,249	15	277	3,679	5,060	1,006	259	716	9	2	629
7 歳	11,816	10	168	3,101	4,436	630	144	518	8	3	349
8 歳	10,407	7	116	2,217	3,714	360	94	382	2	12	212
9 歳	9,168	4	60	1,700	3,056	228	56	273	1	6	121
10～14歳	29,801	9	137	2,896	8,136	359	115	247	6	29	164
15～19歳	6,194	1	18	225	1,979	24	8	20		7	16
20～29歳	6,463	7	172	1,375	10,269	114	80	108	2	48	128
30～39歳	11,262										
40～49歳	11,309										
50～59歳	4,889										
60～69歳	2,654										
70～79歳	1,270										
80歳以上	520										
合 計	152,421	6,183	5,607	27,581	84,091	10,314	6,089	5,069	8,120	158	15,874

	流 行 性 耳 下 腺 炎	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 を 除 く	感 染 性 胃 腸 炎 (ロ タ ウ イ ル ス)	イン フル エン ザ 入 院
6 か月未満	1	39	7		3	5	41			9	28
12 か月未満	10	198	35		7	2	1			11	17
1 歳	74	338	44	1	42	1		8		31	33
2 歳	147	141	40	1	21	1		8		19	38
3 歳	318	108	14	1	17	1		15		21	28
4 歳	419	99	12		17		2	34		17	22
5 歳	491	59	13	1	18		8	8		9	27
6 歳	411	44	7	1	12	1	1	9		7	28
7 歳	345	34	4		10		1	23		3	27
8 歳	272	21	1		7		3	13		2	17
9 歳	165	23	1		2		3	10			18
10～14歳	237	29	2		32		8	35		4	53
15～19歳	28	4		1	16		1	12			20
20～29歳	85	21		1	145	1	6	14	1		12
30～39歳				3	206	1	12	21			17
40～49歳				1	177	2	7	9	1		26
50～59歳				2	93	1	4	6	3		34
60～69歳					54	4		6	4		65
70～79歳					34		4		6	1	96
80歳以上						2		3	6		129
合 計	3,003	1,158	180	13	913	22	102	234	21	134	735

(注) 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

(注) 眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2014 年第 1 週～第 52 週

	設置 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	設置 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 咽 頭 炎 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パン ギ ー ナ
1 区中央部圏	32	8,724	20	521	508	1,148	5,373	546	413	272	618	12	856
2 区南部圏	33	9,831	21	530	756	1,874	8,569	1,092	270	502	756	36	1,514
3 区西南部圏	40	12,028	25	453	582	1,925	7,276	874	496	692	633	4	1,616
4 区西部圏	39	10,657	25	591	460	1,456	6,951	539	468	205	576	4	810
5 区西北部圏	56	16,858	35	349	496	2,446	7,323	1,186	777	623	919	19	1,609
6 区東北部圏	40	16,406	25	695	454	2,271	8,836	1,095	1,008	348	838	14	1,496
7 区東部圏	41	15,454	26	692	622	3,300	11,666	1,145	520	519	896	14	1,818
8 西多摩圏	14	5,432	8	137	128	537	1,713	226	86	67	118	2	305
9 南多摩圏	45	24,079	28	919	567	6,277	12,358	1,589	900	992	1,002	39	2,442
10 北多摩西部圏	21	8,731	14	327	113	2,068	3,526	402	221	264	369		555
11 北多摩南部圏	33	13,357	21	370	319	2,019	6,283	883	537	215	759	12	1,353
12 北多摩北部圏	23	10,216	15	593	602	2,204	4,216	691	376	362	633	2	1,471
13 島しょ圏	2	648	1	6		56	1	46	17	8	3		29
合 計	419	152,421	264	6,183	5,607	27,581	84,091	10,314	6,089	5,069	8,120	158	15,874

	設置 定点 数 (小 児 科)	流 行 性 耳 下 腺 炎	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	設置 定点 数 (眼 科)	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	設置 定点 数 (基 幹)	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	(オ ウ ム 病 を 除 く) ク ラ ミ ジ ア 肺 炎	(ロ タ ウ イ ル ス に よ る) 感 染 性 胃 腸 炎	イン フル エン ザ 入 院
1 区中央部圏	20	149	33	21	2		137	4	2	7	20	2	11	72
2 区南部圏	21	101	108	11	3		45	1						
3 区西南部圏	25	128	193	17	4		113	3	8	24	45	2	59	167
4 区西部圏	25	317	58	41	4	4	79	4	3	5	47		5	51
5 区西北部圏	35	426	84	17	6	2	115	2		7	16		10	100
6 区東北部圏	25	518	96	21	4	2	117	1			18	16	18	55
7 区東部圏	26	473	123	19	4	2	50	1	4	12	8		4	46
8 西多摩圏	8	173	4		1	1	9	1		2	11		7	22
9 南多摩圏	28	349	265	13	4		59	1		6	4			40
10 北多摩西部圏	14	117	26	4	2		12	1	1	1	2		4	2
11 北多摩南部圏	21	125	80	11	3	1	68	3	3	17	26	1	16	115
12 北多摩北部圏	15	120	88	5	2	1	109	2	1	21	37			64
13 島しょ圏	1	7						1						1
合 計	264	3,003	1,158	180	39	13	913	25	22	102	234	21	134	735

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2014 年第 1 週～第 52 週

	設置 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	設置 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 咽 頭 炎 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ
1 区中央部圏	32	276.40	20	26.15	25.52	57.82	270.84	27.64	20.83	13.67	31.22	0.60	43.34
2 区南部圏	33	299.79	21	25.40	36.34	89.63	410.53	52.30	13.00	24.04	36.24	1.72	72.99
3 区西南部圏	40	301.43	25	18.29	23.79	77.16	292.44	35.16	19.94	27.84	25.41	0.16	65.19
4 区西部圏	39	276.22	25	23.86	18.65	58.54	281.02	21.97	19.10	8.25	23.21	0.16	33.18
5 区西北部圏	56	308.59	35	10.08	14.52	71.32	214.47	34.51	22.63	18.14	26.84	0.55	47.19
6 区東北部圏	40	411.57	25	28.11	18.35	92.54	360.65	44.54	41.09	14.02	34.03	0.58	61.72
7 区東部圏	41	378.96	26	27.18	24.29	128.24	455.08	44.79	20.38	20.28	34.98	0.54	71.00
8 西多摩圏	14	388.20	8	17.13	16.08	67.20	214.65	28.25	10.75	8.38	14.75	0.25	38.13
9 南多摩圏	45	537.88	28	33.00	20.43	225.24	445.04	57.46	32.41	35.72	36.05	1.40	88.00
10 北多摩西部圏	21	415.76	14	23.36	8.07	147.71	251.86	28.71	15.79	18.86	26.36		39.64
11 北多摩南部圏	33	417.01	21	18.36	15.95	100.16	312.39	44.37	27.01	10.70	37.94	0.61	69.15
12 北多摩北部圏	23	449.01	15	39.65	40.27	147.71	283.33	46.38	25.09	24.27	42.43	0.13	98.07
13 島しょ圏	2	324.00	1	6.00		56.00	1.00	46.00	17.00	8.00	3.00		29.00

	設置 定点 数 (小 児 科)	流 行 性 耳 下 腺 炎	不 明 発 し ん 症	川 崎 病	設置 定点 数 (眼 科)	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	設置 定点 数 (基 幹)	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	(オ ウ ム 病 を 除 く) ク ラ ミ ジ ア 肺 炎	(ロ タ ウ イ ル ス に よ る) 感 染 性 胃 腸 炎	イン フル エン ザ 入 院
1 区中央部圏	20	7.55	1.66	1.06	2		68.50	4	0.50	1.75	5.00	0.50	2.75	18.00
2 区南部圏	21	4.85	5.20	0.52	3		15.00	1						
3 区西南部圏	25	5.14	7.74	0.68	4		28.42	3	2.67	8.00	15.00	0.67	19.67	55.67
4 区西部圏	25	12.87	2.39	1.66	4	1.17	21.00	4	0.75	1.25	11.75		1.25	12.75
5 区西北部圏	35	12.47	2.44	0.49	6	0.40	20.03	2		3.50	8.00		5.00	50.00
6 区東北部圏	25	21.21	3.94	0.86	4	0.50	29.33	1			18.00	16.00	18.00	55.00
7 区東部圏	26	18.54	4.80	0.74	4	0.50	12.50	1	4.00	12.00	8.00		4.00	46.00
8 西多摩圏	8	21.78	0.50		1	1.00	9.00	1		2.00	11.00		7.00	22.00
9 南多摩圏	28	12.62	9.55	0.47	4		14.75	1		6.00	4.00			40.00
10 北多摩西部圏	14	8.36	1.86	0.29	2		6.00	1	1.00	1.00	2.00		4.00	2.00
11 北多摩南部圏	21	6.25	4.02	0.57	3	0.33	23.50	3	1.00	5.67	8.67	0.33	5.33	38.33
12 北多摩北部圏	15	8.03	5.89	0.33	2	0.50	54.50	2	0.50	10.50	18.50			32.00
13 島しょ圏	1	7.00						1						1.00

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2014年1月～12月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症	アシネトバクター感染症 薬剤耐性
1月	25	79	31		
2月	25	76	22	3	
3月	25	84	13	2	
4月	25	74	10	1	
5月	25	75	16	2	
6月	25	91	12	2	
7月	25	65	13	2	
8月	25	78	16	3	
9月	25	70	12	2	
10月	24	71	17	1	
11月	25	75	15	1	
12月	25	70	9	2	
合 計		908	186	21	0

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2014年1月～12月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症	アシネトバクター感染症 薬剤耐性
1月	25	3.16	1.24		
2月	25	3.04	0.88	0.12	
3月	25	3.36	0.52	0.08	
4月	25	2.96	0.40	0.04	
5月	25	3.00	0.64	0.08	
6月	25	3.64	0.48	0.08	
7月	25	2.60	0.52	0.08	
8月	25	3.12	0.64	0.12	
9月	25	2.80	0.48	0.08	
10月	24	2.96	0.71	0.04	
11月	25	3.00	0.60	0.04	
12月	25	2.80	0.36	0.08	
平 均		3.04	0.62	0.07	0.00

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2014年1月～12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性 アシネトバクター感染症	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	46	33	26	5				
2月	49	27	14	8	3			
3月	49	35	11	2	1	1		
4月	37	37	5	5	1			
5月	38	37	10	6	1	1		
6月	42	49	8	4	2			
7月	39	26	7	6	2			
8月	43	35	12	4	2	1		
9月	42	28	8	4	1	1		
10月	55	16	6	11		1		
11月	57	18	8	7	1			
12月	46	24	6	3	2			
合 計	543	365	121	65	16	5	0	0

(注) 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、2014年9月19日より五類全数把握対象疾患に変更

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2014年1月～12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症		薬剤耐性 アンネトバクター感染症	
	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳	98	88	7	2				
1～4歳	34	37	41	25				
5～9歳	13	14	8	6				
10～14歳	17	6	2	1				
15～19歳	22	6						
20～24歳	4	2	1					
25～29歳	2	2	2					
30～34歳	6	6	1	2				
35～39歳	5	3	1					
40～44歳	9	5	2	1				
45～49歳	7	11		1				
50～54歳	13	11		2		1		
55～59歳	15	8			3			
60～64歳	29	18	6	2				
65～69歳	38	18	5	3	4			
70歳以上	231	130	45	20	9	4		
合 計	543	365	121	65	16	5	0	0
定点当たり報告数	21.81	14.63	4.85	2.62	0.64	0.20	0.00	0.00
前年定点当たり報告数	23.52	13.73	11.21	7.73	0.97	0.32	0.00	0.00
当年／前年	0.93	1.07	0.43	0.34	0.66	0.63	-	-

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2014年1月～12月

	報告 定点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖 圭 コン ジ ロ マ	淋 菌 感 染 症	膣 トリ コ モ ナ ス 症	梅 毒 様 疾 患
1月	55	168	99	91	85	3	12
2月	55	155	108	59	87	10	8
3月	55	175	109	80	73	4	5
4月	54	158	84	70	84	17	13
5月	54	225	110	64	125	16	13
6月	55	232	113	112	110	12	12
7月	53	227	132	88	130	13	16
8月	55	211	114	100	129	10	16
9月	54	247	120	86	126	8	9
10月	54	240	115	85	112	8	7
11月	54	209	99	82	99	14	11
12月	51	180	95	69	99	12	13
合 計		2,427	1,298	986	1,259	127	135

表9-2 月別定点あたり患者報告数(性感染症)

2014年1月～12月

	報告 定点数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖 圭 コン ジ ロ マ	淋 菌 感 染 症	膣 トリ コ モ ナ ス 症	梅 毒 様 疾 患
1月	55	3.05	1.80	1.65	1.55	0.05	0.22
2月	55	2.82	1.96	1.07	1.58	0.18	0.15
3月	55	3.18	1.98	1.45	1.33	0.07	0.09
4月	54	2.93	1.56	1.30	1.56	0.31	0.24
5月	54	4.17	2.04	1.19	2.31	0.30	0.24
6月	55	4.22	2.05	2.04	2.00	0.22	0.22
7月	53	4.28	2.49	1.66	2.45	0.25	0.30
8月	55	3.84	2.07	1.82	2.35	0.18	0.29
9月	54	4.57	2.22	1.59	2.33	0.15	0.17
10月	54	4.44	2.13	1.57	2.07	0.15	0.13
11月	54	3.87	1.83	1.52	1.83	0.26	0.20
12月	51	3.53	1.86	1.35	1.94	0.24	0.25
平 均		3.74	2.00	1.52	1.94	0.20	0.21

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2014年1月～12月

	報告 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	110	58	72	27	61	30	73	12		3	9	3
2月	55	93	62	69	39	38	21	81	6	1	9	5	3
3月	55	105	70	68	41	55	25	61	12	1	3	5	
4月	54	93	65	52	32	48	22	75	9		17	8	5
5月	54	115	110	74	36	42	22	78	47		16	7	6
6月	55	128	104	67	46	70	42	66	44		12	9	3
7月	53	128	99	92	40	64	24	80	50		13	14	2
8月	55	119	92	71	43	66	34	84	45		10	14	2
9月	54	150	97	67	53	62	24	81	45	1	7	9	
10月	54	120	120	66	49	50	35	72	40	1	7	6	1
11月	54	111	98	62	37	60	22	64	35		14	7	4
12月	51	88	92	64	31	49	20	61	38		12	9	4
合 計		1,360	1,067	824	474	665	321	876	383	4	123	102	33

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2014年1月～12月

	報告 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	2.00	1.05	1.31	0.49	1.11	0.55	1.33	0.22		0.05	0.16	0.05
2月	55	1.69	1.13	1.25	0.71	0.69	0.38	1.47	0.11	0.02	0.16	0.09	0.05
3月	55	1.91	1.27	1.24	0.75	1.00	0.45	1.11	0.22	0.02	0.05	0.09	
4月	54	1.72	1.20	0.96	0.59	0.89	0.41	1.39	0.17		0.31	0.15	0.09
5月	54	2.13	2.04	1.37	0.67	0.78	0.41	1.44	0.87		0.30	0.13	0.11
6月	55	2.33	1.89	1.22	0.84	1.27	0.76	1.20	0.80		0.22	0.16	0.05
7月	53	2.42	1.87	1.74	0.75	1.21	0.45	1.51	0.94		0.25	0.26	0.04
8月	55	2.16	1.67	1.29	0.78	1.20	0.62	1.53	0.82		0.18	0.25	0.04
9月	54	2.78	1.80	1.24	0.98	1.15	0.44	1.50	0.83	0.02	0.13	0.17	
10月	54	2.22	2.22	1.22	0.91	0.93	0.65	1.33	0.74	0.02	0.13	0.11	0.02
11月	54	2.06	1.81	1.15	0.69	1.11	0.41	1.19	0.65		0.26	0.13	0.07
12月	51	1.73	1.80	1.25	0.61	0.96	0.39	1.20	0.75		0.24	0.18	0.08

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2014 年 1 月～12 月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	131	12	18		45	1	85			1	4		283	14
中央区	3	98	14	55	7	9		33	1		1			195	23
みなと	2	124	29	389	67	123	52	48	4		1	6	16	690	169
新宿区	7	313	71	139	73	347	128	282	53		8	70	2	1,151	335
文京	1	56		12		15		42				1		126	
台東	2	8	219	10	69	12	40	15	250	1	38		5	46	621
墨田区	2	20	29	17	9	4	5	17	2		6		1	58	52
江東区	2	115	10	61	1	24	1	90	4			7		297	16
品川区	1	74	1	31	5	23	1	37		1				166	7
大田区	2	36	93		1			22					1	58	95
渋谷区	5	74	72	25	88	11	22	24	2	1	3	3	1	138	188
中野区	2	27	4	7			3	16	4		6	6		56	17
杉並	2	39	6	2	3	1	4	15	5			2		59	18
池袋	3	137	110	47	56	32	21	85	20	1	10	3	2	305	219
北区	1	12		1		3		5						21	
荒川区	1		33		14		3				2				52
板橋区	2	35	48	2	14	10	2	27	6		3		2	74	75
足立	2	18	34	1	6		4	20	6		2		1	39	53
江戸川	2	28	53	6	15	4	9	9	4		15			47	96
八王子市	4	1	51		14		5	1	3		10		1	2	84
町田市	1		35	1	20		1				8			1	64
多摩立川	2	9	139		11		10		19		7		1	9	187
多摩府中	3	5				2	8	3						10	8
多摩小平	1		4		1		1				2				8
合 計	55	1,360	1,067	824	474	665	321	876	383	4	123	102	33	3,831	2,401
定点当たり報告数		25.14	19.76	15.24	8.76	12.29	5.92	16.19	7.11	0.07	2.28	1.89	0.61	70.83	44.45
前年定点当たり報告数		25.86	16.54	14.84	7.72	12.44	5.37	17.21	2.63	0.11	1.99	2.32	0.20	72.79	34.46
当年/前年		0.97	1.19	1.03	1.13	0.99	1.10	0.94	2.70	0.66	1.15	0.82	3.00	0.97	1.29

区中央部圏	10	417	274	484	143	204	93	223	255	1	41	11	21	1,340	827
区南部圏	3	110	94	31	6	23	1	59		1			1	224	102
区西南部圏	5	74	72	25	88	11	22	24	2	1	3	3	1	138	188
区西部圏	11	379	81	148	76	348	135	313	62		14	78	2	1,266	370
区西北部圏	6	184	158	50	70	45	23	117	26	1	13	3	4	400	294
区東北部圏	3	18	67	1	20		7	20	6		4		1	39	105
区東部圏	6	163	92	84	25	32	15	116	10		21	7	1	402	164
南多摩圏	5	1	86	1	34		6	1	3		18		1	3	148
北多摩西部圏	2	9	139		11		10		19		7		1	9	187
北多摩南部圏	3	5				2	8	3						10	8
北多摩北部圏	1		4		1		1				2				8

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2014年1月～12月

	設置 定 点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	65.50	6.00	9.00		22.50	0.50	42.50			0.50	2.00		141.50	7.00
中央区	3	32.67	4.67	18.33	2.33	3.00		11.00	0.33		0.33			65.00	7.67
みなと	2	62.00	14.50	194.50	33.50	61.50	26.00	24.00	2.00		0.50	3.00	8.00	345.00	84.50
新宿区	7	44.71	10.14	19.86	10.43	49.57	18.29	40.29	7.57		1.14	10.00	0.29	164.43	47.86
文京	1	56.00		12.00		15.00		42.00				1.00		126.00	
台東	2	4.00	109.50	5.00	34.50	6.00	20.00	7.50	125.00	0.50	19.00		2.50	23.00	310.50
墨田区	2	10.00	14.50	8.50	4.50	2.00	2.50	8.50	1.00		3.00		0.50	29.00	26.00
江東区	2	57.50	5.00	30.50	0.50	12.00	0.50	45.00	2.00			3.50		148.50	8.00
品川区	1	74.00	1.00	31.00	5.00	23.00	1.00	37.00		1.00				166.00	7.00
大田区	2	18.00	46.50		0.50			11.00					0.50	29.00	47.50
渋谷区	5	16.38	17.22	5.83	20.33	2.45	5.15	5.40	0.45	0.25	0.60	0.65	0.25	30.97	44.00
中野区	2	13.50	2.00	3.50			1.50	8.00	2.00		3.00	3.00		28.00	8.50
杉並	2	19.50	3.00	1.00	1.50	0.50	2.00	7.50	2.50			1.00		29.50	9.00
池袋	3	45.67	36.67	15.67	18.67	10.67	7.00	28.33	6.67	0.33	3.33	1.00	0.67	101.67	73.00
北区	1	12.00		1.00		3.00		5.00						21.00	
荒川区	1		33.00		14.00		3.00				2.00				52.00
板橋区	2	17.50	24.00	1.00	7.00	5.00	1.00	13.50	3.00		1.50		1.00	37.00	37.50
足立	2	9.00	17.00	0.50	3.00		2.00	10.00	3.00		1.00		0.50	19.50	26.50
江戸川	2	16.00	26.50	4.00	8.00	3.00	4.50	5.00	2.00		7.50			28.00	48.50
八王子市	4	0.25	13.08		3.50		1.25	0.25	0.75		2.67		0.25	0.50	21.50
町田市	1		35.00	1.00	20.00		1.00				8.00			1.00	64.00
多摩立川	2	4.50	69.50		5.50		5.00		9.50		3.50		0.50	4.50	93.50
多摩府中	3	1.67				0.67	2.67	1.00						3.33	2.67
多摩小平	1		4.00		1.00		1.00				2.00				8.00
合 計	55	1,360	1,067	824	474	665	321	876	383	4	123	102	33	3,831	2,401
定点当たり報告数		25.14	19.76	15.24	8.76	12.29	5.92	16.19	7.11	0.07	2.28	1.89	0.61	70.83	44.45

区中央部圏	10	41.70	27.40	48.40	14.30	20.40	9.30	22.30	25.50	0.10	4.10	1.10	2.10	134.00	82.70
区南部圏	3	36.67	31.33	10.33	2.00	7.67	0.33	19.67		0.33			0.33	74.67	34.00
区西南部圏	5	16.38	17.22	5.83	20.33	2.45	5.15	5.40	0.45	0.25	0.60	0.65	0.25	27.60	37.60
区西部圏	11	34.45	7.36	13.45	6.91	31.64	12.27	28.45	5.64		1.27	7.09	0.18	115.09	33.64
区西北部圏	6	30.67	26.33	8.33	11.67	7.50	3.83	19.50	4.33	0.17	2.17	0.50	0.67	66.67	49.00
区東北部圏	3	6.00	22.33	0.33	6.67		2.33	6.67	2.00		1.33		0.33	13.00	35.00
区東部圏	6	27.87	15.57	14.53	4.30	5.50	2.53	20.00	1.70		3.57	1.17	0.17	67.00	27.33
南多摩圏	5	0.20	17.60	0.25	6.80		1.20	0.20	0.60		3.70		0.20	0.60	29.60
北多摩西部圏	2	4.50	69.50		5.50		5.00		9.50		3.50		0.50	4.50	93.50
北多摩南部圏	3	1.67				0.67	2.67	1.00						3.33	2.67
北多摩北部	1		4.00		1.00		1.00				2.00				8.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2014年1月～12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		梅毒様疾患		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳							1						1	
1～4歳														
5～9歳								2						2
10～14歳		1												1
15～19歳	29	82	1	15	3	13	27	12		9			60	131
20～24歳	198	312	40	69	52	101	151	69	1	15	2	12	444	578
25～29歳	263	257	63	102	95	95	137	83		25	10	7	568	569
30～34歳	250	194	91	87	124	45	165	68		19	26	6	656	419
35～39歳	210	106	138	58	97	30	142	53	1	9	22	4	610	260
40～44歳	148	56	133	64	103	16	99	39		17	18	2	501	194
45～49歳	114	40	132	29	80	11	82	28	2	8	9		419	116
50～54歳	69	11	82	11	41	5	40	22		9	4	1	236	59
55～59歳	30	7	48	9	26	3	17	5		2	5		126	26
60～64歳	32	1	35	12	23		10	2		2			100	17
65～69歳	14		39	3	9	1	5			1	3		70	5
70歳以上	3		22	15	12	1				7	3	1	40	24
合 計	1,360	1,067	824	474	665	321	876	383	4	123	102	33	3,831	2,401

表10 検査結果別報告数(基幹) 2014年1月～12月

病 原 体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	合 計
<i>Streptococcus agalactiae</i>	4					4
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	2					2
<i>Streptococcus group G</i>	1					1
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1					1
<i>Listeria monocytogenes</i>	1					1
<i>Escherichia coli</i>	1					1
other bacteria	2					2
Enterovirus nt		6				6
Parechovirus 3		3				3
Parechovirus 1		1				1
Parechovirus nt		4				4
Coxsackievirus B5		2				2
Echovirus 11		2				2
Coxsackievirus A16		1				1
Herpes simplex virus nt		1				1
Influenza virus A		1				1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>		1	234			235
<i>Chlamydia pneumoniae</i>				21		21
Rotavirus group unknown					119	119
Rotavirus group A					5	5
記載無し	10	80			10	100
合 計	22	102	234	21	134	513

表11 疑似症サーベイランス報告数 2014 年第 1 週～第 52 週

週	期 間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱	保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱	年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	12. 30～ 1. 5	443	3	1	千代田	4			0歳	13	5
2	1. 6～ 1.12	443	9	1	中央区	5			1歳	24	7
3	1.13～ 1.19	443	5		みなと	9	43	1	2歳	11	
4	1.20～ 1.26	443	3		新宿区	13			3歳	8	2
5	1.27～ 2. 2	443	5	1	文京	8			4歳	3	
6	2. 3～ 2. 9	443	2	1	台東	7			5歳	2	1
7	2.10～ 2.16	443	1	1	墨田区	9			6歳	1	
8	2.17～ 2.23	443	2	1	江東区	14			7歳		1
9	2.24～ 3. 2	443	2	1	品川区	13			8歳	2	
10	3. 3～ 3. 9	443	7	1	目黒区	8			9歳		
11	3.10～ 3.16	443	1		大田区	22			10～14歳	4	
12	3.17～ 3.23	443	4		世田谷	28			15～19歳	2	
13	3.24～ 3.30	443	3		渋谷区	9	57	4	20～29歳	14	
14	3.31～ 4. 6	443	4		中野区	11			30～39歳	23	1
15	4. 7～ 4.13	443	8		杉並	16			40～49歳	14	
16	4.14～ 4.20	443	5	1	池袋	9			50～59歳	3	
17	4.21～ 4.27	443	6		北区	11			60～69歳	4	1
18	4.28～ 5. 4	443	3		荒川区	7			70～79歳	9	
19	5. 5～ 5.11	443	4		板橋区	18	42	15	80歳以上	10	2
20	5.12～ 5.18	443	3		練馬区	21			合 計	147	20
21	5.19～ 5.25	443	3	1	足立	21					
22	5.26～ 6. 1	443	5		葛飾区	13					
23	6. 2～ 6. 8	443	2		江戸川	19					
24	6. 9～ 6.15	443		1	八王子市	19					
25	6.16～ 6.22	443	2		町田市	13					
26	6.23～ 6.29	443	1		西多摩	15					
27	6.30～ 7. 6	443	2		南多摩	15					
28	7. 7～ 7.13	443	4		多摩立川	23					
29	7.14～ 7.20	443	2		多摩府中	36	5				
30	7.21～ 7.27	443	2		多摩小平	24					
31	7.28～ 8. 3	443	5		島しょ	3					
32	8. 4～ 8.10	443	2	2	合 計	443	147	20			
33	8.11～ 8.17	443	2	1							
34	8.18～ 8.24	443	1	2							
35	8.25～ 8.31	443	2								
36	9. 1～ 9. 7	443	2	1							
37	9. 8～ 9.14	443									
38	9.15～ 9.21	443	1								
39	9.22～ 9.28	443		1							
40	9.29～10. 5	443									
41	10. 6～10.12	443	2								
42	10.13～10.19	443	2	1							
43	10.20～10.26	443	1								
44	10.27～11. 2	443		1							
45	11. 3～11. 9	443	1								
46	11.10～11.16	443	2								
47	11.17～11.23	443	2								
48	11.24～11.30	443	3								
49	12. 1～12. 7	443	1								
50	12. 8～12.14	443	3								
51	12.15～12.21	443	8								
52	12.22～12.28	443	4								
合 計			147	20							